seeing and hearing like never before

取扱説明書

KRP-600M
KRP-500M

本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください

ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。(98ページ)

必ず転倒・落下防止対策を行ってください。(15ページ)

フラットパネルディスプレイ

末永くご使用いただくために

画面の焼き付きに関するご注意

■画面の残像と焼き付きについて

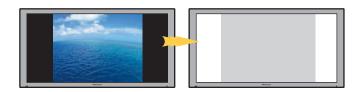
残像とは

プラズマディスプレイは、輝度の高い文字・映像または固定パターンの画像を表示すると、比較的短時間の表示でもパネルの電荷負荷の残留により像が残ることがありますが、故障ではありません。
この残像は動画を画面いっぱいに映し出すことで徐々に回復します。

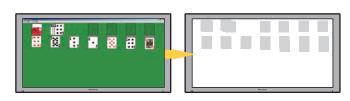
焼き付きとは

上記の画像を長時間または繰り返し表示し続けると、連続して表示している部分と他の部分の明るさに差が生じ、画面に焼き付きとして像が残るようになります。焼き付きが発生すると完全に回復することが難しくなりますのでご注意ください。**特に製品のご購入初期ほど起こりやすいのでご注意ください。**

■焼き付きを招きやすい表示例

- 画面サイズが４：３の番組をそのままの状態で繰り返し視聴すると、左右黒帯の部分以外のノーマル表示部が焼き付きやすくなります。

- シネスコサイズの画像をそのままの状態で繰り返し視聴すると、上下黒帯の部分以外のノーマル表示部が焼き付きやすくなります。

- 時刻表示や放送局名などを表示する番組を長時間（または繰り返し）視聴すると、表示している文字が焼き付きやすくなります。

- パソコン画面やゲームソフトなど固定パターンの画像を長時間映し出すと、そのパターンが焼き付きやすくなります。

■焼き付きを防止するには

焼き付きを防止するために、特に購入初期の間は、以下の点に注意してご使用いただくことをお勧めします。

- 上記の焼き付きを招きやすい表示でのご使用はできるだけ避けてください。
- 画面サイズが４：３やシネスコサイズの番組は、リモコンの SCREEN SIZE ボタンで「フル」や「ワイド」などにして、画面サイズいっぱいに表示して視聴してください。(☞26 ページ)
- 画面サイズ自動切換を設定し (☞27 ページ)、サイドマスクの「検出」を「モード１」または「モード２」に設定して視聴してください。(☞28 ページ)
- 4:3 画面サイズのときは、**サイドマスク**(画面左右部分)の「輝度連動」を「連動」(映像に連動した明るさにする)に設定してください。(☞28 ページ) さらに、**消費電力設定**で「省エネ２」に設定するとより効果があります。(☞29 ページ)
- オービター機能は「モード１」または「モード２」の設定のままでご使用ください。(☞41 ページ)
- HDMI 入力で PC を接続しているときは、必ず「信号種別」を「PC」に設定してください。(☞56 ページ)
- **おすすめ設定**をすることをお勧めします。(☞42 ページ)

このたびは、パイオニア製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
「安全上のご注意」（☞98 ～ 100 ページ）を必ずお読みください。

もくじ

お使いになる前に

準備する（設置・接続・メニュー）

画面の調整をする

省エネの設定をする

画質と音質を調整する

いろいろな機能を使う

- 本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
- なお、「取扱説明書」は、「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に大切に保管してください。

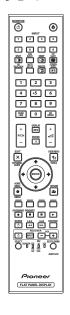
接続して使う

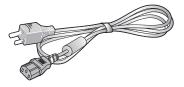
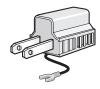
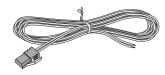
困ったときは

付録

付属品を確認する

付属品がそろっているかを確認します。

リモコン×1

単３乾電池２本（リモコン用）

電源コード×1（ノイズフィルター付き）（2.0 m、3 ピン）

AC 変換プラグ×1

スピーカーケーブル（R）×1

スピーカーケーブル（L）×1

オーディオミニケーブル×1

ワイピングクロス×1

転倒防止用ボルト×2

ケーブルクランプ×4

保証書

梱包箱に貼り付けられています。大切に保管してください。

取扱説明書（本書）

おもな仕様

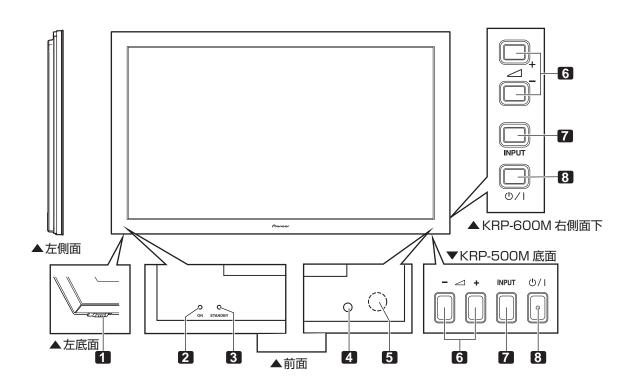
安心サービス保証プログラムのご案内

お客様登録用紙兼安心サービス保証プログラム申込書

ご相談窓口・修理窓口のご案内

各部の名称とはたらき

本体の前面 / 側面（KRP-600M/500M）

▼前面 / 側面

1　**主電源ボタン（⏻）** ☞21 ページ
本機の主電源を入 / 切します。

2　**ON ランプ（青）** ☞21 ページ
本機の電源が「入」のとき、青色で点灯します。

3　**STANDBY ランプ（赤）** ☞21 ページ
本機の電源が「スタンバイ（待機状態）」のとき、赤色で点灯します。

お知らせ
- 「スタンバイ」中も、一部の回路が通電するときがあります。

4　**照度センサー**
外光の照度を測ります。

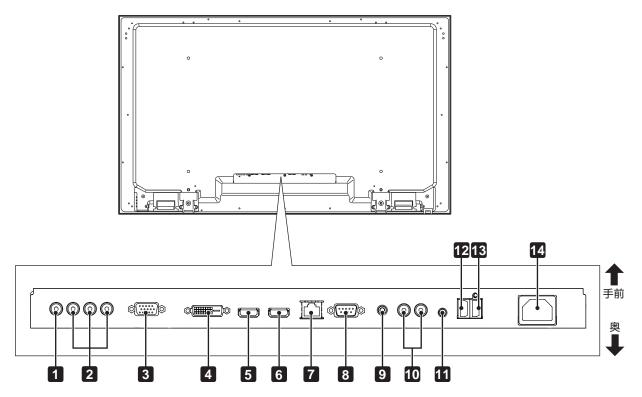
5　**リモコン受光部** ☞18 ページ、21 ページ
ここに向けてリモコンを操作します。

6　**VOLUME（＋ / －）ボタン**
お好みの音量に調整します。

7　**INPUT ボタン** ☞71 ページ
外部入力を切り換えます。

8　**⏻ / | ボタン** ☞21 ページ
電源を入 / スタンバイ（待機状態）します。

ご注意
- 主電源を切っても一部の回路に通電しています。

本体の背面 (KRP-600M/500M)

イラストは KRP-600M です。

1 VIDEO 端子 (INPUT1) ☞44 ページ
ビデオデッキなどの映像出力端子と接続します。

2 COMPONENT VIDEO 端子（INPUT2）☞44 ページ
コンポーネント対応機器の出力端子と接続します。

3 ANALOG RGB 端子 (INPUT3) ☞50 ページ
パソコンの映像出力を接続します。

4 DIGITAL RGB 端子 (INPUT4) ☞47 ページ
DVI（デジタル）対応機器の DVI 端子と接続します。

5 HDMI 端子 (INPUT5) ☞55 ページ , 59 ページ
HDMI(High-Definition-Multimedia-Interface) 対応機器の HDMI 端子と接続します。

6 HDMI 端子 (INPUT6) ☞55 ページ , 59 ページ
HDMI(High-Definition-Multimedia-Interface) 対応機器の HDMI 端子と接続します。

7 LAN（10/100）端子 ☞64 ページ
ハブやブロードバンドルーターなどの 10BASE-T 端子、または 100BASE-TX 端子に接続します。

8 RS-232C 端子
特殊な映像調整のために使用する端子です。
映像調整用の特別な機材を接続する場合にのみ、お使いいただけます。

9 IR REPEATER OUT 端子
フラットパネルディスプレイコントロール用の端子です。この端子に接続する際は、必ず設置業者にお問い合わせください。

10 AUDIO1 R/L 端子 (AUDIO1) ☞44 ページ
ビデオデッキなどの音声出力端子と接続します。

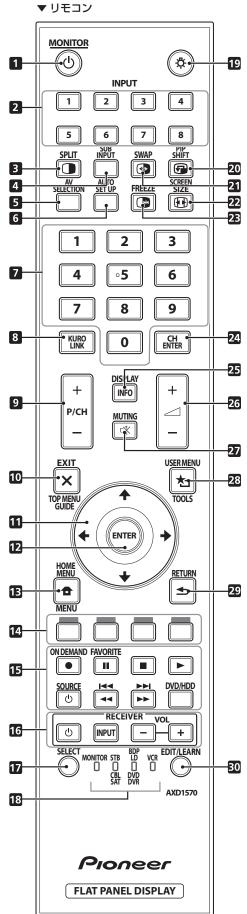
11 AUDIO2 端子 (AUDIO2) ☞50 ページ
パソコンなどの音声出力を接続します。

12 SPEAKERS(R) 端子 ☞17 ページ
右側用スピーカー出力端子です。
インピーダンスが 6 Ω～ 16 Ωのスピーカーを接続してください。

13 SPEAKERS(L) 端子 ☞17 ページ
左側用スピーカー出力端子です。
インピーダンスが 6 Ω～ 16 Ωのスピーカーを接続してください。

14 AC インレット (AC IN) 端子 ☞20 ページ
付属の電源コードを接続します。

リモコン

▼リモコン

1 MONITOR ☞21 ページ
電源を入 / スタンバイ（待機状態）します。

2 INPUT 1 ～ INPUT 8 ☞71 ページ
入力 1 ～入力 6 に切り換えます。

お知らせ
- 入力 7、入力 8 は使いません。

3 SPLIT ☞38 ページ
2 画面表示に切り換えます。

4 SUB INPUT ☞38 ページ
マルチ画面にしたときに副画面・子画面の入力の切り換えに使います。

5 AV SELECTION ☞30 ページ
番組やソフトの内容に合わせて、お好みの画質・音質の設定を選びます。

6 AUTO SET UP
最適な表示になるように、パソコン（PC）画面を自動調整できます。

7 数字ボタン（1～0）
IP コントロール設定時に、数字を入力するときに使います。

8 KURO LINK ☞62 ページ
KURO LINK メニューを表示します。

9 数字ボタン（＋ / －）
他機器を操作するときに使います。

10 EXIT ☞22 ページ
メニュー画面などを終了して、通常画面に戻ります。
TOP MENU GUIDE
他機器の TOP MENU または GUIDE を操作するときに使います。

11 カーソル（ ） ☞22 ページ
メニュー項目や設定内容を選びます。

12 ENTER ☞22 ページ
カーソルで選んだメニュー項目や、設定内容を決定します。

13 HOME MENU ☞22 ページ
本機のいろいろな設定をするためのホームメニューを表示します。
MENU
他機器の MENU を操作するときに使います。

14 カラーボタン（赤／緑／青／黄） ☞62 ページ
他機器を操作するときに使います。

15 他機器コントロールボタン
他機器を操作するときに使います。

16 レシーバーコントロールボタン
レシーバーを操作するときに使います。

17 SELECT ☞69 ページ
他機器の操作やプリセットコードなどを設定するときに、各機器の切り換えをします。

18 プリセットコード、学習モード用インジケーター
プリセットコード、学習モードを設定するときに、選択した機器のインジケーターが点灯または点滅します。

19 自照ボタン
ボタンを押すと、ENTER/ カーソルを除くボタンが 5 秒間点灯します。

20 PIP SHIFT ☞39 ページ
PinP 表示にしたときに子画面の位置を移動するときに使います。

21 SWAP ☞38 ページ
2 画面表示のときに、主画面・親画面（操作できる画面）と副画面・子画面を入れ換えます。

22 SCREEN SIZE ☞26 ページ
お好みの画面サイズを選びます。

23 FREEZE ☞39 ページ
副画面・子画面に静止画を表示します。

24 CH ENTER
他機器を操作するときに使います。

25 DISPLAY/INFO
現在の状態を見るときに使います。

26 音量（＋ / －）
お好みの音量に調整します。

27 MUTING
音を一時的に消します。

28 USER MENU ☞24 ページ
本機でよく使う設定をするためのユーザーメニューを表示します。
TOOLS
他機器の TOOLS を操作するときに使います。

29 RETURN ☞22 ページ
1 つ前の操作に戻ります。

30 EDIT/LEARN ☞69 ページ
プリセットコード / 学習モードを設定するときに使います。

ご注意

- 9、14、15、24 ボタンは、プリセットコードを「MONITOR」に設定しているときは働きません。

ディプレイのお手入れのしかた

ご注意

- キャビネットおよびパネルの表面はベンジン、シンナーなどで拭いたり、殺虫剤など、揮発性の薬品をかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチック部品が変質したり、塗料がはがれることがあります。

パネル表面のお手入れのしかた

普段のお手入れのときは

1. 付属のワイピングクロスで**軽くから拭き**する

ご注意

- パネル表面は柔らかい特殊フィルムで覆われています。強くこすると特殊フィルムにキズがつくことがあります。

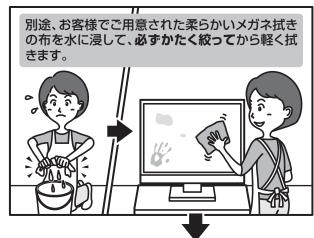
から拭きで落ちない汚れのときは

1. 付属のワイピングクロスとは別に、市販の柔らかいメガネ拭きなどを用意する
2. 本機の電源を切る
3. 用意した柔らかい布を水に浸してよく絞る

ご注意

- 水に浸した布は、**必ずかたく絞って**ください。パネル表面を水が伝わって本機内部に水が入ると、故障の原因となります。

4. パネル表面を軽く拭いて、汚れを浮かせる
5. パネル表面が乾かないうちに付属のワイピングクロスでから拭きする
6. 手順 4、5 を繰り返す

お知らせ

- ご用意いただくメガネ拭きなどは研磨剤やつや出しなどを含んでいないものにしてください。
- 水拭きでのお手入れのときは、片方の手に濡れた布、もう片方の手にワイピングクロスを持ち、濡れた布で拭いた直後にから拭きで汚れを拭き取るのがコツです。また、パネル全面をすべて水拭きしたあとにから拭きするのではなく、小ブロックに分けて、少しずつ水拭き、から拭きを繰り返してお手入れしてください。
- この水拭きでも落ちない汚れについては、カスタマーサポートセンター（裏表紙）にご連絡ください。

キャビネットの光沢面のお手入れのしかた

本機のフロントキャビネット光沢表面は、付属のワイピングクロスで軽くから拭きしてください。

ご注意

- ほこりのついた布や硬い布で拭いたり、強くこすったりすると表面に傷がつくことがあります。

から拭きしても汚れが落ちない場合は、当社カスタマーサポートセンター (裏表紙) へご相談ください。

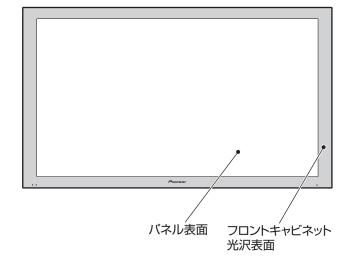
付属ワイピングクロスの取り扱いについてのお願い

- ほこりなどで汚れたままのワイピングクロスを使用すると、本機の表面にキズがつく恐れがあります。ワイピングクロスが汚れたときには、以下のように洗濯をしてください。
  中性洗剤を 1 %程度に薄めて、もみ洗いをしてください。その後、洗剤が残らないように十分にすすぎ洗いをし、乾燥後ご使用ください。
- ワイピングクロスを紛失されたり汚れがひどくなった場合は、お近くの販売店でワイピングクロスをご注文いただくか、直接部品受注センターで購入をお願いいたします。
  また、代用品として市販のメガネ拭きなどを購入されてもご使用いただけます。

キャビネットのお手入れのしかた

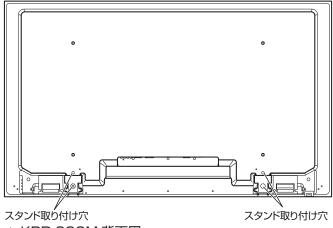
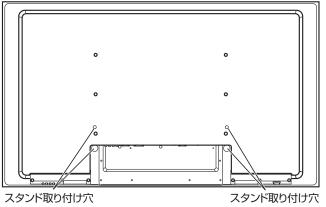
キャビネットの表面は、きれいな柔らかい布（綿、ネルなど）で軽くから拭きしてください。

ご注意

- ほこりのついた布や硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、表面にキズがつくことがあります。
- キャビネットにはプラスチックが多く使われているのでベンジン、シンナーなどで拭いたりしないでください。変質したり、塗料がはがれることがあります。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
  プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- キャビネットの表面を濡れた布で拭くと、水滴などが本機の表面を伝わって、内部に侵入し故障の原因になることがあります。

設置時の注意事項

本機を設置する前に、以下の注意事項をお読みになり、正しく安全に設置してください。

当社別売りのスタンドなどを使って設置するとき

設置は販売店などに依頼してください。
スタンドで使う取り付け穴は下図のとおりです。必ず付属のネジをお使いください。
詳しくはスタンドなどの取扱説明書をお読みください。

▲ KRP-600M 背面図

▲ KRP-500M 背面図

ご注意

- 本機には設置用のスタンドは付属していません。
  設置の際は、別売りのテーブルトップスタンド（下表参照）や壁掛けユニットをご使用ください。

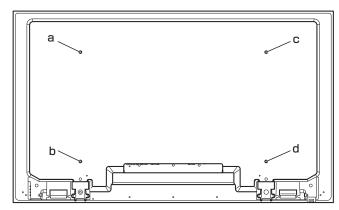
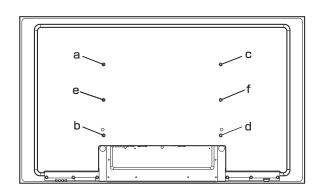
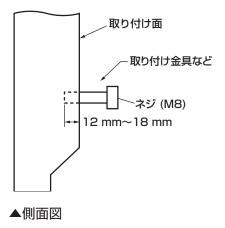
KRP-600M 用テーブルトップスタンド	KRP-TS01
KRP-500M 用テーブルトップスタンド	KRP-TS02

当社別売りの金具などを使って設置するとき

販売店にご相談ください。
使うことのできる取り付け穴は下図のとおりです。

▲ KRP-600M 背面図

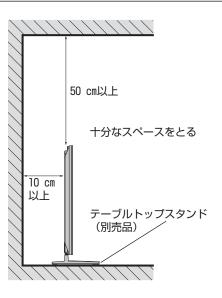
▲ KRP-500M 背面図

▲側面図

⚠注意

- 前ページ背面図のａｂｃｄの４カ所、またはａｂｃｄｅｆの６カ所の取り付け穴をお使いください。
- ネジはM8を使用し、本機の取り付け面より本機内に12 mm〜18 mm入るものをお使いください。（背面図、側面図参照）
- 背面にあいている通風孔はふさがないようにしてください。
- 縦置きや天地逆、あお向けやうつ伏せには設置しないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台や傾いたところなど不安定なところに置かないでください。また天井に取り付けないでください。倒れたり落ちたりしてけがの原因となります。
- 湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気の当たるような場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。
- 本機はガラスを使っていますので、必ず歪みのない面に取り付けてください。
- 上記の指定以外のネジ穴は指定製品専用です。指定製品以外の固定にはご使用にならないでください。
- スピーカーを取り付けたままスタンドから外したり、スタンドに取り付けたりしないでください。

ご注意

- 当社製品以外の部品による事故損傷については、当社は一切責任を負いません。
- 取り付け、取り外しは、専門業者にご依頼ください。

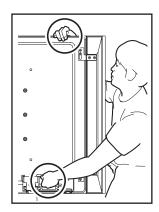
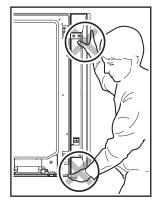
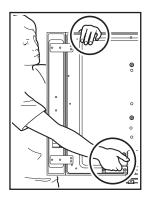
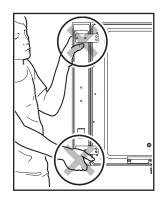
設置スペースについて

⚠注意

- 本機の上には、物を載せないでください。
- 本機の背面部・天面部は、十分なスペースをとって設置してください。
- 本機背面の通風孔はふさがないでください。

本機の移動について

本機を移動する場合は、必ず 2 人以上で作業を行い、背面の「取っ手」を使用してください。けがの原因になるため片側の「取っ手」のみでの移動は行わないでください。下図のように使用してください。

ご注意

- 本機を持ち運ぶときには、スピーカー部分を持たないでください。スピーカーが外れる恐れがありますので、テレビ本体の上部と取っ手を持って持ち運んでください。
- テレビ台などに取り付けるときもスピーカーやスタンド部は持たず、テレビ本体を持って取り付けてください。

▲ KRP-600M

▲ KRP-500M

壁掛け設置する際の注意事項

1. 壁掛け設置をする際には、必ず専用の金具を使用してください。また設置・据え付けは工事専門業者に依頼してください。
2. 設置場所について
   - 人が簡単にぶら下がったり、寄りかかったりできる場所への設置はできるだけしないでください。
   - 屋外や温泉など湿気の多い場所、水辺の近くには設置しないでください。
   - 振動や衝撃の加わるような場所には設置しないでください。
   - 壁の構造や強度により取り付けできない場合がありますので、工事専門業者または販売店にご相談ください。
3. 異常や不具合が発見された場合には、すみやかに販売店または工事専門業者に修理を依頼してください。
4. 壁掛けの設置金具や壁面の取り付け部など、目につかない所が破損し、本機が落下する危険が生じる恐れがあります。本機を壁掛け設置する際および点検修理時や内装工事の時などに、必ず工事専門業者または販売店に点検を依頼し、問題のないことをお確かめください。
5. 本機を壁掛け設置して長期間使用されると、環境によっては経年変化で取り付け部などの強度が不足する恐れがあります。定期的に工事専門業者に点検を依頼し、問題のないことをお確かめください。

壁掛け設置されたお客様へ

当社製の壁掛けユニットは、工事専門業者により安全な設置・据え付けが行われることを前提として発売されています。壁掛け設置をされているお客様は以下のことをお守りください。

- 壁掛け設置されているフラットパネルディスプレイ（本機）には、ぶら下がったり力を加えたりしないでください。
- 壁掛け設置されているフラットパネルディスプレイ（本機）や壁掛けユニットには、物をぶら下げたりしないでください。
- 地震が起きた場合には、壁掛け設置されているフラットパネルディスプレイ（本機）や壁掛けユニットの落下・転倒など万一の場合に備え、本機や壁掛けユニットから離れてください。
- 壁掛け設置の際には、地震などの災害や万一の場合に備え、二重の落下防止策（チェーンなどでの固定）を、工事専門業者にご依頼ください。
- スピーカーを取り付けるときは、本書 17 ページをご覧になって取り付けてください。また、壁掛けユニットにテレビ本体を取り付けるときは、壁掛けユニットの取扱説明書をご覧ください。

設置後の転倒・落下防止のお願い

地震などでの製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、必ず転倒・落下防止対策を行ってください。

ご注意

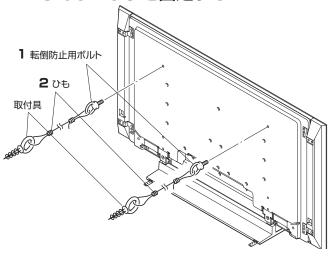
- 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は適当な補強を施してください。
- また転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保障するものではありません。

壁を利用する方法

お知らせ

- KRP-600Mを例にして説明します。KRP-500Mも同じ手順で転倒防止処置をします。

1 本機背面に、付属の転倒防止用ボルトを取り付ける

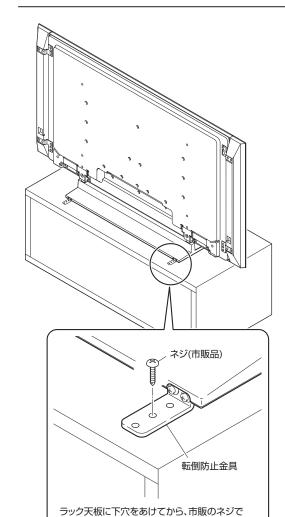
2 壁や柱などの堅牢な場所に、丈夫なひもでしっかりと固定する

ご注意

- 左右対称に、しっかりと固定してください。
- 市販のひもや取付具などをお使いください。
- ひもに裸の金属ワイヤーを使用しないでください。ワイヤーの先端が本体背面の通風孔に入り、感電や火災の原因になります。

テレビ台などに固定する方法

1 市販のネジおよびスタンドに付属のネジで、スタンドを次の図のように固定する

ご注意

- 本機はかなり重量があるため、設置するテレビ台はこの重さに耐えられる堅牢なもので、かつ十分な幅と奥行きがあり、転倒しない台を使用してください。
- 市販のネジを使用するときは、テレビ台の材質に合った、直径４ mmのネジをご用意ください。ネジの種類については、お買い上げの販売店や工事店にご相談ください。
- 別売りの専用テーブルトップスタンドをご使用の場合、転倒防止処置については、テーブルトップスタンドの取扱説明書に従ってください。

イラストはKRP-600Mです。

設置の手順

本機を設置して、機器やスピーカーを接続するまでの手順を確認します。次の手順で設置します。設置の前に、「安全上のご注意」（☞98 ～ 100 ページ）を必ずお読みください。

1 置く場所を決める

ご注意

- 「安全上のご注意」（☞98 ページ）、「使用上のご注意」（☞101 ページ）をご覧になって、設置場所を決めてください。

2 スタンドを取り付ける

別売りのスタンドを組み立ててから、スタンドに本機を取り付けます。

ご注意

- 本機を設置するには、別売りのスタンドが必要です。スタンドの取り付け方法については、スタンドの取扱説明書をご覧ください。

3 スピーカーを取り付ける
（☞17 ページ）

別売りのスピーカーを取り付けてケーブルをつなぎます。

ご注意

- スピーカーの取り付け方法については、スピーカーの取扱説明書をご覧ください。

4 機器を取り付ける
（☞44 ページ）

機器を取り付け、ケーブルをつなぎます。
（「接続して使う」☞44 ページ）

5 リモコンの準備をする
（☞18 ページ）

電池を入れて、リモコンの準備をします。

6 電源プラグをコンセントにつなぐ（☞19 ページ）

ご注意

- コンセントは必ず最後（手順 1 ～ 5 のあと）に接続してください。

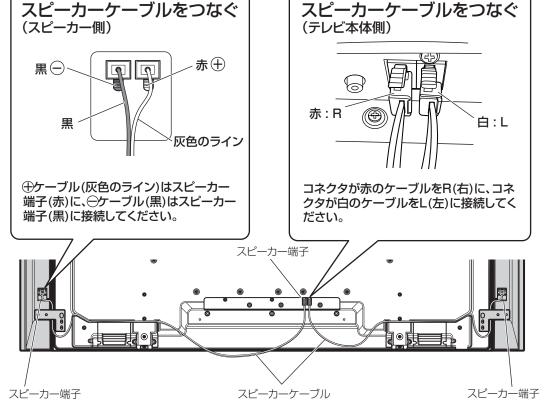
7 電源を入れて設定をする
（☞26 ページ）

各種機能の設定を行ってください。

スピーカーケーブルをつなぐ

本機はスピーカーシステム（別売り）接続用にスピーカー出力端子を備えています。
下図を参考に接続してください。

ご注意

- 本体とスピーカーシステムを接続するケーブルは、必ず付属のスピーカーケーブルを使用してください。

イラストは KRP-600M です。

スピーカーケーブルのつなぎ方（スピーカー側）

レバーを押してケーブルの先端を差し込みます。レバーを放すとスピーカーケーブルが固定されます。

スピーカーケーブルを外す時は、必ずレバーを押しながら外してください。

スピーカーケーブルのつなぎ方（本体側）

スピーカーケーブルのコネクタを、スピーカー端子に差し込みます。コネクタが外れないように、きちんと差し込んでください。
スピーカーケーブルを外す時は、必ずレバーを押しながら外してください。

ご注意

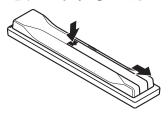
- 本機とスピーカーとを接続する前に、本機の電源プラグを抜いてください。
  本機の電源を入れたままスピーカーケーブルの接続をすると、スピーカーケーブルの銅線が接続されている他機器などに触れたときに、テレビ本体に過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- スピーカーケーブルはまっすぐ差し込んでください。
  斜めに差し込むと接続が不完全になり、音が出なくなる場合があります。音が出ない場合はケーブルを差し直してください。
- スピーカーケーブル（スピーカー側）を端子の奥まで差し込むと、被覆（ビニール部分）を挟み込んで音が出なくなる場合があります。銅線が外側から少し見えるように差し込んでください。

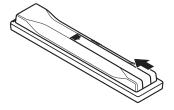
- スピーカー端子にスピーカーケーブルを接続したあとは、ケーブルを軽く引いて、ケーブルの先端が端子に確実に接続されていることを確かめてください。接続が不完全だと、音がとぎれたり、雑音が出る原因となります。
- スピーカーケーブルの芯線がはみ出して、⊕と⊖の線がショートすると、テレビ本体に過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。
- 極性（＋－）を間違えないようにしてください。
  片方（右または左）のスピーカーの極性を間違えて接続した場合、低音が不足したり、音の定位感がなくなって、正しいステレオ効果が得られなくなります。
- スピーカー端子には、スピーカー以外の機器を接続しないでください。
- スピーカーケーブルを強く引っ張らないでください、接続が不完全になって音がとぎれたり、コネクタからケーブルが抜けたり、コネクタが破損することがあります。
- 付属のスピーカーケーブルのコネクタが外れてしまった場合は、カスタマーサポートセンターにご連絡ください。

リモコンの準備をする

リモコンを使う

電池を入れてリモコンの準備をします。

1 矢印の方向に押しながらスライドさせ、バッテリーカバーを開ける

2 ケース内に表記されている極性 ⊕（プラス）/ ⊖（マイナス）を合わせて、乾電池を正しく入れる

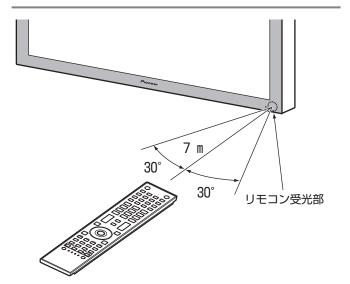
3 バッテリーカバーを閉じる

ご注意

- 電池は過熱したり分解したり火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけがの原因となることがあります。
- 新しい乾電池と、一度使用した乾電池および種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 不要となった乾電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。
- 電池の極性を間違えると、電池が爆発することがあります。
- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがあります。
- 旅行などで長時間使用しないときは、リモコンから電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- 電池は単３型アルカリ乾電池（AM-3,LR6）、または単３型マンガン乾電池（SUM-3,R6）をお使いいただけますが、電池寿命の長いアルカリ乾電池のご使用をお勧めします。

リモコンで操作できる範囲

リモコンは、ディスプレイ前面右下のリモコン受光部に向けて操作してください。操作できる範囲は受光部から 7 m、左右に 30 度以内です。

お知らせ

- リモコンとディスプレイの受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 電池が消耗した場合は、操作できる距離が徐々に短くなります。
- 本機は画面から微弱な赤外線を放出しています。近くにビデオなどの赤外線リモコンを使って操作する機器を設置すると、その機器がリモコン操作を受けつけにくくなったり、受けつけなくなることがあります。そのような場合は、本機から離して設置してください。
- 設置環境によっては、本機がリモコンの操作を受けつけにくくなったり、リモコンで操作できる距離が短くなることがあります。
- リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっていると、リモコンが動作しにくくなります。その場合は照明の向きなどを変えてください。

電源プラグをコンセントにつなぐ

ケーブルを束ねて、電源コードをつなぎます。

ケーブルを束ねる

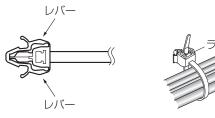
ケーブルを束ねるときは、必要に応じて付属のケーブルクランプを使います。

ご注意

- **各ケーブルに負荷がかからないように束ねてください。各ケーブルを引っ張らないでください。**

ケーブルクランプの使い方

ケーブルクランプのバンドをホルダーに通します 1。ケーブルを束ねたあと、ケーブルクランプホルダーのレバーを持ち、フックをフラットパネルディスプレイ背面の所定のクランプ穴に差し込みます 2。最後にクランプバンドを引き上げてロックします。

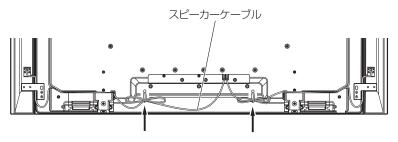
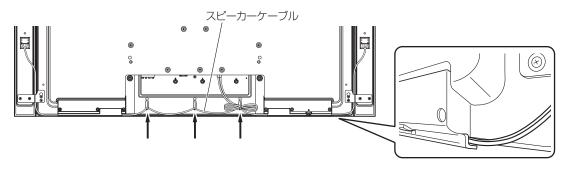
- ケーブルクランプがフラットパネルディスプレイ背面にしっかり固定されているか確認してください。

クランプバンドを取り外すときは、ラッチを引きながら緩めて取り外します。ケーブルクランプを取り外すときは、レバーを押しながらクランプ穴から引き抜きます。

ご注意

- **ケーブルを束ねるときは、指を挟んだり、ケーブルが圧迫されることがないように注意してください。**
- **ケーブルクランプは、長期間使用すると劣化します。古くなったクランプは取り外しの際に損傷しやすく、再使用ができなくなることがあります。**
- **ケーブルクランプは必要に応じてお使いください。**
- **ケーブルが絡まないように注意してください。**

お知らせ

- ケーブルクランプは、本機背面の穴（→）に取り付けて使います。

▼ KRP-600M 背面下部

▼ KRP-500M 背面下部

電源コードをつなぐ

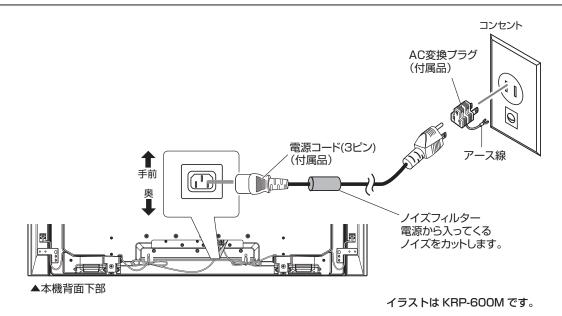
ご注意

電源コードは最後に（他のケーブルの接続が終わってから）接続してください。

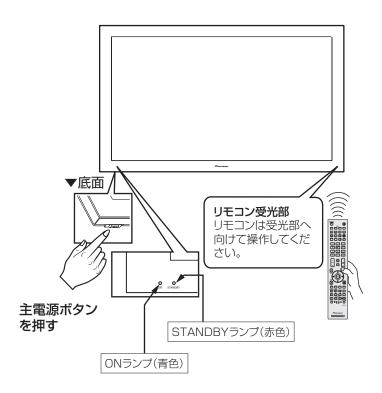
- すべての接続が終わるまでは、電源を入れないでください。

▲本機背面下部

イラストは KRP-600M です。

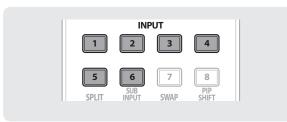
ご注意

- **電源コードは気が付かないうちに抜けていることがありますので、奥までしっかりと差し込んであるか確認してください。**
- 電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。
- アース線は、絶対にコンセントに挿入しないでください。
- 本機の電源コードは、3 ピンプラグになっています。性能維持のため、必ずアース線を接続してください。
- アース端子のある 2 芯コンセントのときは、付属の AC 変換プラグを付けてお使いください。コンセントが 3 芯のときは、AC 変換プラグを付けず、そのままお使いください。
- コンセントが 2 芯専用でアース端子がない場合は、アース工事を専門業者に依頼することをお勧めします。

電源を入れる

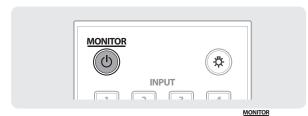
1 主電源ボタンを押して、本機の電源を入れる

お知らせ

- リモコンの MONITOR ⏻ ボタンを押して電源を切ると、本機はスタンバイ状態になります。
  通常は、主電源ボタンで電源を切らずに、スタンバイ状態にしておくことをお勧めします。
- 本機の ⏻／| ボタンを押しても、スタンバイ状態にできます。(☞6ページ)
- STANDBY ランプ（赤色）が点灯しているときは、本機がスタンバイ（待機）状態です。

入力機器を選ぶ

2 リモコンの入力切換ボタンで、入力機器を選ぶ

電源を切る

1 リモコンの MONITOR ⏻ ボタンを押して、電源を切る

本機がスタンバイ（待機状態）になり、STANDBY ランプ（赤）が点灯します。

次回、電源を入れるときには、リモコンの MONITOR ⏻ ボタンを押して電源を入れてください。電源が入ると、ON ランプ（青）が点灯します。

ホームメニューとは

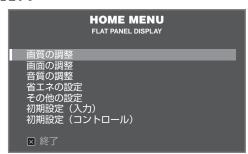
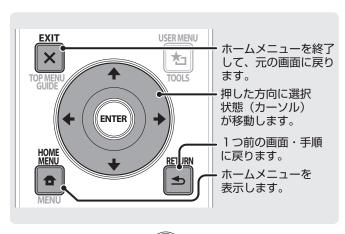
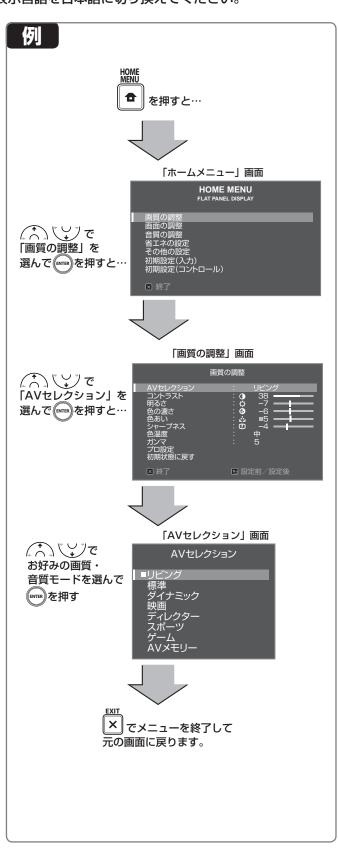
リモコンの HOME MENU を押すと「ホームメニュー」が表示されます。ホームメニューでは、画面上でいろいろな設定ができます。ここではホームメニューの基本的な使い方を説明します。

お買い上げ時は、メニュー表示言語が英語になっています。「メニュー画面の表示言語を切り換える」（☞25 ページ）を参照して、表示言語を日本語に切り換えてください。

ホームメニューを使うには

HOME MENU を押すと、ホームメニュー画面が表示されます。
画質を細かく調整したいときなど、ディスプレイの設定を変更したいときにホームメニューを使います。

お知らせ

- メニュー画面で、灰色表示されている機能や項目は、選択や設定ができません。
- ホームメニューでは、選択しているメニュー項目の説明や操作方法などのガイドが表示されることがあります。操作の参考にしてください。

- 設定したい項目を選んで ENTER を押すと、次のメニュー画面または設定画面が表示されます。
- 設定画面によっては ◁○▷ で選ぶことがあります。

1 つ前の画面や 1 つ前の手順に戻るには

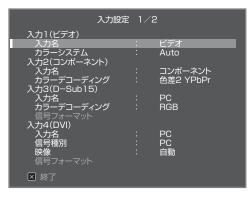
1 RETURN を押す

お知らせ

- 画面に「戻る」が表示されているときは、「戻る」を選んでも戻れます。

1 つのメニューで複数画面あるときは

1 で項目を送る

で項目を送ると、一番下または一番上の項目で画面が切り換わります。

ホームメニューを終了するには

1 EXIT を押す

ホームメニューが消えて元の画面に戻ります。

ユーザーメニューとは

リモコンの USER MENU を押すと「ユーザーメニュー」が表示されます。ユーザーメニューでは、以下の機能の設定ができます。

入力切換

外部入力の切り換えができます。

AV セレクション

本機には、映画やスポーツなどを最適な画質で楽しむための 7 種類の設定が用意されています。詳しくは、「お好みの画質モードを選ぶ」（☞30 ページ）をご覧ください。

フィルムモード

フィルム収録の映像を高画質に再生できます。詳しくは、「フィルム収録の映像を高画質に再生する」（☞33 ページ）をご覧ください。

おやすみタイマー

設定した時間を過ぎると、自動的にスタンバイ（待機状態）にすることができます。詳しくは、「自動で電源を切る」（☞43 ページ）をご覧ください。

KURO LINK

接続したパイオニア製 KURO LINK 対応機器を、本機のリモコンや KURO LINK メニューから操作します。詳しくは、「本機から HDMI 機器をコントロールする」（☞62 ページ）をご覧ください。

お知らせ

- ユーザーメニューの使い方は、ホームメニューの使い方と同じです。詳しくは、「ホームメニューとは」（☞22 ページ）をご覧ください。

メニュー画面の表示言語を切り換える

お買い上げ時は、メニュー表示言語が英語になっています。下記の手順で言語を切り換えてください。

メニュー画面の表示言語を選ぶ

[Language]

1 主電源ボタンを押して、本機の電源を入れる

ON ランプ（青）が点灯します。

2 HOME MENU を押す

3 [Option] を選んで ENTER を押す

4 [Language] を選んで ENTER を押す

Option		
Language	:	English
Input Priority	:	Off
Blue LED Dimmer	:	Low
Orbiter	:	Off
Video Pattern		
Long Life Settings		
Room Light Sensor	:	Off
PIP Detect	:	Auto

Exit

5 ▲▼で言語を選ぶ

Language

English
Deutsch
Français
Italiano
Español
Nederlands
Svenska
Portuguê
Ελληνικά
Suomi
Русский
Türkçe
Norsk
Dansk
■日本語

English ※	英語
Deutsch	ドイツ語
Français	フランス語
Italiano	イタリア語
Español	スペイン語
Nederlands	オランダ語
Svenska	スウェーデン語
Portuguê	ポルトガル語
Ελληνικά	ギリシャ語
Suomi	フィンランド語
Русский	ロシア語
Türkçe	トルコ語
Norsk	ノルウェー語
Dansk	デンマーク語
日本語	日本語

※お買い上げ時の設定

お知らせ

- 終了するときは、EXIT ✕ を押します。

画面サイズを切り換える

映像の内容によってお好みの画面サイズに切り換えます。

画面サイズを選ぶ

SCREEN SIZE

SCREEN SIZE を押して、お好みの画面サイズを選びます。

ご注意

- **画面サイズ４：３や、上下や左右に黒帯が表示される映像を何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日繰り返し表示すると焼き付きによる残像が発生します。著作権者の権利を侵害する恐れがある場合を除き、画面の残像（焼き付き）の発生を避けるため、映像を画面いっぱいに映す画面サイズに切り換えてお楽しみいただくことをお勧めします。**
- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどで、画面サイズ切り換え機能などを使って、画面の圧縮や引き伸ばしなどをすると、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

画面サイズの種類

ワイド１	横縦比４：３の映像を、違和感を抑えて画面いっぱいに表示します。
ワイド２	横縦比４:３の映像を、画面いっぱいに表示します。
フル	16:9 から 4:3 に圧縮（スクイーズ）された映像を、元の 16：9 に戻して画面いっぱいに表示します。
ドットバイドット	入力信号と画面のドット×ラインを１：１に対応させて、忠実に表示します。入力ソースのサイズが 1920 × 1080 のときのみ表示できます。
ズーム	シネマスコープサイズまたは 16：9 サイズの映像を画面いっぱいに表示します。
シネマ	ビスタサイズの映像を画面いっぱいに表示します。

4：3	横縦比４：３映像をそのまま表示します。
フル 14：9	4：3 に圧縮（スクイーズ）された映像を、14：9 にして表示します。
シネマ 14：9	ビスタサイズの映像を縦横比 14：9 映像で表示します。

- 入力された映像によっては、画面サイズを切り換えても黒帯が表示される場合があります。

お知らせ

- 入力された映像信号に画面サイズの情報があるときは、その情報に合わせて画面サイズが自動的に最適なサイズに切り換わります。(☞27 ページ)

選べる画面サイズについて

入力 / 信号		ワイド	フル	ドットバイドット	ズーム	シネマ	4：3
HDMI コンポーネント	標準（525p）	○	○	×	○	○	○
	ハイビジョン（750p）	○	○	×	○	—	○
	ハイビジョン（1125i）	○	○ フル 1/フル 2	○	○	—	○
HDMI	ハイビジョン（1125p）	○	○ フル 1/フル 2	○	○	—	○

ハイビジョン信号（1125i/1125p）のときは

- ● ハイビジョンを見ているときは、「フル 1」「フル 2」「ドットバイドット」「ワイド 1」「ワイド 2」が選べます。

フル１	ハイビジョン信号をそのまま表示します。
フル２	フル１で表示すると画面上部に黒帯が見えるとき、画面いっぱいに表示します。
ドットバイドット	入力信号と画面のドット×ラインを１：１に対応させて、忠実に表示します。入力ソースのサイズが 1920 × 1080 のときのみ表示できます。
ワイド１ ワイド２	フル１やフル２で表示すると画面左右に黒帯などの無画部が見えるとき、画面いっぱいに表示します。

- ●「ワイド 1」「ワイド 2」を選ぶと、映像の一部が欠けることがあります。この場合、「フル 1」または「フル 2」にすることをお勧めします。

画面サイズを自動的に切り換える

[画面サイズ自動切換]

本機には、入力信号に含まれる画面サイズ制御信号に合わせて、画面サイズを自動的に最適なサイズに切り換える機能があります。

ご注意

- お買い上げ時は、「画面サイズ自動切換」は「画面いっぱい」に設定されています。
- 画面サイズ自動切換中は、画面サイズの表示が緑色で表示されます。
- 「しない」を選ぶと、自動的に画面サイズが切り換わらなくなります。SCREEN SIZEを押して、お好みの画面サイズを選びます。
- ハイビジョン信号の一部で、4：3 画面の左右に黒帯や静止画などをつけて、16:9 画面として表示される場合は、「サイドマスク」の「検出」を「モード 1」または「モード 2」に設定してください。
（「サイドマスクの表示方法を変更する」☞28 ページ）

オリジナルの映像がレターボックスのときは

- 4：3 の画面の中に 16：9 の映像が含まれるとき（レターボックス）は、自動的に「ズーム」で表示されます。

オリジナルの映像が 16：9 のときは

- オリジナルの映像が 16:9 のとき（フルモード）は、自動的に「フル」で表示されます。

1 HOME MENU を押す

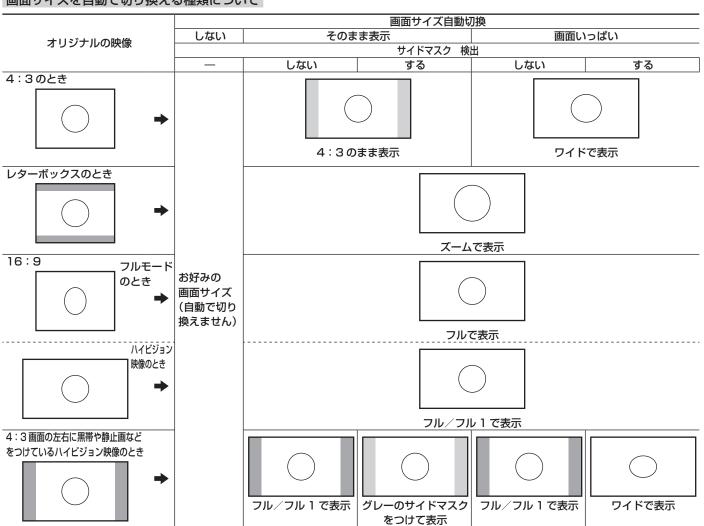
2 [画面の調整] を選んで を押す

3 [画面サイズ自動切換] を選んで ENTER を押す

画面の調整

水平位置調整 ： 0
垂直位置調整 ： 0
画面サイズ自動切換 ： そのまま表示
サイドマスク
検出 ： モード1
HDワイドモード ： モード2
輝度連動 ： 連動
初期状態に戻す
終了

画面サイズを自動で切り換える種類について

オリジナルの映像	画面サイズ自動切換 しない	そのまま表示		画面いっぱい	
	サイドマスク 検出 —	しない	する	しない	する
4：3のとき	お好みの画面サイズ（自動で切り換えません）	4：3のまま表示		ワイドで表示	
レターボックスのとき		ズームで表示			
16：9 フルモードのとき		フルで表示			
ハイビジョン映像のとき		フル／フル 1 で表示			
4：3 画面の左右に黒帯や静止画などをつけているハイビジョン映像のとき		フル／フル 1 で表示	グレーのサイドマスクをつけて表示	フル／フル 1 で表示	ワイドで表示

4 ⬆⬇で以下の項目を選んで を押す

しない	画面サイズを自動で切り換えません。
そのまま表示	画面サイズを自動で切り換えます。 ４：３映像のとき、そのまま表示します。
画面いっぱい	画面サイズを自動で切り換えます。 ４：３映像のとき、画面いっぱいに表示します。

お知らせ

- 終了するときは、EXIT ✕ を押します。

サイドマスクの表示方法を変更する

[サイドマスク]

ハイビジョン信号の一部では、４：３ 画面の左右に黒帯や静止画など（サイドマスク）をつけて、16：9 画面として表示される場合があります。このサイドマスクを検出して、自動的に表示方法を変更することができます。

検出※	サイドマスクを検出するかしないかを設定します。サイドマスクを検出したときは、「画面サイズ自動切換」の設定に従い、グレーのサイドマスクをつけるか、画面いっぱいに引き伸ばして表示します。	
	しない※	サイドマスクを検出しません。
	モード１	サイドマスク（黒帯のみ）を検出します。
	モード２	サイドマスク（黒帯や静止画など）を検出します。
HD ワイドモード	モード１※	画面サイズ自動切換が「画面いっぱい」の時、サイドマスクは黒帯のみを検出します。
	モード２	画面サイズ自動切換が「画面いっぱい」の時、サイドマスクは黒帯および静止画を検出します。
輝度連動	表示する映像の明るさに連動して、サイドマスクの明るさを変更するかどうかを設定します。	
	固定※	サイドマスクの明るさを、一定の明るさで表示します。
	連動	サイドマスクの明るさを、映像に連動した明るさで表示します。

※お買い上げ時の設定

お知らせ

- 「検出」が「モード１」または「モード２」の場合、表示の一部が欠けることがあります。
  この場合は、「検出」を「しない」に変更するか、SCREEN SIZE を２回以上押すことによって、一時的に検出を解除できます。
- ハイビジョン信号を表示しているときのみサイドマスクの検出が働きます。
- 「画面サイズ自動切換」が「しない」に設定されているときは、「検出」の設定はできません。
- 「輝度連動」の「連動」を選ぶと、画面の残像（焼き付き）の発生を軽減することができます。

1 HOME MENU を押す

2 [画面の調整] を選んで を押す

3 ⬆⬇で変更したい項目を選んで ENTER を押す

4 ⬆⬇で設定を選んで を押す

お知らせ

- サイドマスク「検出」機能が動作している時、入力情報の下部に「自動」と表示されます。
  （SCREEN SIZE を１回押すと確認できます。）

- 画面サイズを切り換えると、サイドマスクの「検出」機能が解除されます。機能を復帰させるときは、他の入力に切り換えるか、電源をスタンバイにしたあと再び電源を入れてください。「検出」機能が復帰し、画面サイズ自動切換が可能になります。
- 終了するときは、EXIT ✕ を押します。

省エネ機能を使う

[省エネの設定]

節電のための省エネ機能の設定をします。次の 3 つの省エネ機能があります。
(パソコン接続時の省エネ機能については ☞54 ページ)

消費電力	消費電力を抑える機能を設定します。	
	標準※	通常の明るい映像です。
	省エネ 1	消費電力を低減します。
	省エネ 2	消費電力をさらに低減します。
	消画	画面を消して音だけを出します。消画状態で + − MUTING 以外のボタンを押すと、設定前の状態に戻ります。「消画」を選択した状態でホームメニューを終了すると、消画になります。
無信号オフ	入力信号がなくなったときに、約 15 分後に自動的に電源を切る（スタンバイ状態にする）機能です。「する」または「しない※」を選びます。	
無操作オフ	約 3 時間本機の操作をしなかったときに、自動的に電源を切る（スタンバイ状態にする）機能です。「する」または「しない※」を選びます。	

※お買い上げ時の設定

お知らせ

- 「無信号オフ」や「無操作オフ」を「する」に設定すると、電源が切れる(スタンバイ状態になる)直前に、“まもなく電源が切れます。” と表示されます。
- PC（パソコン）入力時は、「無信号オフ」や「無操作オフ」はありません。「パワーマネージメント」で設定してください。(☞54 ページ)

1 HOME MENU を押す

2 [省エネの設定] を選んで ENTER を押す

3 設定したい項目を選んで ENTER を押す

4 ▲▼で設定を選んで ENTER を押す

お知らせ

- 終了するときは、EXIT ✕ を押します。

お好みの画質モードを選ぶ

/ [AV セレクション]

本機には、映画やスポーツなどを最適な画質で楽しむための 8 種類の設定が用意されています。あらかじめ、調整をしたい入力に切り換えてください。

リビング	お部屋の明るさと映像に合わせて、最適な画質に調整します。
標準	標準的な画質の設定です。
ダイナミック	コントラストを最大限に引き上げた、メリハリの非常に強い映像にします。
映画	コントラスト感を抑えて、暗い映像を見やすくします。
ディレクター	画像のチェックなどのため、可能な限り入力信号を忠実に反映します。
スポーツ	サッカーなどのスポーツを見るのに適した映像にします。
ゲーム	テレビゲームなどの映像を、目にやさしい映像にします。
AV メモリー	入力ごとに、お好みに合わせて調整することができます。

お知らせ

- 画質モードは、入力や入力信号ごとに選べます。
- パソコン接続時（PC 入力）は、「標準」のみになります。
- **通常は「リビング」または「標準」でご使用になることをお勧めします。**

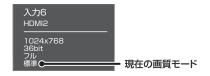
  リビング…太陽の日差しで画面の明るさが変わるとき、または暗い部屋で映像を楽しむことがあるときに適しています。

  標準…画面の明るさを固定したいときに適しています。

1 AV SELECTION を押す

現在の画質モードが表示されます。

2 AV SELECTION を押して、希望の画質モードを選ぶ

押すたびに、画質モードが切り換わります。

お知らせ

- ホームメニュー、ユーザーメニューの「画質の調整」の「AV セレクション」でも、画質モードを選べます。

画質と音質を調整する

お好みの画質に調整する

[画質の調整]

画質モードを、お好みの画質に調整できます。あらかじめ、調整をしたい画質モードに切り換えてください。(画質モード ☞30 ページ)

ご注意

- 画質モードが「ダイナミック」のときは画質調整できません。

コントラスト	明暗の差を調整します。
明るさ	暗い場面が見やすくなるように調整します。
色の濃さ	お好みの色の濃さに調整します。
色あい	肌色がきれいに見えるよう調整します。
シャープネス	映像のくっきり感を調整します。
色温度	白色をお好みの色調に調整します。
ガンマ	映像の明暗バランスを調整します。

1 HOME MENU を押す

2 [画質の調整] を選んで を押す

3 ⇧⇩で調整したい項目を選んで ENTER を押す

4 ⇦⇨でお好みの画質に調整する

お知らせ

- 他の項目を調整するときは、RETURN を押して手順３と４を繰り返します。
- 手順４の調整中に⇧⇩を押すと、調整項目を直接切り換えられます。
- 「画質の調整」を選ぶと、「リビング」モードや照度センサー、インテリジェントシステム、オービターの各機能が一時停止してお買い上げ時の状態に戻ります。そのため、画質や映像の表示位置が大きく変化することがあります。
- 終了するときは、EXIT ✕ を押します。

色温度を調整する

[色温度]

以下の項目を選んで ENTER を押してください。⇧⇩で設定を選んで ENTER を押すか、⇦⇨で調整します。

色温度	白色をお好みの色調に調整します。色温度が高いほど青みが強く、低いほど赤みが強い白になります。 「高」「高 - 中」「中」「中 - 低」「低」から選びます。 •「手動」では、お好みに応じてさらに詳細な色温度の調整ができます。

色温度を手動調整したいときは　[手動]

「色温度」で「手動」を選んで ENTER を押したあと、⇨ キーを押してください。色温度の手動設定画面が表示されます。RGB（赤･緑･青）のそれぞれの色成分で微調整ができます。

R ドライブ	明るい部分の微調整をします。 ⇨：＋側 ⇦：－側	赤の強さを調整します。
G ドライブ		緑の強さを調整します。
B ドライブ		青の強さを調整します。
R カットオフ	暗い部分の微調整をします。 ⇨：＋側 ⇦：－側	赤の強さを調整します。
G カットオフ		緑の強さを調整します。
B カットオフ		青の強さを調整します。

画質の調整を元に戻すには

[初期状態に戻す]

画質モードの調整内容を、お買い上げ時の設定に戻すことができます。

お知らせ

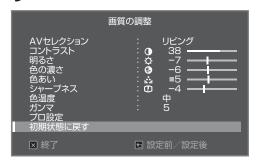
- 初期状態に戻したい画質モードにあらかじめ切り換えてください。(画質モード ☞30 ページ)
- 「プロ設定」の調整内容も、お買い上げ時の設定に戻します。(プロ設定 ☞33 ページ)

1 HOME MENU を押す

2 [画質の調整] を選んで を押す

3 [初期状態に戻す] を選んで ENTER を押す

4 [する] を選んで ENTER を押す

お知らせ

- 手動で設定した色温度をお買い上げ時の設定に戻したいときは、手動の画面でホワイトバランスを初期値に戻してください。
- 終了するときは、EXIT ✕ を押します。

詳細な画質調整をする

[プロ設定]

よりきめ細かく画質調整（プロ設定）ができます。あらかじめ、調整をしたい画質モードに切り換えてください。（**画質モード** ☞**30 ページ**）本設定は、ビデオ信号入力時のみ有効です。

ピュアシネマ	フィルム収録の映像を高画質に再生できます。
インテリジェントシステム	映像に適した画質に補正できます。
ピクチャーディテール	映像のコントラストや明るさを詳細に調整できます。
カラーディテール	色温度など詳細な色調整ができます。
ノイズリダクション	映像のざらつきを軽減することができます。
動き補正	映像に適した画像補正を詳細に調整できます。

ご注意

- 画質モードが「ダイナミック」のときは画質調整できません。
- 画質モードが「リビング」のときは、ピュアシネマ以外のプロ設定ができません。ピュアシネマを設定したいときは、ユーザーメニューで設定してください。

プロ設定画面を表示する

[プロ設定]

1 HOME MENU を押す

2 [画質の調整] を選んで ENTER を押す

3 [プロ設定] を選んで ENTER を押す

画質の調整

AVセレクション	:		リビング
コントラスト	:	◑	38
明るさ	:	☼	−7
色の濃さ	:		−6
色あい	:		■5
シャープネス	:		−4
色温度	:		中
ガンマ	:		5
プロ設定			
初期状態に戻す			

☒ 終了　　設定前／設定後

4 プロ設定画面で、設定したい項目を選んで ENTER を押す

プロ設定

ピュアシネマ		
フィルムモード	:	しない
字幕適用	:	しない
インテリジェントシステム	:	しない
ピクチャーディテール		
DREコントラスト	:	しない
黒伸張	:	しない
ACL	:	しない
エンハンスモード	:	1(ハード)
カラーディテール		
CTI	:	しない
カラーマネージメント		
色域	:	1
ノイズリダクション		
3DNR	:	しない
フィールドNR	:	しない
ブロックNR	:	しない
モスキートNR	:	しない
動き補正		
3DYC補正	:	しない
IP変換	:	1(モーション)
ドライブモード	:	1
ゲームモード	:	画質優先
ブルーオンリーモード	:	しない

☒ 終了

お知らせ

- 各設定項目は、以下の説明をご覧ください。
- 終了するときは、EXIT ✕ を押します。

フィルム収録の映像を高画質に再生する

[ピュアシネマ]

以下の項目を選んで ENTER を押してください。
▲▼で設定を選んで ENTER を押します。

フィルムモード	しない	ピュアシネマ機能を使いません。
	標準	映画など毎秒 24 コマで収録されている DVD ソフトやハイビジョン映像を表示するとき、記録されている映像情報を自動的に検出して、フィルム本来の滑らかで美しい映像を楽しめます。
	スムース	映画など毎秒 24 コマで収録されている DVD ソフトを表示するとき、動画を滑らかかつあざやかに再生します。
	アドバンス	映画など毎秒 24 コマで収録されている DVD ソフトを表示するとき、72 Hz に変換して再生することで、スクリーンで見るような滑らかな動きとフィルム映写の質感を楽しめます。
字幕適用	しない	字幕適用機能を使いません。
	する	字幕適用機能を使って、字幕をより美しく表示します。

お知らせ

- 「ゲームモード」（☞**34 ページ**）を「操作性優先」にしているときは、ピュアシネマは働きません。
- 映像信号によっては画面がちらついたり乱れることがあります。このような場合は、フィルムモードの設定を「しない」または「標準」にしてください。
- 「標準」に設定すると、ご覧の番組によってはテロップの文字がくずれて見えることがあります。このような場合は、字幕適応の設定を「する」にしてください。それでもくずれる場合は、フィルムモードの設定を「しない」にしてください。

最適な画質に補正する ［インテリジェントシステム］

▲▼で設定を選んでENTERを押します。

しない	インテリジェントシステム機能を使いません。
モード 1	芝生や空の色が鮮明に表示されます。
モード 2	自動的にホワイトバランスを調整します。

コントラストや明るさを詳細に調整する ［ピクチャーディテール］

以下の項目を選んでENTERを押してください。▲▼で設定を選んでENTERを押します。

DRE コントラスト	映像のコントラストを強調して、明暗の差がはっきりした映像にします。
黒伸張	映像の暗い部分を強調して、明暗の差がはっきりした映像にします。
ACL	映像に適したコントラスト特性に補正します。 • ACL は、Automatic Contrast Limitter（オートマチック コントラスト リミッター）の略です。
エンハンスモード	映像の高周波部分（細かい部分）の処理のしかたを選択します。

詳細な色調整をする ［カラーディテール］

以下の項目を選んでENTERを押してください。▲▼で設定を選んでENTERを押すか、◀▶で調整します。

CTI	色の境目（輪郭）を鮮明にします。 • CTI は、Color Transient Improvement（カラー トランジェント インプルーブメント）の略です。		
カラーマネージメント	色相を系列ごとにより細かく調整します。		
	項目	◀	▶
	R	マゼンタに近づく	黄に近づく
	Y	赤に近づく	緑に近づく
	G	黄に近づく	シアンに近づく
	C	緑に近づく	青に近づく
	B	シアンに近づく	マゼンタに近づく
	M	青に近づく	赤に近づく
色域	色の再現範囲を変更します。		
	1	フラットパネルディスプレイに最適な、より鮮やかな色を再現します。	
	2	標準的な色再現にします。	

映像のざらつきを軽減する ［ノイズリダクション］

以下の項目を選んでENTERを押してください。▲▼で設定を選んでENTERを押します。

3DNR	ノイズ発生箇所だけに的を絞り、映像のざらつきを抑えて、すっきりさせます。 • 3DNR は、3 Dimension Noise Reduction（スリー ディメンション ノイズ リダクション）の略です。
フィールド NR	映像のちらつきを取り除いて、より自然な映像にします。
ブロック NR	ハイビジョン映像などのノイズ感を軽減します。
モスキート NR	デジタル放送や DVD などの MPEG 映像のざわつき（モスキートノイズ）を取り除きます。

映像に適した画像補正にする ［動き補正］

以下の項目を選んでENTERを押してください。▲▼で設定を選んでENTERを押します。

3DYC 分離	映像に適した Y/C 分離特性にします。	
IP 変換	映像に適したプログレッシブ変換を行います。	
	1（モーション）	動画向けの設定です。
	2（スタンダード）	標準の設定です。
	3（スチル）	静止画向けの設定です。
ドライブモード	1	標準設定です。さまざまなジャンルの映像に対してバランスを考慮した設定です。
	2	ニュースなど文字スクロールの多い映像を試聴する場合に適しています。
	3	映画を試聴する場合に適しています。
ゲームモード	画質優先	鮮明な画面でゲームなどを楽しめます。
	操作性優先	画像処理を省略して、スピードを必要とするゲームなどに適した映像にします。
ブルーオンリーモード	ディスプレイの赤緑青の光のうち、青の光のみで画面表示します。	

お知らせ

• 「3DYC 分離」は、コンポジット映像信号入力時のみ設定できます。

調整前と後を比較しながら画質を調整する

調整前と調整後の画質を比較しながら調整することができます。

1 HOME MENU を押す

2 [画質の調整] を選んで ENTER を押す

3 ▲▼で調整項目を選んで ENTER を押す

お好みの画質に調整します。

4 調整画面が表示されている間に、USER MENU を押す

ディスプレイに "設定前" と表示され、調整前の画質（手順2で「画質の調整」メニューを表示したときの画質）で映像が表示されます。

5 もう一度 USER MENU を押す

調整後の画質で映像が表示されます。（"設定前" の表示が消えます。）

USER MENU を押すたびに調整前と、調整後が切り換わります。

6 他の項目を調整する

手順 3 〜 5 を繰り返し、他の項目を調整します。

お知らせ

- 調整前（"設定前" と表示されている）の状態では、画質の調整はできません。

7 EXIT を押してホームメニューを終了する

ホームメニューを終了した時点で画質が確定します。

お知らせ

- 調整前（"設定前" と表示されている）の状態で、ホームメニューを終了すると、調整前の画質に戻ります。
  ホームメニューを終了するときは、調整前（"設定前"）であるか確かめてください。
- 以下の場合、画質の比較機能は使えません。
  - 画質モード設定メニュー表示中
  - 初期状態に戻すメニュー表示中
  - パソコン画面の画質調整メニュー表示中
  - AV セレクションがダイナミック、リビングに設定しているとき
- 異なる画質モード間での画質の比較はできません。
  例：「標準」モードと「映画」モードの比較
- 画質モードを変更すると、変更した時点で画質が確定されます。
- 画質の調整中は、以下の機能は働きません。
  －リビングモード （☞30 ページ）
  －照度センサー （☞41 ページ）
  －インテリジェントシステム （☞34 ページ）
  －オービター （☞41 ページ）
- ⏻／I ボタン、INPUT ボタン、SWAP、AV SELECTION などを押した時、また同じ入力で信号が切り換わった場合は、設定前状態が解除されます。

お好みの音質に調整する

音質モードを、お好みの音質に調整できます。

お知らせ

- 音質の設定は、すべての入力で共通の設定となります。ただし、サブボリュームのみは、入力ごとに設定可能です。

お好みの音質にする

［高音］［低音］［バランス］［サブボリューム］

高音	高音の音量を調整します。
低音	低音の音量を調整します。
バランス	左右の音量を調整します。
サブボリューム	音声入力レベルを入力ごとに調整します。異なるソース間（たとえば、DVD プレーヤーとパソコンなど）のレベルの調整に便利です。

1 HOME MENU を押す

2 [音質の調整] を選んで ENTER を押す

3 ▲▼で調整項目を選んで ENTER を押す

4 ◀▶でお好みの音質に調整する

「高音」、「低音」、「サブボリューム」は、▶で＋側に、◀で－側に調整できます。
「バランス」は、▶で右のレベルが上がり、◀で左のレベルが上がります。

お知らせ

- 終了するときは、EXIT ✕を押します。

音質の調整を元に戻すには ［初期状態に戻す］

音質モードの「高音」「低音」「バランス」「サブボリューム」を、お買い上げ時の設定に戻すことができます。

1 を押す

2 [音質の調整] を選んで ENTER を押す

3 [初期状態に戻す] を選んで ENTER を押す

4 [する] を選んで ENTER を押す

お知らせ

- 終了するときは、EXIT ✕を押します。

画面の位置を調整する

画面に表示される映像の位置を調整できます。

画面の位置を調整する

[水平位置調整] [垂直位置調整]

1 HOME MENU を押す

2 [画面の調整] を選んで ENTER を押す

3 [水平位置調整] または [垂直位置調整] を選んで ENTER を押す

4 で、上下左右の位置を調整する

お知らせ

- 画面位置を調整すると、映像の一部が欠けることがあります。その場合は、最適な位置に調整し直してください。
- 映像によっては、調整値を変えても画面位置が動かないことがあります。
- 終了するときは、EXIT ✕ を押します。

画面位置の調整を元に戻すには [初期状態に戻す]

画面位置をお買い上げ時の状態に戻します。

1 HOME MENU を押す

2 [画面の調整] を選んで ENTER を押す

3 [初期状態に戻す] を選んで ENTER を押す

4 [する] を選んで ENTER を押す

お知らせ

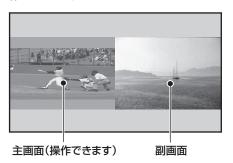
- 終了するときは、EXIT ✕ を押します。

2 画面表示にする

2 つの入力を同時に表示させることができます。

PsideP 表示

画面を 2 分割して表示します。主画面のみ入力切換などの操作ができます。

主画面(操作できます)　副画面

PinP 表示

親画面の中に子画面を表示します。
親画面のみ入力切換などの操作ができます。
PIP SHIFT で PinP 表示の子画面を移動できます。(☞39 ページ)

親画面(操作できます)　子画面

ご注意

- **長時間 2 画面表示にしたり、短時間でも毎日繰り返し 2 画面表示にすると、焼き付きによる残像が発生することがあります。**

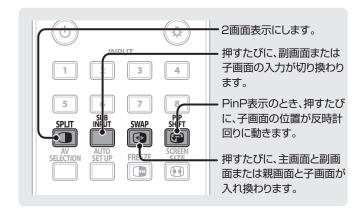
お知らせ

- 入力が 2 つともデジタル信号またはアナログ信号の場合は、2 画面表示ができません。
- 2 画面表示中は、操作に制限があります。
- 2 画面表示する映像によっては、主画面・親画面と副画面・子画面の画質が異なる場合があります。

1 SPLIT を押す

2 画面表示に変わります。SPLIT を押すたびに次の順に切り換わります。

⇒1画面表示 ⇒ PsideP表示 ⇒ PinP表示 ⇒

2 SUB INPUT を押して、副画面・子画面の入力を選ぶ

3 2 画面表示を終了するときは、

を押す

画面を入れ換える

SWAP

2 画面表示のときに、画面を入れ換えて操作できる画面を切り換えます。

1 SWAP を押す

押すたびに、現在表示中の 2 つの画面の内容が入れ換わります。

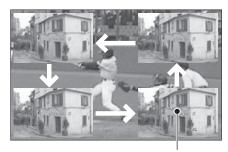
PinP 表示の子画面位置を移動する

PinP 表示にすると、子画面が親画面の右下に表示されます。子画面をお好みの位置に移動できます。

お知らせ

- PsideP 表示では画面位置を移動できません。

1 PinP 表示のときに PIP SHIFT を押す

押すたびに、子画面が反時計回りに移動します。

PinP表示にすると最初はこの位置(右下)に子画面が表示されます

副画面を静止画にする

FREEZE を押したときの映像を、静止画として PsideP の副画面に表示することができます。

1 FREEZE を押す

子画面モードを設定する

[PIP ディテクト]

PinP 表示中に子画面の入力信号がなくなった場合、子画面の黒枠表示を自動的に消すことができます。

1 HOME MENU を押す

2 [その他の設定] を選んで ENTER を押す

3 [PIP ディテクト] を選んで ENTER を押す

4 ▲▼で [自動] または [しない] を選んで ENTER を押す

自動※	2 画面で子画面の入力がない場合、黒枠表示を約 3 秒後に消します。その後、子画面の入力が復帰したときは、再び子画面を表示します。
しない	入力がない子画面は、黒枠表示のままとなります。

※ お買い上げ時の設定

お知らせ

- 入力信号がない状態とは、映像信号および同期信号がない状態のことです。
- PsideP 表示では、本機能は働きません。
- 終了するときは、EXIT を押します。

ON ランプの明るさを調整する

[青 LED ディマー]

ON ランプが明るすぎるときに、ランプの明るさを設定します。「自動」にすると、
照度センサーを使って明るさを自動で切り換えられます。

1 HOME MENU を押す

2 [その他の設定] を選んで ENTER を押す

3 [青 LED ディマー] を選んで ENTER を押す

4 ▲▼で各項目を選んで ENTER を押す

自動※	照度センサーで周辺環境の明るさを調べ、その明るさに合った ON ランプの明るさにします。高輝度、中輝度、低輝度が自動的に切り換わります。
明るい	ON ランプの明るさを高輝度で固定します。
普通	ON ランプの明るさを中輝度で固定します。
暗い	ON ランプの明るさを低輝度で固定します。

※ お買い上げ時の設定

お知らせ

- 終了するときは、EXIT を押します。

いろいろな
機能を使う

部屋の明るさに応じて最適な明るさにする

[照度センサー]

外光の照度に応じて、自動的に表示パネルを最適な明るさに調整します。

1 HOME MENU を押す

2 [その他の設定] を選んで ENTER を押す

3 [照度センサー] を選んで ENTER を押す

4 ↑↓で [しない] または [する] を選んで ENTER を押す

お知らせ

- 「モード」(☞30 ページ) の「リビング」が選択されているときは照度センサーは働きません。
- パソコン入力信号を受信したときは、「照度センサー」の設定は無効になります。
- 終了するときは、EXIT ✕ を押します。

いろいろな
機能を使う

オービターの設定をする

[オービター]

画面の表示位置を自動的にわずかに動かすことで、画面の焼き付きの発生を軽減します。表示される映像によっては、映像の端が若干欠けたりすることがありますが、「モード1」または「モード2」の設定でお使いいただくことをお勧めします。

1 HOME MENU を押す

2 [その他の設定] を選んで ENTER を押す

3 [オービター] を選んで ENTER を押す

4 ↑↓で各項目を選んで ENTER を押す

お知らせ

- 「モード 1」は画面サイズが「ドットバイドット」のときは働きません。「モード 2」は画面サイズが「ドットバイドット」のときでも働きます。
- お買い上げ時の設定は、「モード 1」です。
- 終了するときは、EXIT ✕ を押します。

いろいろな機能を使う

ビデオパターンを表示する

[ビデオパターン]

画面に残像が現れた場合に、このビデオパターンを画面に表示することで軽減することができます。

1 HOME MENU を押す

2 [その他の設定] を選んで ENTER を押す

3 [ビデオパターン] を選んで ENTER を押す

その他の設定

Language	:	日本語
優先入力	:	しない
青LEDディマー	:	暗い
オービター	:	しない
ビデオパターン		
おすすめ設定		
照度センサー	:	しない
PIPディテクト	:	しない

終了

4 [開始] を選んで ENTER を押す

ビデオパターンを中止するときは

- ビデオパターンを中止するにはリモコンの MONITOR ボタン、本体の ⏻／| ボタンか電源ボタンを押します。押すとスタンバイ状態になります。

お知らせ

- ビデオパターンが動作して、1 時間後に本機は自動的にスタンバイ状態になります。
- ビデオパターンを表示している間、リモコンの MONITOR ボタン、本体の ⏻／| ボタンおよび電源ボタン以外は動作しません。
- ビデオパターンのタイマーはおやすみタイマーより優先されます。ビデオパターンを表示しているときは、おやすみタイマーは動作しません。

いろいろな機能を使う

モニターを長く使用するための設定をする

[おすすめ設定]

モニターを長く使用するための設定を一括でできる機能で、残像防止にも効果的です。設定は以下の手順で行います。

1 HOME MENU を押す

2 [その他の設定] を選んで ENTER を押す

3 [おすすめ設定] を選んで ENTER を押す

その他の設定

Language	:	日本語
優先入力	:	しない
青LEDディマー	:	暗い
オービター	:	しない
ビデオパターン		
おすすめ設定		
照度センサー	:	しない
PIPディテクト	:	しない

終了

4 ▲▼で [する] を選んで ENTER を押す

以下の項目が自動的に設定されます。

- 画面サイズ自動切換：画面いっぱい
- サイドマスク検出：モード 1
- オービター（AV 入力時）：モード 1
- オービター（PC 入力時）：モード 1
- 消費電力：省エネ 1
- 画質の調整：リビング

いろいろな機能を使う

自動で入力を切り換える

[優先入力]

設定した入力で信号が検出されたとき、自動的にその入力に切り換えることができます。

1 HOME MENU を押す

2 [その他の設定] を選んで ENTER を押す

3 [優先入力] を選んで ENTER を押す

4 ▲▼で [しない] または [自動] を選んで ENTER を押す

しない※	優先入力機能は働きません。
自動	現在、視聴中の入力信号以外に、新たに信号を検出した場合、自動的に検出した入力に切り換わります。 切り換わったあとに入力信号がなくなっても、元の入力には戻りません。 優先入力で入力が切り換わったあとに INPUT を押して別の入力を選択すると、一時的に優先入力は解除されますが、電源の入 / 切をすると再度設定されます。

※ お買い上げ時の設定

お知らせ

- 「自動」に設定した場合、ディスプレイ表示の一番下に「優先入力」と表示されます。
- 終了するときは、EXIT を押します。

いろいろな機能を使う

自動で電源を切る

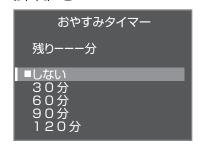
[おやすみタイマー]

設定した時間が過ぎると、自動的にスタンバイ（待機状態）にすることができます。
30 分 /60 分 /90 分 /120 分を設定できます。

1 USER MENU を押す

2 [おやすみタイマー] を選んで ENTER を押す

3 ▲▼で設定を選んで ENTER を押す

お知らせ

- 「おやすみタイマー」を設定すると、電源がスタンバイ状態になる 5 分前から、残り時間が 1 分ごとに表示されます。
- 残り時間が 0 分になると、本機の電源がスタンバイ状態になり、おやすみタイマーの設定が「しない」に戻ります。
- おやすみタイマーの動作中に、主電源を切ったり手動でスタンバイ状態にすると、おやすみタイマーは中止され、設定が「しない」に戻ります。
- 終了するときは、EXIT を押します。

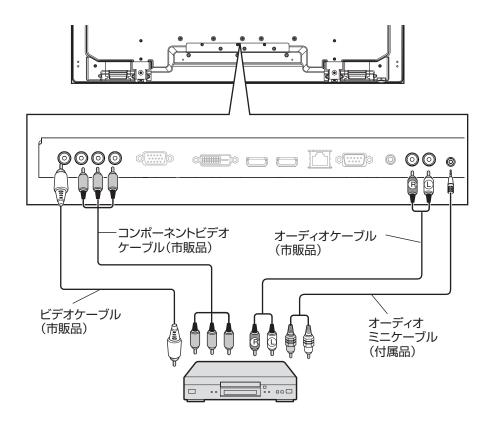
コンポジットビデオ、コンポーネントビデオ機器につなぐ

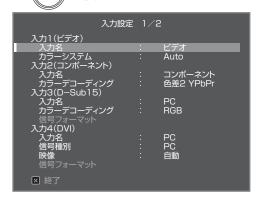
コンポジットビデオ、コンポーネントビデオ出力端子があるビデオデッキや DVD プレーヤーなどをつなぎます。

入力名を設定する

[入力名]

入力端子に接続した機器の名称を設定します。

1 HOME MENU を押す

2 [初期設定（入力）] を選んで ENTER を押す

3 [入力 1（ビデオ）] または [入力 2（コンポーネント）] の [入力名] を選んで ENTER を押す

4 で機器を選んで ENTER を押す

お知らせ

- 終了するときは、EXIT を押します。

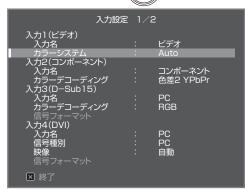
カラーシステムを設定する

[カラーシステム]

INPUT1 は世界各国のさまざまなテレビ方式に対応し、自動的に判別しています。通常は [AUTO] に設定しますが、ダビングを繰り返した VTR 信号などの場合、きちんと再生できない（色が付かないなど）ことがあります。このような場合は、入力する信号に合わせて設定を行います。

1 HOME MENU を押す

2 [初期設定（入力）] を選んで ENTER を押す

3 [入力 1（ビデオ）] の [カラーシステム] を選んで ENTER を押す

4 で適切なテレビ方式を選んで ENTER を押す

Auto ※	テレビ方式を自動判別します。
PAL SECAM NTSC 4.43NTSC PAL-M PAL-N	お住まいの地域に合わせて設定します。 日本は NTSC です。

※ お買い上げ時の設定

お知らせ

- 終了するときは、を押します。

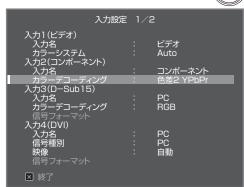
色差選択を設定する

[カラーデコーディング]

接続した機器に対して、適切な色信号の設定を行います。

1 HOME MENU を押す

2 [初期設定（入力）] を選んで ENTER を押す

3 [入力2(コンポーネント)] の [カラーデコーディング] を選んで ENTER を押す

4 で設定を選んで ENTER を押す

色差 1 YCbCr	DVD プレーヤーなどのコンポーネント映像出力
色差 2 YPbPr	ハイビジョン機器などのコンポーネント映像出力 デジタルチューナーなどのコンポーネント映像出力

※ お買い上げ時の設定は、SD 信号の場合は色差 1、HD 信号の場合は色差 2 になります。

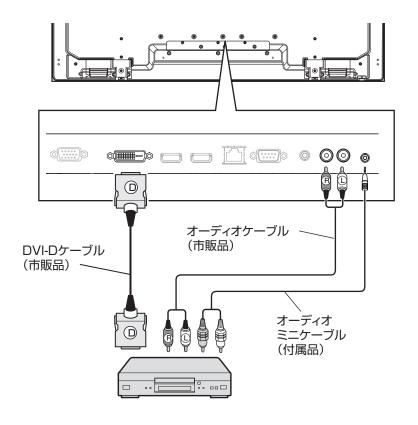
ご注意

- **誤った設定をすると、色が正しく表示されませんので、ご注意ください。**

お知らせ

- 終了するときは、EXIT ✕ を押します。

DVI（デジタル）機器をつなぐ

DVI 出力（デジタル）端子があるパソコンなどをつなぎます。

ご注意

- 接続には DVI-D24 ピン（Digital のみ）のケーブルを使用してください。

お知らせ

- INPUT4 はマイクロソフト社の Plug ＆ Play（VESA DDC2B）に対応しています。
- DVI 出力するパソコンに HDMI ケーブルで接続すると、映像が正しく表示されないことがあります。その場合はパソコンメーカーにお問い合わせください。

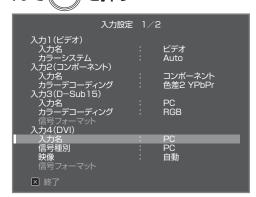
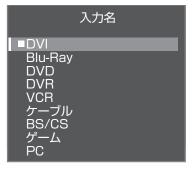
入力名を設定する

[入力名]

入力端子に接続した製品の名称を設定します。

1 HOME MENU を押す

2 [初期設定（入力）] を選んで ENTER を押す

3 [入力４（DVI）] の [入力名] を選んで ENTER を押す

4 ▲▼で機器を選んで ENTER を押す

お知らせ

- 終了するときは、EXIT を押します。

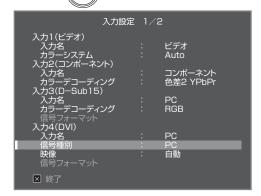
DVI 機器の種別を設定する

[信号種別]

INPUT4 に接続した機器の種別を設定します。

1 HOME MENU を押す

2 [初期設定（入力）] を選んで ENTER を押す

3 [入力４（DVI）] の [信号種別] を選んで ENTER を押す

4 ▲▼で [ビデオ] または [PC] を選んで ENTER を押す

信号種別
■ビデオ
PC

ビデオ	DVI 入力に PC 以外の機器を接続しているときに選びます。
PC ※	DVI 入力にパソコンを接続しているときに選びます。

※ お買い上げ時の設定

ご注意

- **本設定完了後に、接続機器の電源をオンにするか、または再起動（PC の場合）をしてください。接続機器の電源がオンのまま設定を変更しても、信号が出力されなかったり、本来の信号フォーマットで出力されない可能性があります。**

お知らせ

- 終了するときは、EXIT を押します。

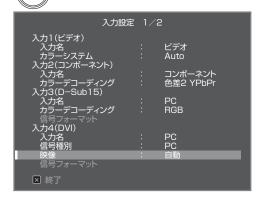
DVI 機器の映像設定をする

[映像]

DVI 端子に接続した機器の映像の設定をします。

1 HOME MENU を押す

2 [初期設定（入力）] を選んで ENTER を押す

3 [入力４（DVI）] の [映像] を選んで ENTER を押す

4 ▲▼で設定を選んで ENTER を押す

自動※	入力信号に合わせて自動的に設定されます。
1（YUV422） 2（YUV444） 3（RGB235） 4（RGB255）	「自動」で色が正しく表示されないときに、正常に表示されるように最適な設定を選んでください。

※ お買い上げ時の設定

ご注意

- 接続には DVI-D24 ピン（Digital のみ）のケーブルを使用してください。

お知らせ

- INPUT4 はマイクロソフト社の Plug ＆ Play（VESA DDC2B）に対応しています。
- 終了するときは、EXIT ✕ を押します。

解像度を設定する

[信号フォーマット]

ディスプレイの解像度を設定します。

1 HOME MENU を押す

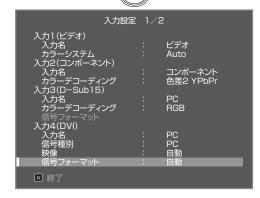
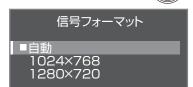
2 [初期設定（入力）] を選んで ENTER を押す

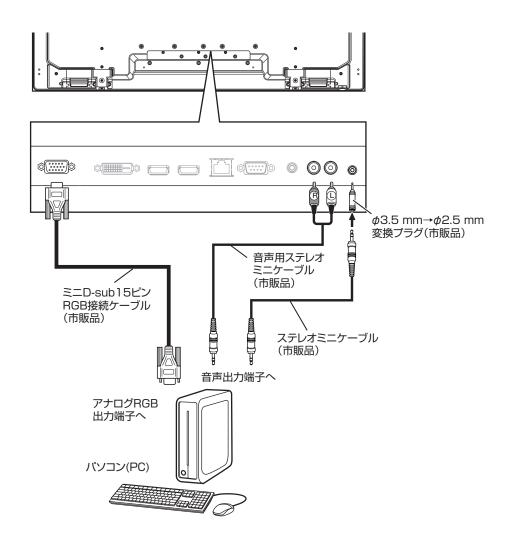
3 [入力４（DVI）] の [信号フォーマット] を選んで ENTER を押す

4 ▲▼で [自動] または選択できる解像度を選んで ENTER を押す

お知らせ

- 選択できる解像度が 1 つのときは、本設定は選べません。
- 終了するときは、EXIT ✕ を押します。

お使いになる前に
準備する（設置・接続・メニュー）
画面の調整をする
省エネの設定をする
画質と音質を調整する
いろいろな機能を使う
接続して使う
困ったときは
付録

パソコン（PC）をつなぐ

表示可能な信号は、「ビデオ・パソコン対応信号一覧表」（☞84 ページ）をご覧ください。

お知らせ

- HDMI 端子にパソコンを接続するときは、HDMI 対応のパソコンまたはビデオカードをお使いください。
- DVI 出力するパソコンに HDMI ケーブルで接続すると、映像が正しく表示されないことがあります。その場合はパソコンメーカーにお問い合わせください。

HDMI ケーブルでパソコン（PC）を接続するときは

- INPUT 5 INPUT 6 を押してパソコン（PC）を接続している入力を選びます。
- 「信号種別」（☞56 ページ）の設定を「PC」にします。

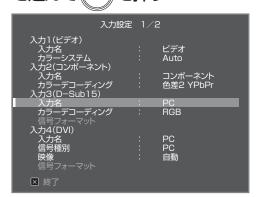
入力名を設定する

［入力名］

入力端子に接続した機器の名称を設定します。

1 HOME MENU を押す

2 ［初期設定（入力）］を選んで ENTER を押す

3 ［入力３（D-Sub15）］の［入力名］を選んで ENTER を押す

4 ▲▼で PC を選んで ENTER を押す

お知らせ

- 終了するときは、EXIT ✕ を押します。

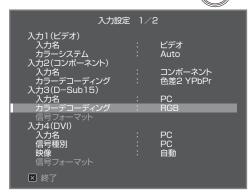
RGB を選択する

［カラーデコーディング］

接続した機器に対して、適切な色信号の設定を行います。

1 HOME MENU を押す

2 ［初期設定（入力）］を選んで ENTER を押す

3 ［入力３（D-Sub15）］の［カラーデコーディング］を選んで ENTER を押す

4 ▲▼で RGB を選んで ENTER を押す

色差 1 YCbCr	DVD プレーヤーなどのコンポーネント映像出力
色差 2 YPbPr	ハイビジョン機器などのコンポーネント映像出力 デジタルチューナーなどのコンポーネント映像出力
RGB ※	パソコンの RGB 映像出力

※ お買い上げ時の設定

ご注意

- **誤った設定をすると、本機に悪影響を与えることがありますので、ご注意ください。**

お知らせ

- 終了するときは、EXIT ✕ を押します。

解像度を設定する

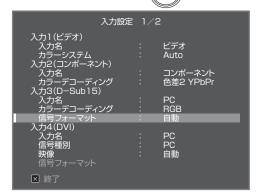
［信号フォーマット］

ディスプレイの解像度を設定します。

1 HOME MENU を押す

2 ［初期設定（入力）］を選んで ENTER を押す

3 ［入力 3(D-Sub15)］の［信号フォーマット］を選んで ENTER を押す

4 ▲▼で［自動］を選んで ENTER を押す

お知らせ

- 選択できる解像度が 1 つのときは、本設定は選べません。
- 終了するときは、EXIT ✕ を押します。

パソコン画面を調整する

［画面の調整］

最適な表示になるように、パソコン画面を調整できます。自動調整と手動調整の 2 つがあります。

お知らせ

- スクリーンセーバーや動画など動きのある映像や、画面全体が単色になっているときには、自動調整では最適な画面が表示されないことがあります。その場合は、手動調整を行ってください。
- 接続しているパソコンによっては、自動調整では最適な画面が表示されないことがあります。その場合も、手動調整を行ってください。
- HDMI 端子にパソコンを接続したときは、パソコン画面の調整はできません。

自動で調整する

［画面サイズ自動切換］

パソコン画面を自動で調整します。

1 HOME MENU を押す

2 ［画面の調整］を選んで ENTER を押す

3 ［画面サイズ自動切換］を選んで を押す

4 ▲▼で［する］を選んで ENTER を押す

画面の自動調整が始まります。

自動調整が終わると、「その他の設定」画面に戻ります。

お知らせ

- 終了するときは、EXIT ✕ を押します。

手動で調整する

［水平位置調整］［垂直位置調整］［クロック周波数］［クロック位相］

パソコン画面を手動で調整します。

水平位置調整	画面の水平位置を調整します。
垂直位置調整	画面の垂直位置を調整します。
クロック周波数	映像に縦じま状のチラツキがあるときに調整します。
クロック位相	文字などの表示中にチラツキがあるときや、コントラストがつかないときに調整します。

1 HOME MENU を押す

2 ［画面の調整］を選んで ENTER を押す

3 ▲▼で調整したい項目を選んで ENTER を押す

4 ◀▶で調整する

お知らせ

- 終了するときは、EXIT ✕ を押します。

画面の調整を元に戻すには ［初期状態に戻す］

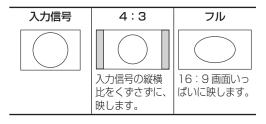
調整した画面の状態をお買い上げ時の設定に戻したいときは、「初期状態に戻す」を選んで ENTER を押します。確認の画面が表示されたら「する」を選んで ENTER を押してください。

画面サイズを切り換える

SCREEN SIZE

SCREEN SIZE を押して、お好みの画面サイズを選びます。

ご注意

- **静止画像、または画面サイズ４：３や上下や左右に黒帯が表示される映像を何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日繰り返し表示すると残像（焼き付き）が発生します。著作権者の権利を侵害する恐れがある場合を除き、画面の焼き付きを避けるため、映像を画面いっぱいに映してお楽しみになることをお勧めします。**

1 SCREEN SIZE を押して、画面サイズを選ぶ

押すたびに、画面サイズが切り換わります。

画質を調整する

［画質の調整］

画質モードを、お好みの画質に調整できます。
あらかじめ調整をしたい画質モードに切り換えてください。（画質モード ☞30 ページ、音質を調整するときは ☞36 ページ）

1 HOME MENU を押す

2 ［画質の調整］を選んで ENTER を押す

3 ▲▼で調整したい項目を選んで ENTER を押す

画質の調整
AVセレクション ： 標準
コントラスト ： 40
明るさ ： 0
Rレベル ： 0
Gレベル ： 0
Bレベル ： 0
初期状態に戻す
終了　設定前／設定後

コントラスト	部屋の明るさに合わせて明るさを調整します。
明るさ	暗い場面が見やすくなるように調整します。
R レベル	お好みの赤色に調整します。
G レベル	お好みの緑色に調整します。
B レベル	お好みの青色に調整します。

4 ◀▶で調整する

▶で＋側に、◀で－側に調整できます。

5 RETURN を押して、手順３と４を繰り返す

お知らせ

- 終了するときは、EXIT ✕ を押します。

映像の調整を元に戻すには ［初期状態に戻す］

調整した画質をお買い上げ時の設定に戻したいときは、「初期状態に戻す」を選んで ENTER を押します。確認の画面が表示されたら「する」を選んで ENTER を押してください。（**詳しい操作方法** ☞31 ページ）

省エネ機能を使う

[省エネの設定]

パソコン入力専用の省エネ機能を設定します。

(その他の省エネ機能 ☞29 ページ)

パワーマネージメント	無信号の状態が一定時間続いたときに、自動的にスタンバイ状態またはサスペンド（入力信号待ち）状態にする機能を設定します。	
	しない※	パワーマネージメント機能を使いません。
	モード 1	無信号の状態が約 8 分間続くと、スタンバイ状態にします。
	モード 2	無信号の状態が約 8 秒間続くと、サスペンド（入力信号待ち）状態にします。

※お買い上げ時の設定

お知らせ

- 省エネ機能が働いているときに MONITOR (⏻) を押すと、電源が入ります。このとき入力信号がとぎれていると、再び省エネ機能が働きます。
- HDMI 端子にパソコンを接続したときは、省エネ機能の設定はできません。
- モード 1 に設定して無信号によりスタンバイ状態になった場合、再度、信号が入力されても電源はオンされません。
- モード 2 に設定して無信号によりパワーマネージメント状態になった場合、再度、信号が入力されたときには電源はオンされます。

1 [HOME MENU] を押す

2 [省エネ設定] を選んで [ENTER] を押す

3 設定したい項目を選んで [ENTER] を押す

4 [▲][▼] で設定を選んで [ENTER] を押す

お知らせ

- 終了するときは、[EXIT] を押します。

HDMI 機器をつなぐ

[HDMI 設定]

HDMI 対応の DVD プレーヤーなどをつないだあとは、必要に応じて HDMI 接続の設定をします。

確認してください！

□ 接続は終わっていますか？
□ 本機で対応しているビデオ信号、パソコン信号は、「ビデオ・パソコン信号対応一覧表」（☞84 ページ）をご覧ください。

・ 本機で対応している音声信号
　ーリニア PCM（ステレオ　2ch）
　　サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz

お知らせ

- HDMI は、High-Definition Multimedia Interface の略で、デジタル映像・音声信号を伝送します。1 本の HDMI ケーブルをつなぐだけで、高品質な映像とデジタル音声をお楽しみいただけます。
- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴのついているケーブルをお使いください。
- 1920 × 1080 ピクセルのプログレッシブ映像を表示するときは、ハイスピード対応 HDMI ケーブル（カテゴリー 2 ケーブル）をお使いになることをお勧めします。
  ハイスピード対応 HDMI ケーブル（カテゴリー 2 ケーブル）を使用しないと、映像が映らないなど、正しく動作しないことがあります。
- HDMI 入力に接続した機器の映像を見るときは、INPUT 5 または INPUT 6 を選びます。
- 機器によっては、映像が表示されるまで時間がかかる場合があります。
- 接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

KURO LINK 機能について

KURO LINK 機能に対応した機器と本機とを接続して、それらの HDMI 機器を本機から操作できます。操作できるのは KURO LINK 機能に対応したパイオニア製 HDMI 機器のみです。
詳しくは、「KURO LINK 対応機器をつなぐ」（☞59 ページ）、「本機から HDMI 機器をコントロールする」（☞62 ページ）をご覧ください。

Deep Color 対応について

Deep Color とは色深度のことで、色数をビット表示で示したものです。
従来までのRGB/YCbCr16bit/20bit/24bit信号処理に加え、RGB/YCbCr30bit/36bit の信号処理が可能になりました。
これにより DeepColor 対応機器を接続したときは、より緻密な色再現が可能となります。
ディスプレイ画面に表示されます。

HDMI の入力名を設定する

[入力名]

HDMI ケーブルで接続した機器の名称を設定します。

1 INPUT 5 または INPUT 6 を押して、HDMI 機器の入力を選ぶ

2 HOME MENU を押す

3 [初期設定（入力）] を選んで ENTER を押す

4 [入力 5（HDMI1）] または [入力 6（HDMI2）] の [入力名] を選んで ENTER を押す

5 ▲▼で機器を選んで ENTER を押す

お知らせ

- 終了するときは、EXIT を押します。

HDMI の信号種別の設定をする

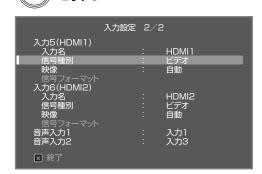
［信号種別］

HDMI ケーブルで接続した機器の入力信号の種類を設定します。

1 INPUT 5 または INPUT 6 を押して、HDMI 機器の入力を選ぶ

2 HOME MENU を押す

3 ［初期設定（入力）］を選んで ENTER を押す

4 ［入力５（HDMI1）］または［入力６（HDMI2）］の［信号種別］を選んで ENTER を押す

5 ▲▼で設定を選んで ENTER を押す

信号種別
■ビデオ
PC

ビデオ※	通常はこちらを選びます。
PC	HDMI 入力にパソコンを接続しているときに選びます。

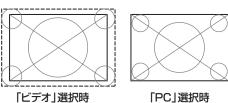
※ お買い上げ時の設定

ご注意

- HDMI 入力にパソコンを接続しているときは、必ず「PC」に設定してください。

お知らせ

- 「ビデオ」を選択すると、画像はオーバースキャン（拡大）されます。また、XGA や SXGA などのパソコン信号が入力されると自動的に「PC」に切り換えます。
  「PC」を選択すると、拡大せずに入力画像のすべてを表示します。

「ビデオ」選択時　　「PC」選択時

実線内が実際に画面に表示される部分です。

- 終了するときは、EXIT ✕ を押します。

HDMI の映像設定をする

[映像]

HDMI ケーブルで接続した機器の映像の設定をします。

1 INPUT 5 または INPUT 6 を押して、HDMI 機器の入力を選ぶ

2 HOME MENU を押す

3 [初期設定（入力）] を選んで ENTER を押す

4 [入力５（HDMI1）] または [入力６（HDMI2）] の [映像] を選んで ENTER を押す

5 上下 で設定を選んで ENTER を押す

自動※	入力信号に合わせて自動的に設定されます。
1（YUV422） 2（YUV444） 3（RGB235） 4（RGB255）	「自動」で色が正しく表示されないときに、正常に表示されるように最適な設定を選んでください。

※お買い上げ時の設定

お知らせ

- 終了するときは、EXIT を押します。

解像度を設定する

[信号フォーマット]

ディスプレイの解像度を設定します。

1 HOME MENU を押す

2 [初期設定（入力）] を選んで ENTER を押す

3 [入力５（HDMI1）] または [入力６（HDMI2）] の [信号フォーマット] を選んで ENTER を押す

4 上下 で [自動] または選択できる解像度を選んで ENTER を押す

お知らせ

- 選択できる解像度が 1 つのときは、本設定は選べません。
- 終了するときは、EXIT を押します。

音声入力を設定する

[音声入力 1] [音声入力 2]

入力 1 ～入力 6 のどれから音声を出すかを設定します。

1 を押す

2 [初期設定（入力）] を選んで ENTER を押す

3 [音声入力 1] または [音声入力 2] を選んで ENTER を押す

4 で設定したい入力を選んで を押す

お知らせ

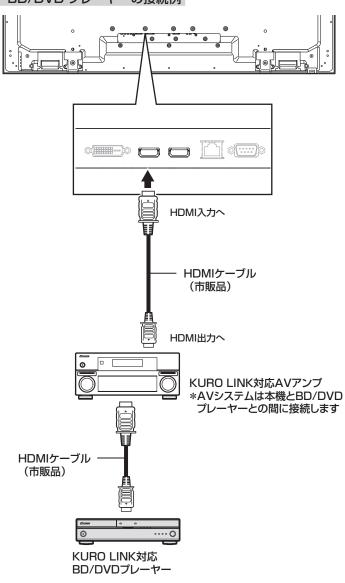
- 入力 5 および入力 6 を選んだ場合、HDMI からの音声よりも本設定で設定した音声が優先されます。
- 終了するときは、EXIT を押します。

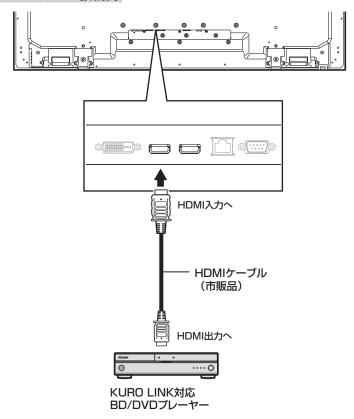
KURO LINK 対応機器をつなぐ

パイオニア製 KURO LINK 対応機器を接続します。KURO LINK 機能を使うと、パイオニア製 KURO LINK 対応機器を本機のリモコンで操作できます。

お知らせ

- 本機と KURO LINK 対応機器との接続や、「KURO LINK 設定」の各設定を変更したときは、以下の操作を行ってください。
  1. 本機および接続されているすべての機器の電源を入れてください。
  2. 機器を接続した HDMI 入力に合わせて「KURO LINK 設定」の「入力設定」が正しく設定されているかを確認してください。また、接続機器の KURO LINK 機能の設定も確認してください。
  3. 接続した機器の音と映像が正しく出力されるかチェックするために、機器が接続されている HDMI 入力に切り換えてください。
  4. 本機の電源を切ったあと、もう一度電源を入れてください。

KURO LINK 対応 AV アンプ、BD/DVD プレーヤーの接続例

KURO LINK 対応 BD/DVD プレーヤーの接続例

お知らせ

- KURO LINK 機能は、KURO LINK および当社従来製品に搭載されていた HDMI コントロールに対応したパイオニア製 AV アンプ・BD/DVD プレーヤーを接続している場合に使うことができます。KURO LINK 対応機器についての最新情報は、当社ホームページ（表紙参照）をご覧ください。
- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴのついているケーブルをお使いください。
- ハイスピード対応 HDMI ケーブル（カテゴリー 2 ケーブル）を使用しないと、KURO LINK 機能が動作しない場合があります。
- AV アンプ 1 台、プレーヤー 2 台まで、本機に接続して KURO LINK 機能を使うことができます。
- KURO LINK 機能に対応していない AV アンプは、本機と KURO LINK 対応 BD/DVD プレーヤーとの間に接続しないでください。BD/DVD プレーヤーをコントロールできなくなります。
- 接続後は、「KURO LINK 設定」の「入力設定」を行ってください。設定は KURO LINK 対応機器を接続した HDMI 入力端子に設定してください。
- KURO LINK 機能を使うときは、接続した機器側でも設定が必要です。詳しくは、接続した機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- KURO LINK 対応 AV アンプに接続されている BD/DVD プレーヤーおよび DVD レコーダーからの映像を、2 画面表示で副画面・子画面に表示した場合、BD/DVD プレーヤーおよび DVD レコーダーからの映像は表示されずに黒画面になります。

KURO LINK の設定をする

[KURO LINK 設定]

項目	説明
入力設定	KURO LINK 機能を使って操作する機器を接続している入力端子を選びます。「しない」「入力 5」「入力 6」から選びます。 入力設定で設定した入力に接続されている機器のみコントロールできます。
電源オフ連動	本機の電源を切ったときに、接続している KURO LINK 対応機器の電源も切るかを設定します。
電源オン待機	接続している KURO LINK 対応 BD/DVD プレーヤーを再生したときなどに、本機の電源も入れるかを設定します。
AV システム連動継続	KURO LINK 機能によって AV システムから音声を出力中に、本機がスタンバイになったあと再び電源が入ったときに、AV システムから音声を出力することを継続するかを設定します。
電源オンテスト **電源オフテスト**	入力設定で設定した HDMI 機器の動作を確認します。

お知らせ

- 電源テスト可能な HDMI 機器は「入力設定」で設定した入力に接続している機器です。
- 電源オン・電源オフテストに失敗したときは、HDMI 機器の接続と設定を確認してください。

HOME MENU

1 [HOME MENU] を押す

2 [初期設定（コントロール）] 選んで [ENTER] を押す

3 [入力設定] を選んで [ENTER] を押す

初期設定(コントロール)

IPコントロール設定
IPコントロール : しない
DHCP : する
IPアドレス
サブネットマスク
デフォルト ゲートウエイ
MACアドレス
LED表示 : する
KURO LINK設定
入力設定 : しない
電源オフ連動 : しない
電源オン待機 : しない
AVシステム連動継続 : しない
HD AVコンバーター : しない
電源オンテスト
電源オフテスト
シリアル設定
IDナンバー設定 : オール
ボーレート : ９６００bps
終了

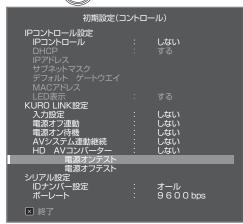
4 [▲][▼] で設定を選んで [ENTER] を押す

お知らせ

- 「入力設定」に「しない」を設定したときは、その他の項目の設定はできません。
- 「入力設定」で選択した HDMI 端子以外の端子に KURO LINK 対応機器を接続して使用すると、誤動作する場合があります。「入力設定」で選択した HDMI 端子以外に接続する機器は、機器側の KURO LINK 機能の設定を解除してください。
- 「電源オフ連動」は「入力設定」で設定した入力にかかわらず、本機と接続している KURO LINK 対応機器に有効です。
- 終了するときは、[EXIT] を押します。

電源のテストをする

設定が終わったら、本機と KURO LINK 対応機器が連動して動作をしているかテストします。

1 KURO LINK 設定画面で [電源オンテスト] または [電源オフテスト] を選んで [ENTER] を押す

複数の KURO LINK 対応機器が接続されているときは、機器の一覧が表示されます。

お知らせ

- 終了するときは、[EXIT] を押します。

本機から HDMI 機器をコントロールする

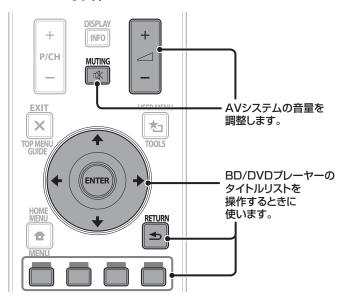
接続したパイオニア製 KURO LINK 対応機器を、本機のリモコンや KURO LINK メニューから操作します。

お知らせ

- KURO LINK 機能では以下のようなことができます。
  - **接続機器の電源オフ**
    本機を電源オフしたときに、KURO LINK 対応機器も一緒に電源オフします。
  - **本機の電源オン・オートセレクト**
    接続した KURO LINK 対応機器の PLAY ボタンを押したとき、本機の電源が自動で入り、接続された入力に切り換わります。
  - **本機ディスプレイから機器のコントロール**
    本機ディスプレイ上の KURO LINK 操作パネルや本機のリモコンで KURO LINK 対応機器（パイオニア製 AV アンプ・BD/DVD プレーヤー）の操作ができます。（再生、早送り / 早戻し、音量、サラウンドモード、AV アンプの入力端子の切り換えなど、本機のリモコンで操作できます。）
- KURO LINK 機能は KURO LINK 対応パイオニア製機器でのみ使うことができます。
- KURO LINK 機能では、HDMI 機器の一部の機能を操作できます。HDMI 機器のすべての機能を操作できるものではありません。
- 別々の HDMI 端子にそれぞれ機器が接続されている場合、「電源オフ連動」以外の機能は複数の機器に同時に働きません。

本機のリモコンで HDMI 機器を操作する

本機のリモコンでKURO LINK対応機器を操作します。

1 本機のリモコン受光部にリモコンを向けて操作します。

お知らせ

- KURO LINK 機能を使うとき、リモコンは本機右下の SR マークに向けて操作してください。

本機のメニューで HDMI 機器を操作する

 ／ [KURO LINK]

KURO LINK に対応した AV アンプ・BD/DVD プレーヤーを接続しているときに、本機のメニューでそれらを操作します。

ディスクナビ	接続した BD/DVD プレーヤーのタイトルリストを表示します。
録画予約	接続しているレコーダーの番組ガイドを表示します。
録画予約確認	接続しているレコーダーの録画予約リストを表示します。
見ている番組を録画	レコーダーを接続している場合、視聴中の TV 番組を録画することにより、視聴している TV 番組を一時停止にすることができます。
録画停止	接続しているレコーダーの録画を停止します。
AV システム操作パネル	接続した AV システムの操作パネルを表示します。
再生操作パネル	接続した BD/DVD プレーヤーの操作パネルを表示します。
音声を AV システムから出す	接続した AV システムから音声を出力します。
音声をディスプレイから出す	本機から音声を出力します。

1 USER MENU を押す

2 [KURO LINK] を選んで ENTER を押す

3 で設定を選んで ENTER を押す

お知らせ

- リモコンの KURO LINK を押しても、KURO LINK メニューを表示できます。
- 「KURO LINK 設定」（☞61 ページ）で「入力設定」が「しない」に設定されているときは、KURO LINK メニューは表示できません。
- 「AV システム操作パネル」は、接続した AV システムから音声を出力しているときに選択できます。
- 「再生操作パネル」は、接続した BD/DVD プレーヤーが操作可能な状態のときのみ選択できます。

KURO LINK 操作パネルで機器を操作するには

KURO LINK 操作パネルで KURO LINK 対応機器を操作します。KURO LINK 操作パネルは、「AV システム操作パネル」、「再生操作パネル」を選んだときに表示されます。

機種名が表示されます。（最大8文字）

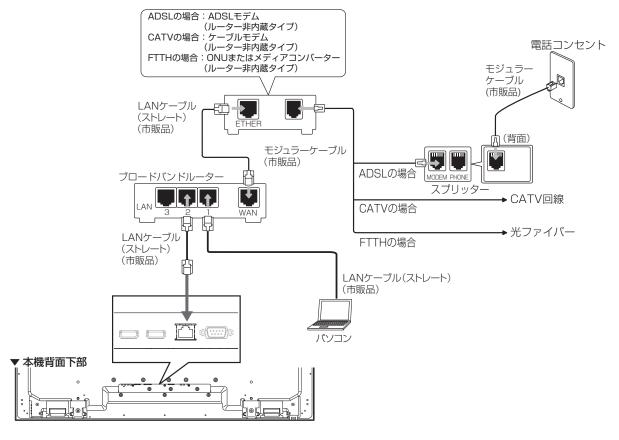
1 で KURO LINK 操作パネルを操作する

ネットワークにつなぐ

本機をLANに接続すると、Webブラウザを利用して本機をコントロールするWebサーバー機能や、故障情報などを通知するEメール通知機能を使用することができます。はじめにIPコントロール設定を行ってください。接続後にWebブラウザから、ネットワーク設定およびEメールの設定を行ってください。

ネットワークにつないで使う

確認してください！

□ ネットワーク環境で、LAN（10BASE-T/100BASE-TX）接続ができるときにお読みください。

ご注意

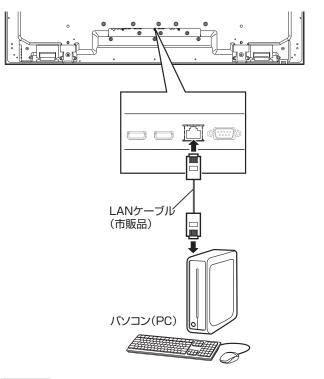
- 本機では、インターネットのホームページ閲覧や、一般のE-Mailの送受信はできません。
  インターネットを利用した放送サービスや、映像配信サービスなどは利用できません。
- 接続ケーブルや接続機器などは、必要に応じて市販品をお買い求めください。
- 回線業者やプロバイダー、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
- パソコン（PC）などで設定が必要になることがあります。
- 接続後は、ネットワークの設定をしてください。
- コントロールの失敗、E-Mailの不達などにより発生した損害については、弊社として責任を負いかねます。

LANについて

- ブロードバンドルーターやハブは、10BASE-T/100BASE-TXに対応していることをご確認ください。
- 本機を直接インターネットに接続しないでください。接続する場合は、ファイアーウォールを介して接続し、不要なポートは閉鎖してください。
- 電話用のモジュラーケーブルをLAN（10BASE-T/100BASETX）端子に接続しないでください。故障の原因となります。
- 回線業者やプロバイダーによって、必要な機器と接続方法が異なります。
  − ADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは回線業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。また、お使いの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
  −本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きのADSLモデムなどの設定はできません。
- 本機のLANによる通信では、データの暗号化は行われません。
  インターネットから本機にアクセスできる設置をした場合は、VPN（Virtual Private Network）を構築するなどして、通信回線の安全性を確保してください。
- RS-232C端子とLAN端子に同時に送信コマンドを送らないでください。正しいコマンドの動作ができない場合があります。

ADSLモデムについて

- ブリッジ接続型ADSLモデムをお使いのお客様は、ブロードバンドルーターが別途必要です。
- ADSLモデムについてご不明の点は、ご利用のADSL回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。

本機とパソコン（PC）を直接つなぐ

お知らせ

- 本機とパソコンを直接接続した場合は、E メール通知機能を使用することができません。

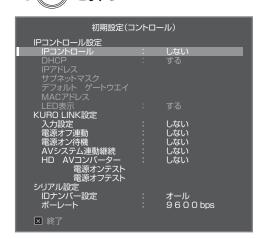
Webコントロール機能を使うための設定をする [IPコントロール]

ネットワーク（LAN）の接続が終わったら、IPアドレス設定を設定します。

確認してください！

□ LANに接続しましたか？ ☞64ページ

1 HOME MENU を押す

2 [初期設定（コントロール）] を選んで ENTER を押す

3 ▲▼で項目を選んで ENTER を押す

以下の説明をご覧になり、「IPアドレス設定」を設定してください。

IPコントロールを設定する [IPコントロール]

IPコントロールを使う場合は設定します。

1 IPコントロール設定画面で [IPコントロール] を選んで ENTER を押す

2 [する] を選んで ENTER を押す

お知らせ

- お買い上げ時は、[IPコントロール] は [しない] に設定されています。
- 終了するときは、EXIT ✕ を押します。

IPアドレスを設定する [IPアドレス設定]

DHCP、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、LED表示を設定します。

1 IPコントロール設定画面で [IPコントロール] を選んで ENTER を押す

2 [DHCP] を選んで ENTER を押す

3 [する] または [しない] を選ぶ

▲▼で選びます。「する」に設定すると、IPアドレスが自動で取得されます。

お知らせ

- お買い上げ時は、[DHCP] は「する」に設定されています。
- お使いのブロードバンドルーターやADSLモデムでDHCP機能が使えるときは、「する」にしてください。本機のIPアドレスが自動で取得されます。

項目	設定		説明
DHCP	する※		IPアドレスが自動取得されます。
	しない	IPアドレス	自動取得（DHCP機能）が使えないときは、「しない」を選んで、各アドレスを入力します。
		サブネットマスク	
		デフォルトゲートウェイ	
MACアドレス	MACアドレスを選択すると、IPアドレスと同様なサブメニューを表示し、MACアドレスを表示します。		
LED表示	する※	LAN端子のインジケーターが点灯します。	
	しない	LAN端子のインジケーターは点灯しません。	

※お買い上げ時の設定

「しない」を選んだときは

● ▲▼で入力項目を選んで、1～0で各アドレスを入力してください。

お知らせ

- 間違えて入力したときは、◀▶で間違えたところまで戻って再入力してください。

4   RETURN を押す

IPコントロール設定画面に戻ります。

Web コントロール機能を使う

パソコンの Web ブラウザから、本機にアクセスし、制御を行います。

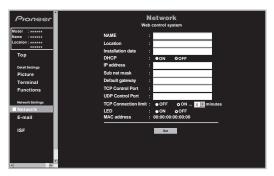
ご注意

- ブラウザの画面を切り換える場合は、ブラウザの「戻る」、「進む」のボタン、「履歴」のメニュー、お気に入り（ブックマーク）を使用せず、画面左側のフレームに表示されているメニューから選択してください。ブラウザの「戻る」、「進む」のボタン、「履歴」のメニュー、お気に入り（ブックマーク）で画面を変更した場合、正しく画面が表示されません。
- Web ブラウザは、Internet Explorer を使用してください。他のブラウザでは、表示が乱れる、内容の一部が表示されないなどの現象が発生する場合があります。
- 「ツール」→「インターネットオプション」→「全般タグ」のインターネット一時ファイルの設定を選択し、「保存しているページの新しいバージョンの確認」を「ページを表示するごとに確認する」に設定してください。

ディスプレイの情報を設定する

1 ブラウザのアドレス欄に「http://IP アドレス（設定した IP アドレス）」を入力する

2 パスワード入力画面で「admin」と入力する

3 [Network] をクリックする

4 [NAME] [Location] [Installation date] [LED] を設定する

ご注意

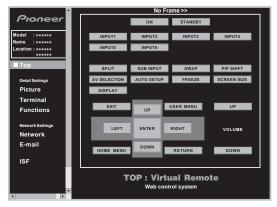
- [NAME] [Location] [Installation date] 以外の項目を変更した場合は、一度ブラウザを閉じて開き直してください。
- [IP address] [Sub net mask] [Default gateway] の項目を変更した場合は、一度ブラウザを閉じ、パソコンのネットワーク設定を変更してから、ブラウザを開き直してください。

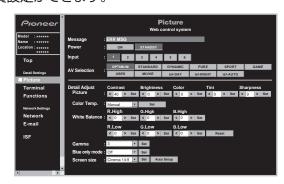
仮想リモコンを使う

1 ブラウザのアドレス欄に「http://IP アドレス（設定した IP アドレス）」を入力する

2 パスワード入力画面で「admin」と入力する

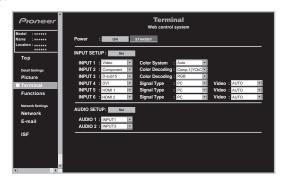
パスワードを入力すると、仮想リモコン画面が表示されます。

3 各ボタンをクリックすると、リモコン操作と同じ動作を行います

画質を調整する

「PICTURE」をクリックすると画質設定画面になり、画質設定ができます。

ご注意

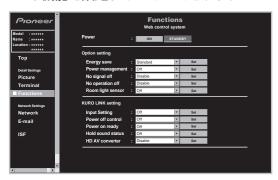
- Web 画面から操作中に、リモコンおよび本体ボタンで本体を直接操作をした場合、Web 画面の内容と本体の状態が一致しなくなる場合があります。本体の状態を知るためには、左側のフレームのメニューから、画面を再度選択してください。本体の状態を再表示します。

入力設定をする

「TERMINAL」をクリックすると入力設定画面になり、入力設定ができます。

ご注意

- Web 画面から操作中に、リモコンおよび本体ボタンで本体を直接操作をした場合、Web 画面の内容と本体の状態が一致しなくなる場合があります。本体の状態を知るためには、左側のフレームのメニューから、画面を再度選択してください。本体の状態を再表示します。

いろいろな機能を設定する

「FUNCTION」をクリックすると機能設定画面になり、いろいろな機能を設定することができます。

ご注意

- Web 画面から操作中に、リモコンおよび本体ボタンで本体を直接操作をした場合、Web 画面の内容と本体の状態が一致しなくなる場合があります。本体の状態を知るためには、左側のフレームのメニューから、画面を再度選択してください。本体の状態を再表示します。

E メール通知機能を設定する

本機の故障や状態の変化があった場合に、メールを送信し、通知を行います。

Sender address	メール送信者のメールアドレスを設定します。
Mail server (SMTP)	メール送信用のサーバーの IP アドレスを設定します。
Authentication	メール送信のときに、認証を行うかどうかを設定します。 認証方法は、Pop before SMTPになります。
ID	認証のための ID を入力します。
Password	認証のパスワードを入力します。
Received address(1) ～ (3)	メールの宛先アドレスを設定します。
Event option	
Power down	故障の恐れがある原因により、安全機能が動作した場合にメールを送信します。
Shut down	保護機能により、電源が自動的に OFF になった場合にメールを送信します。
Usage time	パネルの使用時間でメールを送信します。500 を設定した場合は、500 時間ごとにメールを送信します。
Input Change	入力モードが変更されたときにメールを送信します。
Loss of input signal	入力信号がなくなったときにメールを送信します。
Power toggle	電源状態が変更されたときにメールを送信します。

ご注意

- 本機には、DNS による名前解決の機能がありません。メールサーバーの欄には、メールサーバーの IP アドレスを入力してください。IP アドレスが分からない場合は、以下の方法で調べてください。

サーバーの名前から IP アドレスを調べる方法

- パソコン上で nslookup などのプログラムを使用することによって、名前から IP アドレスを調べることができます。
  例：Windows の DOS 画面で nslookup を使用

```
c:¥> nslookup
Server:    xxx.xxx.xxx.com  ←  現在使用中のネームサーバー
Address:  yyy.yyy.yyy.yyy
> mailsv.aaa.com  ←  検索したいメールサーバー
Server:    xxx.xxx.xxx.com  ←  現在使用中のネームサーバー
Address:  yyy.yyy.yyy.yyy

Non-aurthoritative answer:
Name:     mailsv.aaa.com
Address:  zzz.zzz.zzz.zzz  ←  サーバー:mailsv.aaa.comのIPアドレス
```

他機器を操作するためのリモコン設定をする

付属のリモコンを使って、本機以外のパイオニア製品や他社の機器（ビデオデッキ、モニター、BD、DVD プレーヤーなど) を操作することができます。お手持ちの機器のプリセットコードがリモコンに登録されている場合は、該当するコードを呼び出すだけで操作できるようになります。また、プリセットコード非対応の機器でも、その機器に付属のリモコンから直接登録（学習）することが可能です。

他機器のリモコン信号を本機のリモコンに呼び出す ［プリセットコード設定］

本機付属のリモコンには、複数の AV 機器 (他社製品を含む) のリモコンコードが登録されています。
各ボタンの役割は「リモコンで他機器を操作する」(☞ 下記) をご覧ください。

1 SELECT ◯ **を押し、リモコンコードを登録したい機器を選ぶ**

次の順で切り換わります。

モニター⇔セットトップボックス⇔ BD プレーヤー/DVD プレーヤー⇔ビデオデッキ

2 EDIT/LEARN ◯ **を押しながら、 1 を押す**

選択した機器のインジケーターが点滅します。

3 数字ボタン(1 〜 0)で４桁のメーカーコードを入力する

メーカーコードは「メーカーコード一覧表」(☞**87 ページ**）をご覧ください。

インジケーターが 1 秒間点灯したあと、消灯します。

お知らせ

- 設定を間違えたときは、はじめからやり直してください。
- 設定の途中でプリセットコード設定を終了したいときは、もう一度 EDIT/LEARN ボタンを押してください。
- **87 ページ**の一覧表にない他機器のコードを入力すると、インジケーターは点滅を続けます。
- プリセットコードの登録は約２秒で終了します。転送が終了すると、インジケーターが再度点滅します。
- 設定中に以下の操作をした場合は、プリセットモードが解除されます。
  - ・ SELECT ボタンでモードを切り換えたとき
  - ・ EDIT/LEARN ボタンを押してから（インジケーター点滅）１分間何も操作しないとき

リモコンで他機器を操作する

- 以下のリモコン操作を行うには、あらかじめ操作したい機器のリモコンコードを登録しておく必要があります。詳しくは「他機器のリモコン信号を本機のリモコンに呼び出す（プリセットコード設定)」(☞ **上記**）をご覧ください。
- 実際に操作を始める前に、リモコンの SELECT を操作したい機器に切り換えてから、他機器操作ボタンを押してリモコンをその機器の操作モードにしてください。各機器の詳しい機能については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 機種によっては操作できないボタンもあります。
- 初期値は、以下のようになっています。
  セットトップボックス：パイオニア製（コード 0329）
  BDP/LE/DVD/DVR：パイオニア製 BDP（コード 2052）
  VCR（VTR)：パイオニア製（コード 0058）

機能 ボタン	セットトップボックス	BD プレーヤー /LD プレーヤー DVD プレーヤー /DVD レコーダー	ビデオデッキ
CH ENTER	CH ENTER		
P+ − /CH+ −	チャンネルの選択	チャンネルの選択	チャンネルの選択
RETURN	戻る	戻る	
赤ボタン	赤ボタン	赤ボタン	
緑ボタン	緑ボタン	緑ボタン	
青ボタン	青ボタン	青ボタン	
黄色ボタン	黄色ボタン	黄色ボタン	
●	オンデマンド機能	録画	録画
❚❚	FAVORITE 機能	一時停止	一時停止
■		停止	停止
▶		再生	再生
(スタンバイマーク)	電源の入 / 切（スタンバイ）	電源の入 / 切（スタンバイ）	電源の入 / 切（スタンバイ）
◀◀		早戻し、 前チャプター（トラック）頭出し	早戻し
▶▶		早送り、 次チャプター（トラック）頭出し	早送り
DVD/HDD		DVD/HDD の切り換え	

好きなボタンに他機器の操作を記憶させる [学習モード]

他機器のリモコンの操作を本機のリモコンに直接学習させることができます。プリセットコードを登録しただけでは使用できない操作などは、以下の手順で追加登録（学習）してください。

1 SELECT を押し、リモコンコードを登録したい機器を選ぶ

次の順で切り換わります。

モニター⇔セットトップボックス⇔ BD プレーヤー /DVD プレーヤー⇔ビデオデッキ

2 EDIT/LEARN を押しながら、2 を押す

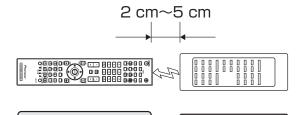
選択した機器のインジケーターが点滅します。

3 本機のリモコンと他機器のリモコンを向かい合わせて、記憶させたい本機のリモコンボタンを押す

インジケーターが点滅から点灯に変わります。

記憶できないボタンの場合、インジケーターは、点滅のままになります。

2 cm～5 cm

4 記憶させたい他機器のリモコンボタンを数秒間押して離す

インジケーターが点灯から再び点滅に変わります。

5 EDIT/LEARN を押す

特定のボタンに登録された操作のみを解除する

1 EDIT/LEARN を押しながら、1 を押す

選択した機器のインジケーターが点滅します。

2 数字ボタン（1～0）でお買い上げ時の 4 桁のメーカーコードを入力する

リモコンに設定されたプリセットコードと学習させた他機器の操作を解除する

1 EDIT/LEARN を押しながら、MONITOR を押す

選択した機器のリモコンインジケーターが点滅します。

2 黄 を押す

リモコンに設定された各種設定を、すべてリセットします。

お知らせ

- 設定の途中で学習モードを終了したいときは、もう一度 EDIT/LEARN ボタンを押してください。
- 学習モードを入力したあと（インジケーター点灯）は、モードを切り換えることはできません。
- お使いの機器のプリセットコードがなかったり、リモコンでの操作ができない場合は、学習モードを設定してください。
- 設定中に以下の操作をした場合は、学習モードが解除されます。
  - ・ SELECT ボタンでモードを切り換えたとき
  - ・ EDIT/LEARN ボタンを押してから（インジケーター点滅）1 分間何も操作しないとき

入力 1 ～入力 6 の映像を見る

INPUT 1 ～ INPUT 6

入力 1 ～入力 6 端子に接続した機器の入力に切り換えます。

確認してください！

□ 外部機器を接続していますか？ ☞44 ～ 57 ページ

1 見たい機器の電源を入れる

入力 1 ～入力 6 端子に接続した機器のうち、見たい機器の電源を入れます。

2 機器を接続した入力を INPUT 1 ～ INPUT 6 で選ぶ

お知らせ

- 本体のボタンで操作するときは、入力切換ボタンを押してください。押すたびに入力が切り換わります。

3 接続した機器を再生する

HDMI 接続の機器は

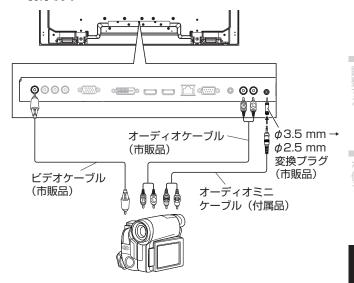
● INPUT 5 INPUT 6 入力を選びます。

お知らせ

- 機器によっては、映像が表示されるまで時間がかかる場合があります。

ビデオカメラやゲーム機を楽しむときは

● ビデオカメラやゲーム機は、本機背面の入力 1 端子に接続すると便利です。

お知らせ

- ゲーム機のコントローラーを使用するときには、コントローラーの操作に対して画面がわずかに遅れて表示されますが、これは入力信号をデジタル処理するために遅れが発生するもので、故障ではありません。
- 接続した機器の操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

ID ナンバー、ボーレートを設定する

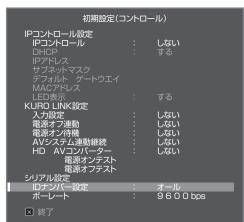
下記は RS-232C 端子のための設定で、特殊な映像調整を行う際に使用します。
映像調整用の特別な機材を接続する場合にのみお使いいただけます。

ID ナンバーを設定する

複数台の本機を 1 台のパソコン（PC）で制御、調整する際、それぞれに ID を付与します。

1 HOME MENU を押す

2 [初期設定（コントロール）] を選んで ENTER を押す

3 [ID ナンバー設定] を選んで ENTER を押す

4 ▲▼で設定を選んで ENTER を押す

IDナンバー設定　：◀ オール ▶

オール※	ID ナンバーが設定されません。
01H-FFH	ID ナンバーが設定されます。

※お買い上げ時の設定

お知らせ

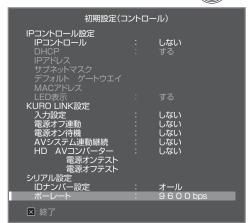
- 本設定は、すべての入力に共通した設定です。

ボーレートを設定する

パソコン（PC）で本機を制御、調整するときの RS-232C 通信速度（ボーレート）を設定します。

1 HOME MENU を押す

2 [初期設定（コントロール）] を選んで ENTER を押す

3 [ボーレート] を選んで ENTER を押す

4 ▲▼で設定を選んで ENTER を押す

お買い上げ時は、「9600bps」に設定されています。

お知らせ

- 本設定は、すべての入力に共通した設定です。

接続して使う

インテグレータモードについて

特別な映像調整や特別な機能を使用・設定するためのモードです。

お知らせ

- インテグレータモードに切り換えると、ホームメニューの「画質の調整」「画面の調整」の各調整内容は、すべてお買い上げ時の設定に戻ります。
- 「音質の調整」「省エネの設定」「その他の設定」「初期設定（入力）」「初期設定（コントロール）」の各設定内容は保持されます。
- **インテグレータモードは、英語のみの表記になります。**

インテグレータモードに切り換える

1 **INPUTを押して、調整したい入力に切り換える**

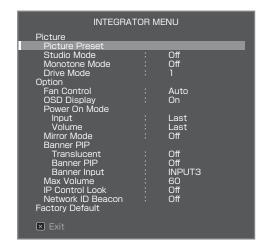
2 **DISPLAY INFOを押す**

現在選択している入力の状態が表示されます。

3 **手順 2 の画面が表示されている間に、再度DISPLAY INFOを 3 秒以上押す**

入力信号のみ表示されます。

4 **手順 3 の画面を表示中にHOME MENUを押す**

インテグレータモードに切り換わります。

お知らせ

- HOME MENUは短めに押してください。
  HOME MENUを長めに押すと、インテグレータモードに切り換わらないことがあります。

メニュー項目について

Picture Preset

ホームメニューの画質調整の初期値を設定します。

Studio Mode

本機は通常使用時の他に、TV スタジオでの再撮時 (Studio) に最適になるように設定された「画質の調整」、「画面の調整」の調整値を独立して別々に持っています。

Off ※	スタジオモードを使用しません。
On	スタジオモードを使用します。

※お買い上げ時の設定

お知らせ

- 本設定は、各入力ごとに設定できます。
- Studio Mode 中は、Monotone Mode、AV Selection、Blue Only Mode は設定できません。

Monotone Mode

映像信号の色成分をカットして、輝度信号のみで表示するよう設定します。

Off ※	モノトーンモードを使用しません。
On	モノトーンモードを使用します。

※お買い上げ時の設定

お知らせ

- 本設定は、各入力ごとに設定できます。
- Monotone Mode 中 は、Studio Mode、AV Selection、Picture Preset は設定できません。

Drive Mode

映像に適した画像補正をします。詳しくは「映像に適した画像補正にする」（☞34 ページ）をご覧ください。

1	さまざまなジャンルの映像に対してバランスを考慮した設定です。
2	ニュースなど文字スクロールの多い映像を視聴する場合に適しています。
3	映画を視聴する場合に適しています。

お知らせ

- 本設定は、ビデオ信号入力時のみ有効です。

FRC Mode

フレームレート変換を切り換えます。

Default ※	フレームレートを変換しません。
Sync	フレームレートを変換します。

※お買い上げ時の設定

お知らせ

- 本設定は、パソコン (PC) 信号入力時のみ有効です。

Fan Control

本機の背面にある冷却用ファンの制御方式を切り換えます。

Auto ※	内蔵温度センサーで自動制御するときに設定します。
Max	最大回転数で固定（自動制御：切）するときに設定します。

※お買い上げ時の設定

ご注意

- 「Max」は、特殊設置時に有効です。
  ただし、ファン回転音が大きくなりますので設置場所の周辺環境に注意して使用してください。特に静かな場所に設置するときは、ご注意ください。

お知らせ

- 本設定は、すべての入力に共通した設定です。

OSD Display

メニューの表示／非表示を行います。

Off	以下の時は、画面表示はされません。 ・DISPLAY ボタン、AV SELECTION ボタンを押したとき ・入力切り換えをしたとき ・ボリュームを調整したとき ただし、メニュー、メッセージは表示します。
On ※	Display を押すと、現在の状態が表示されます。

※お買い上げ時の設定

お知らせ

- 本設定は、すべての入力に共通した設定です。

Power On Mode

電源を入れたときの入力を設定します。

Input

INPUT1 ～ INPUT6	Input1 ～ Input6 の入力を表示します。
Last ※	最後に表示していた入力を表示します。

※お買い上げ時の設定

Volume

Last ※	最後に設定していた音量になります。
0 ～ 60	0 ～ 60 の間の音量となります。

※お買い上げ時の設定

お知らせ

- 本設定は、すべての入力に共通した設定です。

Mirror Mode

ディスプレイ上に表示される映像を、左右反転させる機能です。

Off ※	左右反転表示しません。
On	左右反転表示になります。

※お買い上げ時の設定

お知らせ

- 本設定は、すべての入力に共通した設定です。

Banner PIP

PinP 表示の子画面の透過率および表示位置を設定します。
Banner PIP に対応する信号は、XGA 60 Hz、WXGA 60 Hz です

Translucent

PinP表示の子画面の透過率を設定します。調整範囲は、off ～ 80 %です。

パーセンテージが上がると、透過率も上がります。

※お買い上げ時の設定は、「Off」になっています。

Banner PIP

PinP 表示の子画面の表示位置を設定します。

※お買い上げ時の設定は、「Off」になっています。

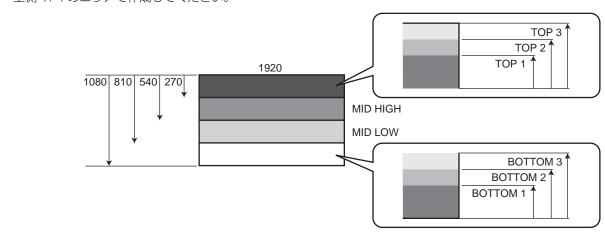
Banner Input

PinP 表示の子画面の入力信号を設定します。

※お買い上げ時の設定は、「INPUT3」になっています。

お知らせ

- 親画面の解像度が高いほど、子画面がぼやけて見えます。

入力信号の上部 1/4 の部分を表示します。子画面はパソコン信号入力時のみに対応します。挿入する画像を作成する際は、上側 1/4 のエリアで作成してください。

Max Volume

最大ボリュームを設定します。

※お買い上げ時の設定は、「60」に設定されています。

お知らせ

- 本設定は、各入力ごとに設定できます。

IP Control Lock

IP コントロールの設定をロックすることができます。

Off ※	IP コントロールの設定はロックされません。
On	IP コントロールの設定がロックされます。

※お買い上げ時の設定

お知らせ

- 本設定は、各入力ごとに設定できます。

Network ID Beacon

当社が指定した一部のメーカーの機器を接続して、本機能をオンにした場合に、接続認証をします。

Off ※	機能が無効になります。
On	機能が有効になります。

※お買い上げ時の設定

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、まずは以下の内容をチェックしてください。ちょっとした操作ミスや接続ミスを故障と思い込んでしまうことがあります。また、本機以外の原因も考えられます。お使いのアンテナや録画機器などもあわせてお調べください。
以下の項目に従ってもう一度点検しても直らないときは、まず当社ホームページでお調べになってから、カスタマーサポートセンターにご連絡ください。

ON ランプ /STANDBY ランプについて

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● ON ランプ（青）、STANDBY ランプ（赤）の両方とも消灯している 	• 電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグをコンセントにしっかりと接続してください。☞20 ページ
	• 主電源は入っていますか？	主電源ボタンを押して、主電源を入れてください。☞21 ページ
● ON ランプ（青）、または STANDBY ランプ（赤）が点滅を繰り返している 	• 本機の保護回路が動作したと考えられます。	主電源ボタンを押して主電源を切り、1 分以上たってからもう一度、電源を入れてください。 ☞21 ページ 主電源を切っても正常に動作しないときは、主電源を切ったあとコンセントを抜いて、1 分以上放置します。その後もう一度コンセントを差して、電源を入れてください。 それでも正常に動作しないときは、まず、当社ホームページでお調べになってから、カスタマーサポートセンターにご連絡ください。
● 映像や表示がおかしい ● 急にリモコンで操作できなくなった	―	本機は非常に高度なソフトウェアが組み込まれ動作しています。 何かおかしいと感じたときは、主電源ボタンで電源を切って、約 1 分以上お待ちになったあと、もう一度電源を入れてください。☞21 ページ
● 電源が入らない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	電源プラグをコンセントにしっかりと接続してください。☞20 ページ
	• 主電源は入っていますか？ 主電源が入っているときは、ON ランプが青色または STANDBY ランプが赤色で点灯します。	主電源ボタンを押して、主電源を入れてください。☞21 ページ
● 突然電源が切れた ● 映像も音声も出ない	• ON ランプ（青）、または STANDBY ランプ（赤）が点滅を繰り返していませんか？☞21 ページ	本機の保護回路が動作したと考えられます。主電源ボタンを押して主電源を切り、1 分以上たってからもう一度、主電源を入れてください。☞21 ページ 主電源を切っても正常に動作しないときは、主電源を切ったあとコンセントを抜いて、1 分以上放置します。そのあともう一度コンセントを差して、電源を入れてください。 それでも正常に動作しないときは、まず、当社ホームページでお調べになってから、カスタマーサポートセンターにご連絡ください。

全般

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● 映像も音声も出ない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	電源プラグをコンセントにしっかりと接続してください。☞20 ページ
	・主電源が切れていませんか？	主電源ボタンを押して、電源を入れてください。☞21 ページ
● リモコンで操作できない ● 電源が入らない	・リモコンをディスプレイのリモコン受光部に向けていますか？ リモコン受光部の前に障害物があったり、蛍光灯などの強い照明が当たっていませんか？	リモコンはディスプレイ右下のリモコン受光部に向けてお使いください。☞18、21 ページ
	・電池の極性（＋極／－極）が逆になっていませんか？	リモコンの乾電池を正しく入れてください。☞18 ページ
	・リモコンの乾電池が消耗していませんか？	新しい乾電池を正しく入れてください。☞18 ページ
● 片方しか音が出ない ● 音が左右逆になる	・「バランス」が正しく調整されていますか？	左右の音量バランスを調整してください。☞36 ページ
	・スピーカーケーブルが左右逆に接続されたり、片方が抜けたりしていませんか？	スピーカーケーブルを正しく接続してください。☞17 ページ
● 映像は出るが音声が出ない	・音量が最小になっていませんか？	＋ を押して音量を調整してください。
	・消音状態になっていませんか？	MUTING を押して、消音を解除してください。
	・入力 1 ～ 4 をお使いのとき、音声端子は接続されていますか？	入力 1 ～ 4 をお使いになるときは、音声端子も接続してください。☞43、47、50 ページ
	・音声の設定が正しく設定されていますか？	音を出したい入力に「音声入力 1」または「音声入力 2」の設定を確認してください。☞58 ページ
● 音声は出るが映像が出ない	・消費電力の設定で「消画」が設定されていませんか？ 「消画」を選択すると、音声のみ出ます。（映像は表示されません。）	消画状態からもう一度画面を表示させるには、＋ －、MUTING 以外のボタンを押します。☞29 ページ
● 色がうすい ● 色あいが悪い	・色の濃さ、色あいなどは正しく調整されていますか？	画質の調整を確認して、お好みの画質に調整してください。☞34 ページ
● 長時間（3 時間以上）視聴していると、電源が切れてしまう	・省エネの設定で無操作オフが「する」に設定されていませんか？	無操作オフが「する」の設定では、約 3 時間操作しないと、自動的に電源が切れます。☞29 ページ
● 電源スタンバイ状態でもファンが回っている	・電源スタンバイ状態にしてもファンはすぐに止まりません。ファンの回転が止まるまでに、数秒かかります。	本機の故障・不具合ではありません。
● ときどき「ピシッ」と音がする	・温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	
● ディスプレイ部から音がする	・ご使用中にディスプレイ部から駆動音が聞こえる場合があります。また、その駆動音は、省エネ機能の設定を切り換えると変化する場合があります。	
● 映像が暗い	・照度センサーが障害物で覆われていませんか？	照度センサーの前の障害物を取り除いてください。
	・画質モードが「映画」に設定されていませんか？	他のモードに切り換えてください。☞30 ページ
	・「消費電力」の設定を「省エネ2」にしていませんか？	他の設定に切り換えてください。☞29 ページ
● 画面に光らない点がある ● 画面に常時点灯している点がある	・フラットパネルディスプレイは、微細な画素の集合体で非常に精密な技術で作られており、ごく一部の画素が光らなかったり、常時点灯する場合があります。	本機の故障・不具合ではありません。
● 本機の電源を入れるとＡＭラジオにノイズが出る	・本機は公的規格を満たしていますが、若干のノイズが出ています。ＡＭラジオやパソコン、ビデオなどの機器を近づけると妨害を与えることがあります。	妨害を受ける機器を影響のないところまで本機から離してください。ポータブルＡＭラジオなどは、ラジオの向きを変えることによって、妨害が少なくなることがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● ファンの音がする	・設置環境により本体周囲の温度が高くなると、冷却用のファンモーターが回ります。そのため、回転音がする場合がありますが異常ではありません。	本機の故障・不具合ではありません。
● 前面パネルが熱い	・本機を長時間使用すると、パネルの一部が熱を持つことがあります。手で触れると熱く感じるときもあります。	
● 前の画像が残像のように見える	・静止画像や明るい画像を一定時間表示したあと、暗めの画像を表示すると、静止画や明るい画像が残像のように見えるときがあります。	明るめの動画を数分表示することで解消できます。更に長時間の静止画表示は修復不可能な焼き付きに至る可能性がありますのでご注意ください。
● 画面の左右と中央（4：3 画像の両端と中央）の明るさや色調が違う	・画面サイズ 4：3 や上下に黒帯が表示されるレターボックス映像を長時間表示し続けたり、短時間でも日常的に繰り返し表示すると、フラットパネルディスプレイの特性上、残像（焼き付き）が発生することがあります。	画面の焼き付きを避けるため、できるだけワイド画面サイズでお楽しみいただくことをお勧めします。☞26 ページ 4：3 画像でご覧になるときは、サイドマスクの輝度連動を「連動」設定でお楽しみいただくことをお勧めします。☞28 ページ
● HDMI 機器の映像が出ない	・HDMI ケーブルが抜けていませんか？ または、抜けかかっていませんか？	HDMI ケーブルを確実に接続してください。 ☞55 ページ
	・対応外の信号が入力されていませんか？	接続した HDMI 機器の設定を対応信号に変更してください。☞56 ページ
	・1920 × 1080 ピクセルのプログレッシブ映像信号を入力していませんか？	対応の HDMI ケーブルをお使いください。 ☞55 ページ
● 本機のリモコンで DVD レコーダー、DVD プレーヤーが操作できない	・メーカーコードは登録しましたか？	メーカーコード表を確認して、登録してください。 ☞87 ページ メーカーコード表に記載があるメーカーでも、お使いの機種によっては操作できない場合があります。
	・本機のリモコンを、操作したい機器のリモコン受光部に向けていますか？	リモコンは操作したい機器のリモコン受光部に向けてお使いください。
● KURO LINK 機能が働かない	・本機と KURO LINK 対応機器が正しく接続されて、設定されていますか？	・「KURO LINK 対応機器をつなぐ」（☞59 ページ）、「KURO LINK の設定をする」（☞61 ページ）を見て正しく接続 / 設定されているかを確認してください。 ・ハイスピード対応 HDMI ケーブル（カテゴリー 2 ケーブル）を使用しないと、KURO LINK 機能が動作しない場合があります。
	・機器側の KURO LINK 機能の設定が有効かをチェックしてください。	詳しくは HDMI 機器に付属の取扱説明書を参照してください。
● 映像が出ない ● 音が出ない ● 映像も音も出ない	・本機と KURO LINK 対応機器が正しく接続されて、設定されていますか？	「KURO LINK 対応機器をつなぐ」（☞59 ページ）、「KURO LINK の設定をする」（☞61 ページ）を見て正しく接続 / 設定されているかを確認してください。
	・2 画面表示にしていませんか？	KURO LINK 対応 AV アンプに接続されている BD/DVD プレーヤーおよび DVD レコーダーからの映像を、2画面表示で副画面・子画面に表示した場合、BD/DVD プレーヤーおよび DVD レコーダーからの映像は表示されずに黒画面になります。
● 映像が正しく出ない	・「カラーデコーディング」「信号種別」「映像」「信号フォーマット」が正しく設定されていますか？	入力 2 の場合は、「カラーデコーディング」の設定を確認してください。☞46 ページ 入力 3 の場合は、「カラーデコーディング」「信号フォーマット」の設定を確認してください。 ☞51、52 ページ 入力 4 の場合は、「映像」「信号フォーマット」の設定を確認してください。☞49 ページ 入力 5 または 6 の場合は、「映像」「信号フォーマット」の設定を確認してください。☞57 ページ

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● 正しい IP アドレスを入力しても、Web 画面が表示できない	・LED 表示を ON にしましたか？ ・LAN 端子のインジケーターは点灯していますか？	・LED 表示を「 する 」にしてインジケーターが点灯することを確認してください。（☞**66 ページ**） ・インジケーターが点灯しない場合は、ケーブルが正しく挿入されているかを確認してください。（☞**64 ページ**） ・インジケーターが点灯しない場合は、ケーブルの反対側が、コンピュータ、ハブ、ルーターなどに挿入されているかを確認してください。（☞**64 ページ**）
● LAN 端子のインジケーターは点灯しているが、Web 画面を表示できない	・ケーブルの反対側が、電話など Ethernet 以外の回線に接続されていませんか？ ・DHCP を利用している場合、サーバーから割り当てられた IP アドレスが変わっていませんか？（DHCP では、一定時間ごとにアドレスの再割り当てが行われるため IP アドレスが変化することがあります。）	・ケーブルを Ethernet に接続してください。（☞**64** ページ） ・正しい IP アドレスを入力してください。（☞**66** ページ）
● DHCP を ON にしても IP アドレスが設定されない	・ネットワーク内で、DHCP サーバーが稼働していますか？	・DHCP サーバーが稼働しているかを確認してください。
● Web 画面表示の時、左側のフレームが表示されない	・ブラウザを再起動し、アドレスバーに URL を入力して、TOP 画面を開き直してください。	本機の故障・不具合ではありません。

メッセージ表示一覧

本機では、状況に応じて、さまざまなメッセージが表示されます。主なメッセージと対処方法は、次のとおりです。（メッセージは 50 音順に並んでいます。）
当社にお問い合わせになるときは、メッセージの内容とコード番号をご確認のうえご連絡ください。

メッセージ	コード	内容・対応のしかた	種類
機器が操作できません。 接続を確認してください。	CEC000 ～ CEC300	KURO LINK 対応機器との接続や設定が正しくありません。KURO LINK 対応機器との接続と設定を確認してください。 ☞59 ページ、61 ページ	KURO LINK 関連
内部温度上昇のため、電源をオフします。 テレビ周辺の温度を確認してください。	SD04 または SD11	本機周辺の温度が高くなっていませんか？ 周辺の温度などを確認してください。 次に、テレビ本体の電源ボタンを押して主電源を切り、1 分以上たってからもう一度、電源を入れてください。☞21 ページ	保護回路エラー通知
内部保護回路動作により、電源をオフします。 スピーカーケーブルはショートしていませんか？	SD05	スピーカーケーブルの接続（テレビ本体部・スピーカー部）をご確認ください。☞17 ページ 電源ボタンを押して主電源を切り、1 分以上たってからもう一度、電源を入れてください。 ☞21 ページ	

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は必ず「お買い上げ店名・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保存してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。
ただし、フラットパネルディスプレイのガラスパネル部分のみは 2 年間です。

ご注意

- 画素欠けについては故障・不良ではありませんので、保証の対象外です。
- お客様のご使用過程で発生したディスプレイの焼き付きも、保証の対象外です。
- 「使用上のご注意」（☞101 ページ）をよくお読みのうえ、正しくご使用になることをお勧めします。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い求めの販売店へご依頼ください。また、ご転居されたりご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、修理についてのご相談窓口にご相談ください。

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付センター

受付時間　月曜～金曜　9:30 ～ 19:00、土曜・日曜・祝日　9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 18:00(弊社休業日は除く)
■電話　フリーダイヤル 0120-5-81028（ゴー バイオニア） ■一般電話　03-5496-2023
■ファックス　フリーダイヤル 0120-5-81029
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair.html
※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ / ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション (沖縄県のみ)

受付時間　月曜～金曜　9:30 ～ 18:00(土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)
■一般電話　098-879-1910　■ファックス　098-879-1352

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品 (付属品、リモコン、取扱説明書など) のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜　9:30 ～ 18:00、土曜・日曜・祝日　9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 18:00(弊社休業日は除く)
■電話　フリーダイヤル 0120-5-81095 ■一般電話　0538-43-1161
■ファックス　フリーダイヤル 0120-5-81096

修理を依頼されるとき

76 ～ 80 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所：
「付近の目印もあわせてお知らせください」
- お名前：
- お電話番号：
- 製品名：　フラットパネルディスプレイ
- 型番：　KRP-600M/500M
- お買い求め日：
- 故障または異常の内容：
「できるだけ具体的に」
「画面に表示されたコードやメッセージ」
- 訪問ご希望日：
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）：

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。
メーカーは販売店からの注文により補修用性能部品を販売店に供給します。
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。テレビの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたりして、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

愛情点検

長年ご使用のフラットパネルディスプレイの点検を！

このような症状はありませんか？	・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ・電源コードにさけめやひび割れがある。 ・電源が入ったり切れたりする。 ・本体から異常な音、熱、臭いがする。		ご使用中止	故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

K026_A_Ja

故障や事故防止のため、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、「保証とアフターサービス」（☞81 ページ）をお読みのうえ、修理受付センターに点検をご依頼ください。

おもな仕様

区分	項目	KRP-600M	KRP-500M
型番		KRP-600M	KRP-500M
型名		フラットパネルディスプレイ	
ディスプレイパネル（画面寸法）		60 V 型 AC 方式プラズマパネル （幅 131.9 cm、高さ 74.2 cm、対角 151.3 cm）	50 V 型 AC 方式プラズマパネル （幅 110.4 cm、高さ 62.1 cm、対角 126.6 cm）
画素数		1920（水平） × 1080（垂直）	1920（水平） × 1080（垂直）
定格電圧		AC100 V	
定格周波数		50 Hz/60 Hz	
消費電力		487 W	389 W
消費電力	待機時消費電力	0.3 W	0.2 W
入出力端子	ビデオ入力	1 系統　RCA 端子　コンポジット映像信号　1 Vp-p/75 Ω / 同期負	
入出力端子	コンポーネント入力	1 系統　RCA 端子　Y…1 Vp-p/75 Ω / 同期負 P_B/C_B、P_R/C_R …0.7 Vp-p（カラー 100 %）/75 Ω	
入出力端子	ＰＣ入力（D-SUB）	1 系統　ミニ D-sub 15 ピンコネクタ（メス）RGB 信号（G ON SYNC 対応） RGB…0.7 Vp-p/75 Ω / 同期なし HD/CS、VD…TTL レベル / 正負極性 /2.2 kΩ G ON SYNC…1 Vp-p/75 Ω / 同期負 Microsoft 社 Plug&Play（VESA DDC 1/2B）対応	
入出力端子	ＤＶＩ－Ｄ入力	1 系統　DVI-D 24 ピン端子　デジタル RGB 信号（DVI 準拠 TMDS 信号） Microsoft 社 Plug&Play（VESA DDC 1/2B）対応	
入出力端子	ＨＤＭＩ入力	2 系統	
入出力端子	音声入力（プログラマブル）	2 系統　RCA 端子（× 2） L/R…500 mVrms/10 kΩ 以上 ステレオミニジャック（Φ 2.5 mm） L/R…500 mVrms/10 kΩ 以上	
入出力端子	スピーカー出力	1 系統　L/R…6 Ω～ 16 Ω /9 W+9 W（6 Ω時）	
入出力端子	LAN 入出力	1 系統　RJ45 端子	
入出力端子	ＲＳ－２３２Ｃ	1 系統　D-sub 9 ピンコネクタ（オス）	
入出力端子	ＩＲリピータ出力	1 系統	
外形寸法		幅 1465 mm、奥行 64 mm、高さ 876 mm	幅 1233 mm、奥行 64 mm、高さ 723 mm
質量		49.9 kg	31.4 kg

■ **製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。**
■ **ディスプレイのＶ型（60V 型等）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。**
■ **HDMI 1.3（Deep Color）、HDCP 1.1 準拠：HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）とは、デジタル画像信号を暗号化する著作権保護システムの 1 つです。**

付録

ビデオ・パソコン信号対応一覧表

■ INPUT1（ビデオ入力）

	画面モード											備考
	ドット バイドット	4：3	フル （フル 1）	フル 2	ズーム	シネマ	ワイド	ワイド 1	ワイド 2	フル 14：9	シネマ 14：9	
NTSC	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	
PAL	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	
SECAM	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	
4.43NTSC	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	
PAL M	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	
PAL N	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	

■ INPUT2（色差入力）、INPUT3（D-sub 入力）のビデオ信号

アナログ信号です。以下の表の信号を映したい場合は、カラーデコーディングの設定を色差 1 または 2 にしてください。

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	画面モード											備考
			ドットバイ ドット	4：3	フル (フル1)	フル 2	ズーム	シネマ	ワイド	ワイド 1	ワイド 2	フル 14：9	シネマ 14：9	
480i	15.8	60.0	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	525i（注）
480p	31.5	60.0	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	525p（注）
576i	15.6	50.0	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	625i（注）
576p	31.3	50.0	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	625p（注）
720p	37.5	50.0	×	○	○	×	○	×	×	○	○	×	×	750p（注）
720p	45.0	60.0	×	○	○	×	○	×	×	○	○	×	×	750p（注）
1080i	28.1	50.0	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	1125i（注）
1080i	33.8	60.0	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	1125i（注）
1080p	27.0	24.0	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	1125p（注）
1080p	56.3	50.0	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	1125p（注）
1080p	67.5	60.0	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	1125p（注）

（注）ディスプレイ表示には、上記表の解像度表示がされますが、備考の表記と同じ信号です。

■ INPUT4（DVI 入力）、INPUT5 ～ INPUT6（HDMI 入力）のビデオ信号

デジタル信号です。以下の表の信号を映したい場合は、信号種別の設定をビデオにしてください。

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	画面モード											備考
			ドットバイ ドット	4：3	フル (フル1)	フル 2	ズーム	シネマ	ワイド	ワイド 1	ワイド 2	フル 14：9	シネマ 14：9	
480i	15.8	60.0	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	525i（注）
480p	31.5	60.0	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	525p（注）
576i	15.6	50.0	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	625i（注）
576p	31.3	50.0	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	625p（注）
720p	37.5	50.0	×	○	○	×	○	×	×	○	○	×	×	750p（注）
720p	45.0	60.0	×	○	○	×	○	×	×	○	○	×	×	750p（注）
1080i	28.1	50.0	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	1125i（注）
1080i	33.8	60.0	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	1125i（注）
1080p	27.0	24.0	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	1125p（注）
1080p	56.3	50.0	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	1125p（注）
1080p	67.5	60.0	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	1125p（注）

（注）ディスプレイ表示には、上記表の解像度表示がされますが、備考の表記と同じ信号です。

■ INPUT3（D-SUB 入力）のパソコン信号

アナログ信号です。以下の表の信号を映したい場合は、カラーデコーディングの設定を RGB にしてください。
正しく表示されない場合は、信号フォーマットを表示したい解像度に設定してください。

解像度 ドット×ライン	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	画面モード											備考	BANNER PIP 対応
			ドット バイドット	4：3	フル (フル1)	フル2	ズーム	シネマ	ワイド	ワイド1	ワイド2	フル 14：9	シネマ 14：9		
720 × 400	31.5	70.1	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
640 × 480	31.5	59.9	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
640 × 480	35.0	66.7	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	Apple Macintosh 13	
640 × 480	37.9	72.8	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
640 × 480	37.5	75.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
640 × 480	43.3	85.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
720 × 480	31.5	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
720 × 480	27.2	71.9	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
848 × 480	31.0	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
800 × 600	35.2	56.3	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
800 × 600	37.9	60.3	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
800 × 600	48.1	72.2	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
800 × 600	46.9	75.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
800 × 600	53.7	85.1	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
832 × 624	49.7	74.6	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	Apple Macintosh 16	
1280 × 720	44.8	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1280 × 720	18.4	71.9	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1360 × 768	47.7	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		○
1280 × 768	47.8	59.9	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1024 × 768	48.4	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		○
1024 × 768	56.5	70.1	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1024 × 768	60.0	75.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1024 × 768	68.7	85.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1024 × 768	58.0	71.9	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1024 × 768	60.2	74.9	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	Apple Macintosh 19	
1280 × 768	56.0	69.8	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	CVT	
1280 × 768	57.8	72.1	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1280 × 800	49.7	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1152 × 864	53.7	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1152 × 864	67.5	75.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1152 × 870	68.7	75.1	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	Apple Macintosh 21	
1280 × 960	60.0	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1280 × 960	85.9	85.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1280 × 1024	64.0	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1280 × 1024	80.0	75.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1440 × 900	56.0	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	Apple Macintosh 17	
1400 × 1050	65.3	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	CVT	
1400 × 1050	82.3	74.9	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1400 × 1050	93.9	85.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1680 × 1050	65.3	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1280 × 1024	91.1	85.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1920 × 1080	67.5	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1600 × 1200	75.0	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1600 × 1200	81.3	65.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1600 × 1200	87.5	70.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1600 × 1200	93.8	75.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1600 × 1200	106.3	85.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1920 × 1200	74.6	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1920 × 1200RB	74.0	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		

■ INPUT4（DVI 入力）、INPUT5 ～ INPUT6（HDMI 入力）のパソコン信号

デジタル信号です。以下の表の信号を映したい場合は、信号種別の設定を PC にしてください。
正しく表示されない場合は、信号フォーマットを表示したい解像度に設定してください。

解像度 ドット×ライン	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	画面モード											備考	BANNER PIP 対応
			ドット バイドット	4：3	フル (フル1)	フル2	ズーム	シネマ	ワイド	ワイド1	ワイド2	フル 14：9	シネマ 14：9		
720 × 400	31.5	70.1	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
640 × 480	31.5	59.9	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
640 × 480	37.9	72.8	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
640 × 480	37.5	75.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
640 × 480	43.3	85.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
848 × 480	31.0	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
800 × 600	35.2	56.3	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
800 × 600	37.9	60.3	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
800 × 600	48.1	72.2	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
800 × 600	46.9	75.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
800 × 600	53.7	85.1	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1360 × 768	47.7	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		○
1280 × 768	47.8	59.9	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1024 × 768	48.4	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		○
1024 × 768	56.5	70.1	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1024 × 768	60.0	75.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1024 × 768	68.7	85.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1024 × 768	58.0	71.9	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1280 × 768	56.0	69.8	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	CVT	
1280 × 768	57.8	72.1	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1280 × 800	49.7	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1152 × 864	53.7	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1152 × 864	67.5	75.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1280 × 960	60.0	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1280 × 960	85.9	85.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1280 × 1024	64.0	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1280 × 1024	80.0	75.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1440 × 900	56.0	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	Apple Macintosh 17	
1400 × 1050	65.3	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	CVT	
1400 × 1050	82.3	74.9	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1680 × 1050	65.3	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1280 × 1024	91.1	85.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1600 × 1200	75.0	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
1920 × 1200RB	74.0	60.0	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		

メーカーコード一覧表

1.Cable

メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード
A-Mark	Century	Hitachi	Noos	Prism	Supercable
0008, 0144,	0008	0003, 0008	0817	0012	0276
0277	Daeryung	Humax	Nova Vision	Pulsar	Telewest
ABC	0008, 0277,	1981	0008, 0277	0000	1068
0003, 0008,	0477, 0877,	Insight	Novaplex	PVP Stereo Visual	Thomson
0237	1877	0476, 0810	0008, 0277	Matrix	1981
Accuphase	Digeo	Jerrold	NSC	0003	Time Warner
0003	1187	0003, 0012,	0012	Quasar	1877
Acorn	Director	0276, 0476,	NTL	0000	Tocom
0237	0476	0810	0003, 0276,	Regal	0012
Action	DX Antenna	Kabel	0277, 1060,	0276	Torx
0237	1500	Deutschland	1068	Runco	0003
Active	Encon	1981	Ono	0000	Toshiba
0237	0008	Kabelvision	1068	Sagem	0000, 1509
ADB	Fosgate	0003	Optus	0817	Trans PX
1927	0276	Kloss	0276, 1060	Salora	0276
Americast	Foxtel	0277	Pace	0000	TS
0899	1222	KNC	0008, 0237,	Samsung	0003
Amstrad	France Telecom	0008	0877, 1060,	0000, 0003,	United Cable
1222	0817	LG	1068, 1577,	0144, 1060,	0003, 0276
Archer	Freebox	0144	1877	1666	US Electronics
0237	1482	Macab	Panama	Scientific	0003, 0008,
Auna	Fujitsu	0817	0107	Atlanta	0276, 0277
0277	1497	Melita	Panasonic	0000, 0003,	Videoway
Austar	Galaxi	0003	0000, 0008,	0008, 0012,	0000
0012, 0276	0008	Memorex	0107, 0144,	0237, 0277,	Visiopass
BCC	GE	0000	1488	0477, 0877,	0817
0276	0144, 0237	Mitsubishi	Paragon	1877	Zenith
Bell South	Gehua	0003	0000, 0008,	Sony	0000, 0008,
0899	0476	Motorola	0525	1006, 1460	0525, 0899
Birmingham	General	0276, 0476,	Penney	Sprucer	
Cable	Instrument	0810, 1187,	0000	0144	
Communications	0003, 0012,	1376	Philips	Starcom	
0276	0276, 0476,	MultiVision	0317, 0817,	0003	
British Telecom	0810	0012	1305	StarHub	
0003	Gibralter	NEC	**Pioneer**	0276, 1927	
Cable &	0003	1496	**0144, 0533,**	Sumitomo	
Wireless	GoldStar	NET	**0877, 1021,**	1500	
1068	0144	0012, 0277	**1500, 1877**		

2. Satellite

メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード
@sat 1300 @Sky 1334 ADB 0642, 0887, 1367 Akai 0200 Alba 1284 Allsat 0200 Allvision 1232, 1334, 1412 AlphaStar 0772 Amstrad 0847, 1113, 1175 Aonvision 2279 Apro 1672 Armstrong 0200 Arnion 1300 Asat 0200 ASCI 1334 AssCom 0853 Astro 0173, 1100, 1113 Atsat 1300 AtSky 1334 Audioline 1672 Aurora 0642, 0879, 1433 Austar 0642, 0879, 1176 Axil 1457 Axis 1111 B@ytronic 1412 Bell ExpressVu 0775	Big Sat 1457 Black Diamond 1284 Blaupunkt 0173 Boca 1232 Boston 1251 Brainwave 1672 British Sky Broadcasting 0847, 1175 BskyB 0847, 1175 Bush 1284, 1645, 1672 Canal 0853 Canal Digital 0853 Canal Satellite 0853 Canal+ 0853 Centrex 1457 Century 0856 CGV 1413, 1567 Chaparral 0216 Chess 1334, 1626 CityCom 1176, 1232 Classic 1672 Clatronic 1413 CNS 1367 Comag 1232, 1412, 1413 Coship 1457 Crown 1284 Cyfra+ 1076 Cyrus 0200	D-box 0723, 1114 Daewoo 1111 Digifusion 1645 Digihome 1284 DigiLogic 1284 DigiQuest 1300, 1457 DigiSat 1232 Digisky 1457 Digiturk 1076 DiPro 1367 DirecTV 0099, 0247, 0392, 0566, 0639, 0749, 0819, 1076, 1108, 1142, 1377, 1392, 1414, 1442, 1609, 1639, 1749, 1856 Dish Network System 0775, 1505, 1775 Dishpro 0775, 1505, 1775 DNT 0200 Draco 1375 Dream Multimedia 1237 DSE 1375 DSTV 0642, 0879, 1433 Durabrand 1284 Echostar 0775, 0853, 1323, 1409, 1505, 1775 Elap 1567 Elta 0200	Engel 1251 Esat 0879 EuroLine 1251 Expressvu 0775, 1775 Ferguson 1291 FMD 1251, 1413, 1457 Foxtel 0879, 1176 Fuba 0173, 1214, 1251 Funai 1377 Galaxis 0853, 0879, 1111 GbSAT 1214 GE 0392, 0566 Gecco 1412 General Instrument 0869 General Satellite 1176 Globo 1251, 1334, 1412, 1429, 1626 GOD Digital 0200 GOI 0775, 1775 Gold Box 0853 GoldMaster 1334 Goodmans 1284, 1291 Gradiente 0099, 0856, 0887 Grandin 1626 Grundig 0173, 0847, 0853, 0879, 1284, 1291 Hanseatic 1100	Hauppauge 1672 HB 1214 Hills 1232, 2209 Hirschmann 0173, 1111, 1232, 1412 Hitachi 0749, 0819, 1250, 1284 Homecast 1214 Hornet 1300 Houston 0775 HTS 0775, 1775 Hughes Network Systems 0749, 1142, 1442, 1749 Humax 1176, 1427, 1675, 1808 iCan 1367 ID Digital 1176 Imperial 1334, 1429, 1672 Indovision 0856, 0887 Innova 0099 Interstar 1214 ISkyB 0887 ITT Nokia 0723 Jadeworld 0642 Jaeger 1334 Jerrold 0869 JVC 0492, 0775, 1775 Kaon 1300 KaTelco 1111	Kathrein 0173, 0200, 1416, 1561, 1567 Kenwood 0853 Kreiling 1626 Kreiselmeyer 0173 L&S Electronic 1334 LaSAT 0173 Lemon 1334 Lenoxx 1611 LG 1414 Listo 1626 Lodos 1284 Logik 1284 Magnavox 0722 Marantz 0200 Maspro 0173 Matsui 0173, 1284 Maximum 1334 McIntosh 0869 Mediabox 0853 Mediacom 1206 MediaSat 0853 Medion 1232, 1334, 1412, 1626 Mega 0200 Metronic 1334, 1375 Metz 0173 Mitsubishi 0749 Morgan's 0200, 1232, 1412

メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード
Motorola 0856, 0869 MTEC 1214 Multibroadcast 0642, 0879 Multichoice 0642, 0879, 1433 Myryad 0200 NEOTION 1334 Netsat 0099, 0887 Neuling 1232 Next Level 0869 Nikko 0200, 0723 Nokia 0723, 0853, 1023, 1223 Nordmende 1611 OctalTV 1505 Omega 0887 Opentel 1232, 1412 Optex 1611, 1626 Optus 0879 Orbis 1232, 1334, 1412 Orbitech 1100 P/Sat 1232 Pace 0200, 0329, 0847, 0853, 0887, 1175, 1323, 1423 Pacific 1284, 1375 Packard Bell 1111 Palcom 1409 Panasat 0879, 1433	Panasonic 0247, 0701, 0847, 1304, 1404 Panda 0173 peeKTon 1457 Philips 0099, 0173, 0200, 0722, 0749, 0775, 0819, 0847, 0853, 0856, 0887, 1076, 1114, 1142, 1442, 1672, 1749 Pino 1334 **Pioneer** **0329, 0853, 1308** PMB 1611 Preisner 1113 Premier 0723, 0853, 1429 Primacom 1111 Primestar 0869 Proscan 0392, 0566 QNS 1367, 1404 Radiola 0200 RadioShack 0566, 0775, 0869 Radix 1113 RCA 0143, 0392, 0566, 0775, 0855, 1142, 1291, 1392, 1442 Rebox 1214 Regal 1251	RFT 0200 Roadstar 0853 Rollmaster 1413 Rownsonic 1567 SAB 1251 Saba 0820 Sagem 0820, 1114 Samsung 0853, 1108, 1142, 1206, 1276, 1377, 1442, 1458, 1570, 1609 Sanyo 1219 Sat Control 1300 SAT+ 1409 Satelco 1232 Satplus 1100 Schaub Lorenz 1214 Schneider 1206, 1251 Schwaiger 1111, 1334, 1412, 1457 Sedea Electronique 1206, 1626 SEG 1251, 1626 Septimo 1375 Serd 1412 Servimat 1611 ServiSat 1251 Siemens 0173, 1334, 1429 SKY 0099, 0847, 0856, 0887, 1175, 1856	Sky Brazil 0856, 0887 SKY Italia 0853 Sky XL 1251, 1412 Sky+ 1175 Skymaster 1334, 1409, 1567, 1611 Skymax 0200 Skyplus 1232, 1334, 1412 Skyvision 1334 SL 1672 SM Electronic 1409 Smart 1113, 1232, 1404, 1413 Sony 0639, 0847, 0853, 1558, 1639 Star 0887 Star Choice 0869 Star Trak 0772, 0869 Starlite 0200 Strong 0820, 0853, 0879, 1284, 1300, 1409, 1626 Sunny 1300 Sunstar 0642 Supernova 0887 Supratech 1413 Systec 1334 Teac 1251 TechniSat 1100, 1195	Technosat 1206 Technosonic 1672 Technotrend 1429 Techwood 1284, 1626 TELE System 1251, 1409, 1611 TeleClub 1367 Telestar 1100, 1251, 1334, 1626, 1672 Televes 1214, 1300, 1334 Televisa 0887 Telewire 1232 Tevion 1409, 1672 Thomson 0392, 0566, 0820, 0847, 0853, 1046, 1175, 1291 Tiny 1672 Tividi 1429 Tivo 1142, 1442 Tokai 0200 Tonna 1611 Topfield 1206, 1208 Toshiba 0749, 0790, 1284, 1749 TPS 0820 Triax 0200, 0853, 1113, 1251, 1291, 1611, 1626 TT-micro 1429	Twinner 1611 UEC 0879 UltimateTV 1392 Uniden 0722 Unisat 0200 United 1251 Universum 0173, 1251 Variosat 0173 Ventana 0200 Vestel 1251 Victor 0492 ViewSat 1232 Visiosat 1413, 1457 Viva 0856 Voom 0869 Wavelength 1232, 1413 Wharfedale 1284 Wisi 0173, 1232 Worldsat 1214, 1251 Xsat 0847, 1214, 1323 Xtreme 1300 Yakumo 1413 Yes 0887 Zehnder 1232, 1251, 1334, 1412, 1413 Zenith 0856, 1856 Zeta Technology 0200 Zinwell 2280

3.VCR（VTR）

メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード
A-Mark 0000, 0037, 0278 ABS 1972 Accurian 0000 Admiral 0039, 0047, 0048, 0060, 0121, 0209 Adventura 0000, 0037 Aiko 0278 Aim 0278, 0348, 0642 Aiwa 0000, 0032, 0037, 0209, 0348, 1291 Akai 0037, 0315, 0348, 0642	Alba 0000, 0081, 0209, 0278, 0315, 0348 Alienware 1972 Allegro 0039 Allstar 0081 America Action 0278 American High 0035, 0081 Amstrad 0000, 0278 Anam 0037, 0162, 0226, 0278 Anam National 0162, 0226, 1162, 1562 Ansonic 0000 Aristona 0081	ASA 0037, 0081 Astra 0035 Asuka 0000, 0037, 0038, 0081 Audio-Technica 0058 Audiolab 0081 Audiosonic 0278 Audiovox 0037, 0038, 0278 Avis 0000 AVP 0000 Awa 0037, 0043, 0278, 0642 Baird 0000, 0278 Basic Line 0278	Bell & Howell 0000, 0035, 0039, 0048 Bestar 0278 Black Diamond 0642 Black Panther 0278 Blaupunkt 0081, 0162, 0226 Blue Sky 0037, 0209, 0278, 0348, 0642 Brandt 0320 Brinkmann 0209, 0348 Broksonic 0121, 0184, 0209, 0348	Bush 0000, 0081, 0209, 0278, 0315, 0348, 0642 Calix 0037 Candle 0037, 0038 Canon 0035 Carena 0081, 0209 Carrefour 0045 Carver 0035, 0081 Casio 0000 Cathay 0278	CCE 0278 CGE 0000 Changhong 0048, 0081 Cimline 0209 Cineral 0278 Citizen 0000, 0035, 0037, 0209, 0278 Classic 0037 Clatronic 0000 Colortyme 0035, 0045, 0060, 0278 Colt 0000 Condor 0278 Craig 0037, 0047

メーカー	コード
Criterion	0000
Crosley	0000, 0035, 0081, 0149
Crown	0037, 0278
Curtis Mathes	0000, 0035, 0060, 0162, 0278
CyberPower	1972
Cyrus	0081
Daewoo	0037, 0045, 0209, 0278, 0642
Dansai	0278
Daytron	0037, 0278
De Graaf	0042, 0048, 0081
Decca	0000, 0067, 0081, 0209
Degraff	0042, 0048, 0081
Deitron	0278
Dell	1972
Denon	0042, 0081
Diamant	0037
Diamond	0348
Dick Smith Electronics	0642
Digitor	0642
DirecTV	0739
Domland	0209
DSE	0642
Dual	0000, 0081, 0278, 0348
Dumont	0000, 0081
Durabrand	0038, 0039, 0642
Dynatech	0000
Elbe	0038, 0278
Electrohome	0000, 0037, 0043, 0060, 0209
Electrophonic	0037
Elta	0278
Emerald	0121, 0184
Emerex	0032
Emerson	0000, 0035, 0037, 0039, 0043, 0045, 0121, 0184, 0209, 0278, 0348
ESC	0278
Ferguson	0000, 0278, 0320, 0348
Fidelity	0000
Finlandia	0000, 0037, 0042, 0043, 0048, 0081, 0226
Finlux	0000, 0042, 0081
Firstline	0037, 0042, 0043, 0045, 0209, 0278, 0348
Fisher	0000, 0039, 0047
Flint	0209, 0348
Fuji	0033, 0035
Fujitsu	0000, 0037, 0045
Fujitsu General	0037
Funai	0000, 0037, 0278
Galaxi	0000
Galaxis	0278
Garrard	0000
Gateway	1972
GE	0000, 0035, 0048, 0060, 0149, 0226, 0320
GEC	0081
Gemini	0060
General	0045
General Technic	0348
Genexxa	0000, 0037, 0278
Go Video	0614
GoldStar	0000, 0035, 0037, 0038, 0039, 0209, 0225, 0226, 0278
Goodmans	0000, 0037, 0081, 0209, 0278, 0348, 0642
GPX	0037
Gradiente	0000
Granada	0000, 0035, 0037, 0042, 0048, 0081, 0226
Grandin	0000, 0037, 0209, 0278
Grundig	0081, 0226, 0320, 0348
Haaz	0348
Hanseatic	0037, 0038, 0081, 0209
Harley Davidson	0000
Harman/Kardon	0038, 0081
Hewlett Packard	1972
HI-Q	0000, 0035, 0047
Hinari	0209, 0278
Hisawa	0209
Hischito	0045
Hitachi	0000, 0035, 0037, 0042, 0045, 0081, 0089
Hoeher	0278, 0642
Hornyphon	0081
Howard Computers	1972
HP	1972
Hughes Network Systems	0042, 0739
Humax	0739
Hush	1972
Hypson	0000, 0037, 0209, 0278
Hytek	0000, 0047
iBUYPOWER	1972
Imperial	0000
Ingersol	0209
Instant Replay	0035, 0226
Interbuy	0037
Interfunk	0081
Internal	0278
International	0037, 0278, 0642
Intervision	0000, 0037, 0209, 0278, 0348
Irradio	0037, 0081
ITV	0037, 0278
JBL	0278
Jensen	0067
JMB	0209, 0348
Joyce	0000
JVC	0045, 0058, 0067, 0081, 0184, 1162, 1279
Kambrook	0037
Karcher	0081, 0278, 0642
KEC	0037, 0278
Kendo	0037, 0209, 0278, 0315, 0348, 0642
Kenwood	0038, 0067
KIC	0000
Kimari	0047
Kioto	0348
Kneissel	0037, 0209, 0278, 0348
Kodak	0035, 0037
Kolin	0043
Kolster	0209
KTV	0000
Kuba	0047
Kuba Electronic	0047
Lenco	0278
LG	0000, 0037, 0038, 0042, 0045, 0209, 0225, 0278
Lifetec	0209, 0348
Linksys	1972
Lloyd's	0000, 0038
Loewe	0037, 0081, 0162, 1062, 1562
Logik	0000, 0209
Lumatron	0278
Luxor	0043, 0047, 0048, 0315
LXI	0000, 0037, 0042, 0067
M Electronic	0000, 0037, 0038
Magnadyne	0081
Magnasonic	0000, 0037, 0278
Magnavox	0000, 0035, 0037, 0039, 0048, 0081, 0149, 0226, 0642
Magnum	0642
Manesth	0045, 0081, 0209
Marantz	0035, 0038, 0081, 0209
Mark	0000, 0278
Marta	0037
Mastec	0642
Master's	0278

メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード
Matsui	Multitech	Onkyo	Philips	Radiola	Sanyo
0037, 0209,	0000, 0039	0222	0000, 0035,	0081	0000, 0047,
0278, 0348	Murphy	Optimus	0045, 0048,	Radionette	0048, 0067,
Matsushita	0000	0000, 0035,	0081, 0162,	0037	0348
0035, 0081,	Myryad	0037, 0047,	0209, 0226,	RadioShack	Saville
0162, 0226,	0081	0048, 0058,	0616, 0739	0000, 0035,	0278
1162	NAD	0162, 1062,	Phoenix	0037, 0047,	SBR
Media Center	0058	1162	0278	0048, 0162,	0081
PC	Naiko	Orion	Phonola	1162	Schaub Lorenz
1972	0348, 0642	0000, 0121,	0081	Radix	0000, 0315,
Mediator	NAP	0184, 0209,	Pilot	0037	0348
0081	0039	0278, 0348	0037	Randex	Schneider
Medion	National	Orson	**Pioneer**	0037	0000, 0037,
0209, 0348,	0226	0000	**0042, 0058,**	RCA	0042, 0081,
0642	Nebula Electronics	Osaki	**0067, 0081,**	0000, 0035,	0278, 0348,
MEI	0033	0000, 0037	**0162, 0168**	0042, 0045,	0642
0035	NEC	Otake	Polk Audio	0048, 0058,	Scott
Memorex	0035, 0037,	0209	0081	0060, 0149,	0043, 0045,
0000, 0035,	0038, 0048,	Otto Versand	Portland	0226, 0320,	0121, 0184
0037, 0039,	0067, 0278	0081	0278	0880	Sears
0047, 0048,	Neckermann	Pacific	Precision	Realistic	0000, 0033,
0162, 0209,	0081	0000, 0348,	0058	0000, 0035,	0035, 0037,
0278, 0348,	Nesco	0642	Prinz	0037, 0047,	0039, 0042,
1162	0000	Packard Bell	0000	0048, 0121,	0043, 0045,
Metronic	Neufunk	1972	Profitronic	0162, 0278,	0047, 0048,
0081	0209	Palladium	0081	1162	0058, 0060,
Metz	Newave	0037, 0209,	Proline	Reoc	0067, 0162,
0037, 0081,	0037	0348	0000, 0278,	0348	0209
0162, 0226,	Nikkai	Palsonic	0320, 0642	ReplayTV	Seaway
1062, 1162,	0278	0000, 0642	Proscan	0614, 0616	0278
1562	Nikko	Panama	0060	Ricavision	SEG
MGA	0037, 0278	0035	Prosco	1972	0081, 0278,
0043, 0060	Nikkodo	Panasonic	0278	Roadstar	0642
Micormay	0037, 0278	0000, 0035,	Prosonic	0037, 0038,	SEI
0348	Niveus Media	0162, 0225,	0209, 0278	0081, 0278	0081
Micromaxx	1972	0226, 0614,	Protec	Runco	Sei-Sinudyne
0209	Nokia	0616, 1062,	0000	0039	0081
Microsoft	0042, 0048,	1162, 1244,	Protech	Saba	Seleco
1972	0081, 0278,	1293, 1562	0081	0278, 0320	0037
Migros	0315	Pathe Cinema	ProVision	Saisho	Semivox
0000	Nordmende	0043	0278	0209, 0348	0045, 0209
Mind	0067, 0320	Penney	Pulsar	Salora	Semp
1972	Northgate	0000, 0035,	0039, 0278	0043	0045
Minolta	1972	0037, 0038,	Pye	Sampo	Sentra
0042	Nu-Tec	0042, 0047,	0000, 0081	0037, 0048	0278
Mitsubishi	0209	0067, 0081,	Qisheng	Samsung	Sharp
0000, 0042,	Oceanic	0162	0060	0000, 0038,	0000, 0032,
0043, 0047,	0000, 0048,	Pentax	Quartz	0045, 0060,	0037, 0047,
0048, 0060,	0081	0042	0035, 0047	0739	0048, 0209,
0067, 0081,	Okano	Perdio	Quasar	Sanky	1285
0642	0209, 0278,	0000, 0209	0035, 0162,	0039, 0048	Shinco
Motorola	0315, 0348	Philco	0226, 0278,	Sansei	0000
0035, 0048	Olympus	0000, 0035,	1162	0048	Shintom
MTC	0035, 0162,	0038, 0081,	Quelle	Sansui	0000, 0039
0000	0226	0209, 0226	0081	0000, 0067,	Shivaki
MTX	Onimax		Radialva	0209, 0348	0037
0000	0642		0037, 0048,		Siemens
Multitec			0081		0037, 0081,
0037					0320

メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード
Siera 0081 Signature 0000, 0035, 0037, 0048, 0060, 0149 Silva 0037 Silver 0278 SilverCrest 0642 Singer 0037, 0045, 0348 Sinudyne 0081, 0209 Smaragd 0348 Sonic Blue 0614, 0616 Sonolor 0048 Sontec 0037, 0278 Sonwa 0642 Sony 0000, 0032, 0033, 0035, 0047, 0048, 0067, 0226, 1636, 1972 Soundmaster 0000 Soundwave 0037, 0209, 0348	Stack 9 1972 Standard 0278 Stern 0278 STS 0042 Sunkai 0209, 0278, 0348 Sunstar 0000 Suntronic 0000 Supra 0037, 0278, 0348 Susumu 0037 SV2000 0000 SVA 0000 Sylvania 0000, 0035, 0043, 0081 Symphonic 0000 Systemax 1972 T+A 0162 Tagar Systems 1972 Taisho 0209 Tandberg 0278	Tandy 0000 Tashiko 0000, 0037, 0048, 0081 Tatung 0000, 0043, 0045, 0048, 0067, 0081, 0209, 0348 Tchibo 0348 TCM 0348 Teac 0000, 0037, 0067, 0278, 0642 Technics 0000, 0035, 0037, 0081, 0162, 0226, 1162 TechniSat 0348 Teco 0035, 0037, 0038, 0048 Tedelex 0037, 0209, 0348, 0642 Teknika 0000, 0035, 0037 Telefunken 0209, 0278, 0320, 0642 Telerent 0226	Telestar 0037 Teletech 0000, 0278 Tensai 0000, 0037, 0278 Tevion 0209, 0348, 0642 Texet 0278 Thomas 0000 Thomson 0060, 0067, 0278, 0320 Thorn 0037, 0320 Tisonic 0278 Tivo 0739, 1996 TMK 0000 TNIX 0037 Tokai 0037 Topline 0348 Toshiba 0000, 0042, 0043, 0045, 0067, 0081, 0209, 1008, 1290, 1972, 1996 Tosonic 0278	Totevision 0037 Touch 1972 Toyoda 0278 Tradex 0081 Triad 0278 Trix 0037 Ultra 0045, 0278 Ultravox 0278 United 0348 Universum 0000, 0037, 0081, 0209, 0348 Vector 0045 Vector Research 0038, 0184 Victor 0067 Video Concepts 0045 Video Technic 0000 Videomagic 0037 Videosonic 0000 Viewsonic 1972 Villain 0000	Voodoo 1972 Wards 0000, 0033, 0035, 0037, 0038, 0039, 0042, 0043, 0045, 0047, 0048, 0058, 0060, 0081, 0149 Watson 0081, 0642 Weltblick 0037 Wharfedale 0642 White 0348 Westinghouse 0000, 0209, 0278 World 0209, 0348 XR-1000 0000, 0035 Yamaha 0038 Yamishi 0278 Yoko 0037 Zenith 0000, 0033, 0037, 0039, 0209, 0278 ZT Group 1972 ZX 0209, 0348

4.BDP (Blu-ray)

メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード
LG 0741	Microsoft 2083 Onkyo 1769	Panasonic 1641 Philips 2084	**Pioneer** **0142, 2052** RCA 1769	Samsung 0199 Sony 1516	Toshiba 1769 Xbox 2083

5.DVD-R

メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード
Accurian	Digitrex	Humax	Panasonic	Schneider	Tevion
0675	1056	0646	0490	0646	1227
Apex Digital	Ellion	JVC	Philips	Sharp	Thomson
1056	1421	1164	0646, 1340	0630, 0675	0551
Aristona	Emerson	Kreisen	**Pioneer**	Sony	Universum
0646	0675	1421	**0571, 0631,**	1033, 1070,	1227
Cat	Funai	LG	**1475, 1476,**	1431	Yakumo
1421	0675	0741	**2216**	Star Clusters	1056
Centrum	Go Video	Loewe	Pye	1227	Yamada
1227	0741	0741	0646	Sylvania	1056
CyberHome	GPX	Magnavox	RCA	0675	Yamaha
1129	0741	0646, 0675	0522	Targa	0646
Denon	H & B	Mitsubishi	Roadstar	1227	Zenith
0490	1421	1403	1227	Teac	0741
Denver	Hitachi	Palsonic	Samsung	1227	
1056	1664	1056	0490		

6.DVD

メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード
3D LAB	Auvio	Clairtone	Disney	Global Link	Hyundai
0503, 0539	0843	0571	0675, 1270	1224	0850, 1061,
A-Trend	Basic Line	Clatronic	DSE	Global Sphere	1228
0714	0713	0672, 0675,	1152	1152	Ingelen
Accurian	Baze	0788, 1233	Dual	Go Video	0788
0675	0898	Clayton	0675, 0713,	0573, 0741,	Ingersol
Acoustic	BBK	0713	1023	0744, 0869,	1023
Solutions	1224	Codex	Durabrand	1044, 1075	Inno Hit
0713, 1228	Bel Canto	1233	0713, 1023	GoldStar	0713
AEG	Design	Conia	DVD2000	0591, 0741,	Integra
0788, 1233	1571	0672	0521	0869	0571, 0612,
AFK	Black Diamond	Contel	E:max	Goodmans	0627
1152	0713	0788	1233	0690, 0713,	Irradio
Aim	Blu:sens	Creative	EagleTec	0723	0869, 1115,
0672	1233	0503, 0539	0714	GPX	1224, 1233
Airis	Blue Parade	Crown	eBench	0741	ISP
0672, 1224	0571	0690, 0713,	1152	Gradiente	0695
Aiwa	Blue Sky	1115	Eclipse	0490	JBL
0533, 0641	0672, 0695,	Crypto	0723	Gran Prix	0702
Akai	0713, 0843	1228	Elfunk	0898	JMB
0690, 0695,	Boman	CyberHome	0713, 0850	Grandin	0695
0788, 0898,	0898	0714, 0816,	Elite	0713, 1233	JNC
1115, 1233	Brainwave	1023, 1129	1152	Grundig	0672
Akura	1115	D-Vision	Ellion	0539, 0551,	JVC
0898, 1233	Brandt	1115	0850, 1421	0695, 0713	0503, 0539,
Alba	0503, 0551	Daewoo	Elta	H & B	0558, 0623,
0539, 0672,	Broksonic	0490, 0714,	0672, 0690,	0713, 0841,	0867, 1164
0695, 0713	0695	0869, 1172	0788, 0850,	0850, 1233,	Kansas
Allegro	Bush	Dansai	1115, 1233	1421	Technologies
0869	0672, 0690,	1115	Eltax	Haaz	1233
Altacom	0713, 0723	Dantax	1233	1152	Kendo
1224	C-Tech	0539, 0713,	Emerson	Haier	0672, 0713
Amitech	1152	0723	0591, 0675,	0843	Kennex
0850	California Audio	Decca	0821	Hanseatic	0713, 0898
Amstrad	Labs	1115	Enterprise	0741	Kenwood
0713	0490	Denon	0591	Harman/Kardon	0490, 0534
Ansonic	Cambridge	0490, 0634,	Entivo	0582, 0702	Kiss
0759	Soundworks	1282, 1406	0503, 0539	HCM	0841
Apex Digital	0690	Denver	Enzer	0788	KLH
0533, 0672,	Cat	0672, 0788,	1228	Henss	0815
1056, 1061	0789, 1421	0898, 1056	ESA	0713	Kloss
Arena	Centrex	Desay	0821	HiMAX	0533
1115	0672	0843	EuroLine	0843	Koss
Aristona	Centrum	Dgtec	0675, 0788,	Hitachi	1061
0539, 0646	0713, 0789,	0672	1115, 1233	0573, 0664,	Kreisen
Arrgo	1227	Dick Smith	Ferguson	0695, 0713,	1421
1023	CGV	Electronics	0695, 0713,	1664	Lasonic
Asono	1115	1152	0898	Hiteker	0627, 0789
1224	Changhong	Digihome	Finlux	0672	Lecson
Atacom	0627, 1061	0713	0591, 0672,	Hoeher	1533
1224	Cinea	DigiLogic	0741	0713, 1224	Lenco
Audiosonic	0841	0713	Firstline	Home Tech	0713
0690	Cinetec	Digitor	0713, 0843,	Industries	Lenoir
Audix	0713	0690	0869	1224	1228
0713	CineVision	Digitrex	Funai	HotMedia	Lenoxx
Autovox	0869	0672, 1056	0675, 0695	1152	0690
0713	Citizen	Dinamic	GE	Humax	
	0695	0788	0522, 0815	0646	

メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード
LG 0591, 0741, 0869 LiteOn 1058 Lodos 0713 Loewe 0511, 0539, 0741 Logik 0713 Lumatron 0695, 0713, 0741, 1115 Lunatron 0741 Luxman 0573 Luxor 0713 Magnasonic 0675 Magnavox 0503, 0539, 0646, 0675, 0713, 0821, 1354 Magnex 0723 Manhattan 0713 Marantz 0503, 0539, 0675 Mark 0713 Matsui 0672, 0695, 0713 Maxdorf 0788 Maxim 0713 MBO 0690 McIntosh 1533 MDS 0713 Medion 0630, 1270 Memorex 0695, 1270 Metronic 0690 Metz 0525, 0571, 0713	MiCO 0723 Micromaxx 0695 Micromedia 0503, 0539 Micromega 0539 Microsoft 0522, 2083 Minato 0752 Minax 0713 Minoka 1115 Mirror 0752 Mitsubishi 0521, 0713, 1403, 1521 MPX 0843 NAD 0741 NEC 0741, 0785, 0869 Noriko 0752 Nowa 0843 Nu-Tec 1228 Okano 0752 Olidata 0672 Omni 0690 Onkyo 0503, 0612, 0627, 1769 Oppo 1224 Optim 0843 Optimus 0525, 0571 Orion 0695, 1233 Ormond 0713 Pacific 0695, 0713, 0759 Palladium 0695, 0713	Palsonic 0672, 1056 Panasonic 0490, 0503, 0571, 0703, 1282, 1362, 1462, 1641, 1762 Panda 0789 peeKTon 0898, 1224 Philco 0675, 0690, 0788 Philips 0503, 0539, 0585, 0646, 0675, 1340, 1354, 2056, 2084 **Pioneer** **0142, 0490,** **0525, 0571,** **0631, 1475,** **1476, 1571,** **2052, 2216** Plu2 0850 Polaroid 1061 Polk Audio 0539 Presidian 0675 Prima 1228 Proceed 0672 Proline 0672 Proscan 0522 Proson 0713 Prosonic 0752 Pye 0539, 0646 Radionette 0741, 0869 RadioShack 0571 RCA 0522, 0571, 0822, 1132, 1769 Realistic 0571	REC 0490 Redstar 0759, 0788, 0898 Reoc 0752 Revoy 0841 Richmond 1233 Rio 0869 Roadstar 0672, 0690, 0713, 0898, 1227 Rocksonic 0789 Rotel 0558, 0623 Rowa 0759 Rownsonic 0789 Royal 0690 Saba 0551 Saivod 0759 Salora 0741 Sampo 0752 Samsung 0199, 0490, 0573, 0744, 1044, 1075 Sansui 0695, 1228 Santosh 1115 Sanyo 0675, 0695, 0713, 1228 Scan 0850 Schaub Lorenz 0788, 1115 Schneider 0539, 0646, 0713, 0788, 0869 Schoentech 0713 Schwaiger 0752	Scott 0672, 1233 Seeltech 1224 SEG 0713 Semp 0503 Shanghai 0672 Sharp 0630, 0675, 0713, 0752, 1256 Sherwood 0741 Shinsonic 0533 Sigmatek 1224 Siltex 1224 Silva 0788, 0898 Silva Schneider 0898 SilverCrest 1152 Singer 0690 Sistemas 0672 Skantic 0539, 0713 Skyworth 0898 Sliding 1115 SM Electronic 0690, 1152 Smart 0713 Sonic Blue 0573, 0869 Sony 0533, 0573, 0630, 0864, 1033, 1070, 1431, 1516, 1533 Sound Color 1233 Standard 0788, 0898 Star Clusters 1152, 1227 Starmedia 1224	Strong 0713 Sunkai 0850 Sunwood 0788, 0898 Superscan 0821 Supervision 1152 SVA 0672, 0752 Sylvania 0630, 0675, 0821 Symphonic 0675, 0821 Tandberg 0713 Targa 1227 Tchibo 0741 TCM 0741 Teac 0571, 0675, 0741, 0759, 1227 Tec 0898 Technics 0490, 0703 Technika 1115 Technisson 1115 Technosonic 1115 Techwood 0713 Tecnimagen 1233 Tedelex 0690, 1228 Telefunken 0789 Teletech 0713 Tensai 0690 Tevion 0898, 1227 Theta Digital 0571 Thomson 0511, 0522, 0551

メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード
Tokai	Tredex	Universum	Vtrek	Windsor	XMS
0788, 0898	0843	0591, 0713,	1228	0713	0788
Tom-Tec	TSM	0741, 0869,	Waitec	Windy Sam	Yakumo
0789	1224	1227	1224, 1233	0573	1056
Top Suxess	Umax	Urban Concepts	Wellington	WIZE	Yamada
1224	0690	0503, 0539	0713	1115	1056
Toshiba	United	Vestel	Weltstar	Woxter	Yamaha
0503, 0539,	0675, 0695,	0713	0713	1224	0490, 0539,
0573, 0695,	0713, 0788,	Viewmaster	Wharfedale	Xbox	0545, 0646,
1154, 1769	1115, 1152,	1224	0713, 0752	0522, 2083	1282, 1354
TRANS-	1228, 1233	Voxson	Wilson	XLogic	Zenih
continents		0690	1233	1152, 1228	0503, 0591,
1233					0741, 0869

7.LD

メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード	メーカー / コード
Aiwa	Funai	Magnavox	Optimus	Quasar	Telefunken
0203	0203	0194, 0217,	0059	0204	0059
Carver	GoldStar	0241	Panasonic	Realistic	Theta Digital
0194	0172	Marantz	0204	0203	0194
Denon	Grundig	0194	Philips	Sega	Toshiba
0059, 0172,	0059	Mitsubishi	0194	0023	0059
0241	Harman/Kardon	0059, 0241	**Pioneer**	Sony	Wards
Disco Vision	0194	NAD	**0023, 0059,**	0201	0059
0023	Hitachi	0059	**0241, 1274**	Technics	Yamaha
	0023	Nagsmi	Polk Audio	0204	0217
		0059	0194		

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告

異常時の処置

・煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

・故障状態（画面が映らない、音が出ないなど）のまま使用しないでください。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
・内部に異物や水が入った場合はすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

・落としたりキャビネットやパネルを破損した場合はすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

・お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

設置

・ぐらついた台や傾いたところなど不安定なところに置かないでください。また天井に取り付けないでください。倒れたり落ちたりして、けがの原因となります。

・壁掛け工事は工事専門業者または販売店にご依頼ください。工事が不完全ですと、死亡やけがの原因となります。壁掛けには専用取り付け金具をご使用ください。

・地震などでの製品の転倒・落下によるけがなどの危害を低減するのため、必ず転倒防止の処置を行ってください。

・電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となります。

・電源プラグは根元まで差し込んでも緩みがあるコンセントに接続しないでください。発熱による火災の原因となります。

・電源プラグを抜くときはプラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。

⚠警告

・ＡＣ変換プラグを使用する場合、アース線をコンセントに差し込まないでください。火災・感電の原因となります。

・電源コードの上に重いものを乗せたり、コードを本機の下敷きにしないでください、火災・感電の原因となります。

・ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。感電の原因となります。

・本体は質量が大きいため、開梱や持ち運びおよび設置は２人以上で行ってください。落下してけがの原因となることがあります。

・電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。万一の事故に備え、本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグ（遮断装置）に簡単に手が届くように設置してください。

使用環境

・風呂場、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

・この機器に水を入れたり、ぬらさないでください。火災・感電の原因となります。

・表示された電源電圧（交流１００Ｖ）以外で使用しないでください。またコンセントや配線器具の定格を超える使い方をしないでください。火災・感電の原因となります。

・この機器の裏ぶたカバーを外したり、改造したりしないでください。火災･感電の原因となります。点検･修理は販売店にご相談ください。

・この機器の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

使用方法

・この機器の上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となります。

・不要な小さな部品などは幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。

・この機器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となります。

・電源プラグの刃および刃付近にほこりや金属物が付着している場合は電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

・前面パネルには衝撃を加えないでください。たたくなどの衝撃を加えるとパネルが割れ、火災・けがの原因となります。

・電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、過熱したり、熱器具に近づけたりしないでください。火災・感電の原因となります。コードが傷んだら販売店に交換を依頼してください。

・この機器の上に花瓶、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

・雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

・本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

⚠注意

設置

・湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

・放熱を良くするため他の機器や壁などから左右背面 10 cm 以上、上 50 cm 以上の空間を取って設置してください。また次のような使い方はしないでください。この機器の通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災や故障の原因となることがあります。
◆押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込む。
◆じゅうたんや布団の上に置く。
◆テーブルクロスなどを掛ける。
◆あお向けや横倒し、逆さまにする。

・付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となることがあります。

使用方法

・移動させる場合は電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コード、転倒防止具を外したことを確認のうえ、行ってください。

・機器本体の主電源ボタン（⏻）で電源を切っても、電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。旅行などで長期間、この製品をご使用にならないときには安全のため必ず電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

電池のお取り扱い

・指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。

・電池を入れるときには、極性表示（プラスとマイナスの向き）に注意し、機器の表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。

お手入れ

・お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

・この機器の背面にある通風孔は、月に一度を目安に掃除機でほこりを吸い取ってください（このとき掃除機は「弱」に設定してください）。通風孔にほこりがたまったまま使用すると内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

・年に一度くらいは内部の清掃を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気が多くなる梅雨前に行うと、より効果的です。なお、清掃費用については販売店などにご相談ください。

使用上のご注意（守っていただきたいこと）

⚠注意

お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

フラットパネルディスプレイについて

ディスプレイの画素欠けについて

- 本機（プラズマディスプレイ）は、微細な画素の集合体で非常に精密な技術で作られていますが、ごく一部の画素が光らなかったり常時点灯する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

電磁波妨害について

- 本機は公的規格を満たしていますが、若干のノイズが出ています。「AM ラジオ 」や「 パソコン 」、「 ビデオ 」などの機器を近づけると妨害を与えることがあります。このときは機器を影響のない所まで本機から離してください。

ファンモーターの音について

- 設置環境により本体周囲の温度が高くなると、冷却用のファンモーターの回転数が上がります。そのため、ファンモーターの音が大きく感じられる場合があります。

駆動音について

- 本機に電源を入れると駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません 。

ディスプレイの温度について

- 本機を長時間使用すると、ディスプレイ本体の一部が熱を持つことがあります。手で触れると熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。

ディスプレイの保護機能について

- デジタルカメラの画像やパソコンの画面など、動きのない映像を長い時間表示すると画面がやや暗くなります。これは、動きの少ない映像を検知すると、自動的に明るさを調整して画面を保護する機能が働くためです。故障ではありません。

守ってください

すべての接続が終わってから電源プラグをコンセントにつないでください

- 本機と他の機器との接続をする前に、電源プラグを抜いてください。すべての接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- AC 変換プラグをご使用する場合、性能維持のため変換プラグのアース線はアース端子に接続してください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

スピーカーについて

- グリルネットおよびキャビネットは、外力により強い衝撃を与えますと傷ついたり破損することがありますので、取り扱いには十分注意してください。
- スピーカーを過大入力による破損から守るため、下記の注意を守ってください。
  – スピーカーを本機以外に使用しないでください。故障・火災の原因になることがあります。
  – 本体とスピーカーとの接続をする前に、本体の電源プラグを抜いてください。接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
  –「音質の調整」（☞36 ページ）で高音の設定を高レベルにするときは、本機の音量を上げ過ぎないでください。
- 本機の近くに CRT モニターを設置しているときは、モニターに色ムラが生じる場合があります。色ムラが生じるときは、本機と CRT モニターを離してください。

周辺温度に注意してください

- 本機は、周囲温度 0 ℃～ 40 ℃の範囲内でご使用ください。また、本機を冷え切った状態のままで室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、室温を徐々に上げてからご使用ください。

置き場所に注意してください

- 本機を直射日光が当たる場所に長期間置かないでください。前面保護パネルの光学特性が変化し、変色したり、そりの原因となります。
- 本機には設置用のスタンドは付属していません。床や台の上に設置する際は、別売りの専用スタンドをご使用ください。

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

国外では使用できません

This product cannot be used in any other countries.

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
  This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

画面の残像と焼き付きについて

静止画など同じ絵柄の映像を長時間または繰り返して表示すると画面に像が残る場合があります。

1. 残像
輝度の高い文字・映像または固定パターンの画像を表示すると、比較的短時間の表示でもパネルの電荷負荷の残留により像が残ることがありますが、故障ではありません。
この残像は動画を画面いっぱいに映し出すことで徐々に回復します。

2. 焼き付き
上記の画像を長時間または繰り返し表示し続けると、連続して表示している部分と他の部分の明るさに差が生じ、画面に焼き付きとして像が残るようになります。焼き付きが発生すると完全に回復することが難しくなりますのでご注意ください。
特に製品のご購入初期ほど起こりやすいのでご注意ください。

焼き付きを防止するには

焼き付きを防止するために、特に購入初期の間は、以下の点に注意してご使用いただくことをお勧めします。

- 焼き付きを招きやすい表示でのご使用は、できるだけ避けてください。
- 画面サイズが４：３やシネスコサイズの番組は、リモコンのSCREEN SIZEボタンで「フル」や「ワイド」などにして画面サイズいっぱいに表示して視聴してください。(☞26ページ)
- 画面サイズ自動切換を設定し(☞27ページ)、サイドマスクの「検出」を「モード１」または「モード２」に設定して視聴してください。(☞28ページ)
- ４：３ 画面サイズのときは、サイドマスク（画面左右部分）の「輝度連動」を「連動」（映像に連動した明るさにする）に設定してください。(☞28ページ)
  さらに、消費電力設定 で「省エネ２」に設定するとより効果があります。(☞29ページ)
- オービター機能は「モード１」または「モード２」の設定のままでご使用ください。(☞41ページ)
- HDMI 入力でPC を接続しているときは、必ず「信号種別」を「PC」に設定してください。(☞56ページ)
- おすすめ設定をすることをお勧めします。(☞42ページ)

赤外線について

- 本機は原理上赤外線を出しています。使用状態によっては周囲の機器のリモコンが効きにくくなったり、赤外線を使用しているワイヤレスヘッドホンにノイズが入る場合があります。その場合は、影響を受けないような場所に機器の受光部を設置してください。
- アナログ方式の赤外線を使用している機器（アナログ赤外線方式のマイクやヘッドホン等）は使用できません。デジタル方式の機器は使用できます。

用語の解説

■ VGA
「Video Graphics Array」の略称です。
通常は 640 × 480 の解像度を指します。

■ Wide-VGA
「Wide Video Graphics Array」の略称です。
通常は 848 × 480 の解像度を指します。

■ SVGA
「Super Video Graphics Array」の略称です。
通常は 800 × 600 の解像度を指します。

■ XGA
「eXtended Graphics Array」の略称です。
通常は 1024 × 768 の解像度を指します。

■ Wide-XGA
「Wide eXtended Graphics Array」の略称です。
通常は 1280 × 768 の解像度を指します。

■ SXGA
「Super eXtended Graphics Array」の略称です。
通常は 1280 × 1024 の解像度を指します。

■ SXGA+
「Super eXtended Graphics Array +」の略称です。
通常は 1400 × 1050 の解像度を指します。

■ Wide-SXGA
「Wide Super eXtended Graphics Array +」の略称です。
通常は 1680 × 1050 の解像度を指します。

■ UXGA
「Ultra eXtended Graphics Array」の略称です。
通常は 1600 × 1200 の解像度を指します。

■ Wide-UXGA
「Wide Ultra eXtended Graphics Array」の略称です。
通常は 1920 × 1200 の解像度を指します。

■ DVI
「Digital Visual Interface」の略です。
DDWG（Digital Display Working Group）が提唱したデジタルディスプレイ用のインターフェース規格です。

■ HDMI
「High-Definition Multimedia Interface」の略です。
HDMI は、家電向けのデジタルデータの伝送規格です。映像のほかにマルチチャンネルのオーディオ信号や制御信号をデジタルのまま、１本のケーブルで伝送できます。

■ DHCP
DHCP(Dynamic Host Configration Protocol) は、IP アドレス、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスクなどのネットワーク設定を自動的に取得する機能です。DHCP を使用するには、ネットワーク内で DHCP サーバーが稼動している必要があります。

■ DNS
DNS(Domain Name Service) は、サーバー名称からサーバーの IP アドレスを変換する機能です。

■ POP
POP（Post Office Protocol）は、メールクライアントがメールサーバーからメールを受信するためのプロトコルです。

■ Pop before SMTP
SMTP によりメールを送信する前に、メールの受信プロトコルである POP(Post Office Protocol) により認証を行う認証方法です。

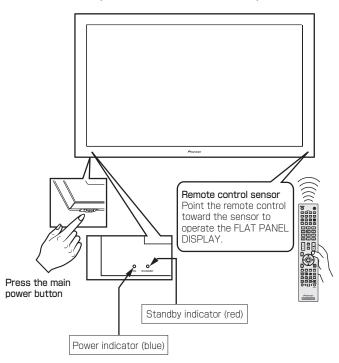
■ SMTP
SMTP(Simple Mail Transfer Protocol) は、メールクライアントとメールサーバー間のメール転送やサーバー同士のメール転送によく使われるメール転送のプロトコルです。

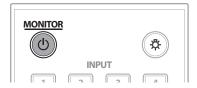
■ コンポーネント映像信号
Y.CBCR、Y.PBPR、Y.B-Y.R-Y など、輝度信号と色差信号をそれぞれ単独の組み合わせで扱う映像信号の総称です。単に「色差信号」と呼ぶこともあります。

Quick Reference

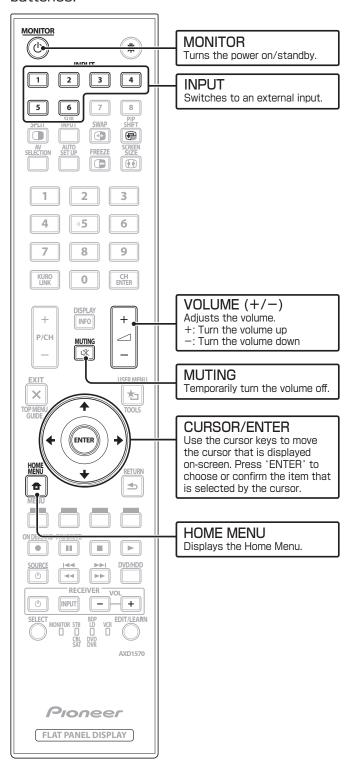
Basic Operation

Turning the FLAT PANEL DISPLAY on

Press the main power button to turn the power on.

Turning the FLAT PANEL DISPLAY Standby

Press the “Power” button on the remote control to turn the FLAT PANEL DISPLAY Standby.

Frequently used buttons

To use the remote control, first insert the batteries.

メニュー一覧

ユーザーメニュー・ホームメニューには、以下の設定項目があります。

お知らせ

- パソコンを接続してパソコンの画面を表示している場合は、メニューの内容が異なります。(☞65 ページ)

■ユーザーメニュー（ビデオ入力時）

項目	ページ
入力切換	☞21 ページ
AV セレクション	☞30 ページ
フィルムモード	☞33 ページ
おやすみタイマー	☞43 ページ
KURO LINK	☞62 ページ

■ユーザーメニュー（PC 入力時）

項目	ページ
入力切換	☞21 ページ
AV セレクション	☞30 ページ
おやすみタイマー	☞43 ページ
KURO LINK	☞62 ページ

■ホームメニュー（ビデオ入力時）

項目			ページ
画質の調整			
	AV セレクション		☞30 ページ
	コントラスト		☞31 ページ
	明るさ		☞31 ページ
	色の濃さ		☞31 ページ
	色あい		☞31 ページ
	シャープネス		☞31 ページ
	色温度		☞31 ページ
	ガンマ		☞31 ページ
	プロ設定		☞33 ページ
		ピュアシネマ	☞33 ページ
		インテリジェントシステム	☞34 ページ
		ピクチャーディテール	☞34 ページ
		カラーディテール	☞34 ページ
		ノイズリダクション	☞34 ページ
		動き補正	☞34 ページ
	初期状態に戻す		☞31 ページ

項目		ページ
画面の調整		
	水平位置調整	☞37 ページ
	垂直位置調整	☞37 ページ
	画面サイズ自動切換	☞27 ページ
	サイドマスク	☞28 ページ
	初期状態に戻す	☞31 ページ
音質の調整		☞36 ページ
	高音	
	低音	
	バランス	
	サブボリューム	
	初期状態に戻す	
省エネの設定		☞29 ページ
	消費電力	
	無信号オフ	
	無操作オフ	
その他の設定		
	Language	☞25 ページ
	優先入力	☞43 ページ
	青 LED ディマー	☞40 ページ
	オービター	☞41 ページ
	ビデオパターン	☞42 ページ
	おすすめ設定	☞42 ページ
	照度センサー	☞41 ページ
	PIP ディテクト	☞39 ページ
初期設定（入力）		
	入力１（ビデオ）	☞45 ページ
	入力２（コンポーネント）	☞45 ページ
	入力３（D-sub15）	☞51 ページ
	入力４（DVI）	☞48 ページ
	入力５（HDMI1）	☞55 ページ
	入力６（HDMI2）	☞55 ページ
	音声入力１	☞58 ページ
	音声入力２	☞58 ページ

初期設定（コントロール）		
IP コントロール設定		☞66 ページ
	IP コントロール	
	DHCP	
	IP アドレス	
	サブネットマスク	
	デフォルトゲートウェイ	
	MAC アドレス	
	LED 表示	
KURO LINK 設定		☞61 ページ
	入力設定	
	電源オフ連動	
	電源オン待機	
	AV システム連動継続	
	電源オンテスト	
	電源オフテスト	
シリアル設定		☞72 ページ
	ID ナンバー設定	
	ボーレート	

■ホームメニュー（PC 入力時）

画質の調整		
	AV セレクション	☞30 ページ
	コントラスト	☞53 ページ
	明るさ	☞53 ページ
	R レベル	☞53 ページ
	G レベル	☞53 ページ
	B レベル	☞53 ページ
	初期状態に戻す	☞31 ページ

画面の調整		☞52 ページ
	画面サイズ自動切換	
	水平位置調整	
	垂直位置調整	
	クロック周波数	
	クロック位相	
	初期状態に戻す	

音質の調整		☞36 ページ
	高音	
	低音	
	バランス	
	サブボリューム	
	初期状態に戻す	

省エネの設定		☞54 ページ
	消費電力	
	パワーマネージメント	

その他の設定		
	Language	☞25 ページ
	優先入力	☞43 ページ
	青 LED ディマー	☞40 ページ
	オービター	☞41 ページ
	ビデオパターン	☞42 ページ
	おすすめ設定	☞42 ページ
	照度センサー	☞41 ページ
	PIP ディテクト	☞39 ページ

初期設定（入力）		
	入力 1（ビデオ）	☞45 ページ
	入力 2（コンポーネント）	☞45 ページ
	入力 3（D-sub15）	☞51 ページ
	入力 4（DVI）	☞48 ページ
	入力 5（HDMI1）	☞55 ページ
	入力 6（HDMI2）	☞55 ページ
	音声入力 1	☞58 ページ
	音声入力 2	☞58 ページ

初期設定（入力）		
IP コントロール設定		☞66 ページ
	IP コントロール	
	DHCP	
	IP アドレス	
	サブネットマスク	
	デフォルトゲートウェイ	
	MAC アドレス	
	LED 表示	
KURO LINK 設定		☞61 ページ
	入力設定	
	電源オフ連動	
	電源オン待機	
	AV システム連動継続	
	HD AV コンバーター	
	電源オンテスト	
	電源オフテスト	
シリアル設定		☞72 ページ
	ID ナンバー設定	
	ボーレート	

索　引

数字・アルファベット

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

インターネットによるお客様登録のお願い

http://pioneer.jp/support/

ご相談窓口のご案内

商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口、カタログのご請求についてのご相談窓口です。

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜　9:30 ～ 18:00
土曜・日曜・祝日　9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00（弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ / ビジュアル商品

フリーコール **0120－944－222**

一般電話　03－5496－2986

ファックス　03－3490－5718

※フリーコールは、携帯電話、PHS などからは、ご利用になれません。
一般電話は、携帯電話、PHS などからご利用可能ですが、通話料がかかります。

インターネットホームページ　**http://pioneer.jp/support/**

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

パイオニア株式会社
〒153-8654　東京都目黒区目黒1丁目4番1号

JIS C 61000-3-2適合品

<08H00001>　<ARA1358-B>　Printed in Japan